

令和6年度版

# 目黒区の教育

令和5年度事業報告書

目黒区教育委員会

## はじめに

本書『目黒区の教育』は、令和5年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。

昨年度、本区の教育は、明治7（1874）年1月に区内で最初の学校として八雲小学校が誕生して以来、150周年という節目の年を迎えました。めぐろ歴史資料館では、目黒区の教育の歩みを振り返る特別展を開催するとともに、八雲小学校では、地域と一体となった開校150周年記念式典が盛大に開催され、これまで重ねてきた歴史の重みを感じる一年となりました。

一方で、次の時代に向けた取組として、令和7年4月に同時開校する「目黒南中学校」と「目黒西中学校」の統合新校2校については、生徒参加による標準服の検討や、校章デザイン教室、校歌制作ワークショップなどを実施し、開校に向けた準備を加速させました。

また、5年間にわたって文部科学省の指定を受けて研究開発を進めてきた「小学校40分授業午前5時間制」について、区内外の多くの教育関係者を招いて研究発表会を開催しました。令和6年度からは、新たに中学校2校を研究開発校に加えて「中学校45分授業」を実施し、時代に先駆けた先進的な学校づくりに取り組んでまいります。

さらに、全ての小・中学校にデジタルドリルやAIドリル、学習eポータルを導入してGIGAスクール構想を一層推進させるとともに、全区立図書館に無線LANを整備して利用者の利便性向上を図るなど、様々な教育環境の整備に取り組みました。

令和6年度は、学校運営協議会の設置に向けた取組や、部活動の地域移行を見据えた検討、教員の働き方改革の更なる推進、目黒区特別支援教育推進計画（第五次）の策定など、地域とともにある学校づくりや子どもたちの学びを支える環境整備に向け、諸課題に取り組んでいく一年となります。引き続き、目黒区の教育行政の取組について、皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和6年8月

目黒区教育委員会

教育長 関根義孝

# 目 次

## 教育行財政

I	目黒区教育委員会教育目標	1
II	教育委員会	
1	教育委員会の組織	2
2	教育委員会の会議	6
3	令和5年度における 教育委員会の主な動き	14
4	広報・広聴活動	17
5	放射性物質への対応	20
III	教育費のあらまし	
1	令和5年度教育費決算額	21
2	保護者が負担する学校教育費	22
IV	めぐろ学校教育プラン	23
V	目黒区特別支援教育推進計画 (第四次)	26

## 学校教育

I	学校運営	
1	児童・生徒の就学状況	28
2	障害のある児童・生徒の就学	31
3	幼稚園・こども園	32
4	就学援助費・奨励費等給付状況	32
5	学校運営費の執行	34
6	学校評価	34
7	学校運営協議会	34
8	学校評議員	35
9	不審者情報などの発信	35
10	AED(自動体外式除細動器) の設置	35
II	保健・給食	
1	学校保健	36
2	学校給食	40
3	健康教育の推進	43
III	校舎等の環境整備	
1	実施事業の内容	45
2	各事業の決算額	46
IV	教育指導の充実	
1	人権教育	47
2	道徳教育	47
3	国際理解教育	47
4	情報教育	49
5	特別支援教育	49
6	生活指導	50
7	安全指導	50
8	進路指導	51
9	学習指導員等の配置	51
10	主任会等における研修	52
11	教育開発校	53
12	教科用図書	54
13	自然宿泊体験教室等	54
14	連合行事	58
15	いじめ問題対策	59

## V めぐる学校サポートセンターの事業

1	教職員サポート	60
2	学習・相談サポート	62
3	その他のサポート機能	65

## VI 地域との連携の推進

1	地域教育懇談会の活動支援	67
2	放課後フリークラブ	68
3	青少年の健全育成	68
4	学校施設使用(教室)	71

## 生涯学習

### I 生涯学習の推進

1	生涯学習実施推進計画	72
2	生涯学習推進協議会の運営	72
3	大学等教育機関との連携講座	74

### II 社会教育

1	社会教育委員	75
2	学習の場の提供	75
3	学習機会の提供—学級・講座—	76
4	団体育成・援助	84
5	学習相談等	87

### III 図書館

1	図書館の概要	88
2	図書館資料	89
3	個人利用	90
4	団体貸出	93
5	めぐろ電子図書館	93
6	図書館利用に障害のある方々 へのサービス	93
7	行事・催物	95
8	その他の事業	96

### IV めぐるシティカレッジ

1	新しい学習機会の創設	98
2	運営	98
3	講座内容	98

## 歴史・文化

### I 文化財の保護・保存

1	文化財保護審議会	100
2	文化財保護事業	100
3	区指定文化財	100
4	埋蔵文化財発掘調査	101

### II めぐる歴史資料館

1	事業概要	102
2	古民家	103

## 資料

1	区立学校一覧	105
2	教育関係施設	107

## I 目黒区教育委員会教育目標 (令和3年6月8日目黒区教育委員会決定)

目黒区教育委員会は、区民の一人ひとりが生涯にわたって学習ができ、伝統と文化への理解を深め、健康で充実した人生を送ることができるように、「学び合い成長し合えるまち」の実現を図る。

特に、子どもたちの健やかな成長を願い

- 他人を思いやり、道徳心のある人間
- 自ら学び、考え、行動する、個性と創造力豊かな人間
- 自然を愛し、美しいものに感動する心をもつ人間

の育成に向けた教育を推進する。

## 目黒区教育委員会基本方針 (令和3年6月8日目黒区教育委員会決定)

目黒区教育委員会は、『教育目標』を達成するため、以下の基本方針及び施策の方向に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 【基本方針1 人権を尊重する教育の推進】

日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、基本的人権及び個人の尊厳を基調に、あらゆる教育の機会を通して、相互理解や連帯感を培い、偏見や差別をなくすため、人権教育を推進する。

### 【基本方針2 豊かな生涯学習社会の実現を目指した学習活動の支援】

区民一人ひとりが、新たな知識や技能などを身につけそれぞれ自己実現を図ることは、より生きがいのある人生を送ることに資するものであり、生涯にわたり自由に学習の機会を選択し学ぶとともに、地域社会の形成に寄与できるよう、必要な学習活動を支援する。

### 【基本方針3 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進】

グローバル化や情報化の急速な進展とともに、価値観が多様化する社会に主体的に対応していくためには、一人ひとりが個人として自立し、また社会の一員としてその発展に寄与する態度を養うことが求められる。

そのため、「生きる力」すなわち、確かな学力の向上を図るとともに、一人ひとりの個性と創造力を伸ばし、問題解決する力、豊かな心、健やかな体をはぐくむ教育を推進する。

### 【基本方針4 教育への区民参加と地域ぐるみの教育の振興】

子どもたちが、生命を大切にし、一人ひとりが心豊かに健全に育つことを目指して、学校の自主性・自立性を確立したうえで、家庭・地域の願いや意向を反映した学校運営に努める。

家庭・地域が、教育におけるそれぞれの役割と責任を果たすことができるよう支援するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、地域全体の教育力を高める。

## Ⅱ 教育委員会

### 1 教育委員会の組織

#### (1) 教育委員会の職務

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に定めるところにより、学校その他の教育機関の設置、管理及び社会教育その他の教育事務を執行する地方教育行政機関で、地方公共団体の長から独立した執行機関です。

地教行法には、教育委員会の職務として次のものが定められています。

- ア 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
- イ 学校その他の教育機関の用に供する財産の管理に関すること。
- ウ 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- エ 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- オ 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- カ 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- キ 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- ク 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- ケ 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- コ 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- サ 学校給食に関すること。
- シ 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- ス 文化財の保護に関すること。
- セ ユネスコ活動に関すること。
- ソ 教育に関する法人に関すること。
- タ 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- チ 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- ツ ア～チのほか当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

#### (2) 教育委員会の構成

目黒区教育委員会は、区長が区議会の同意を得て任命する教育長及び4人の委員で構成されています。

教育長は、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有することが要求され、任期は3年です。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有することが要求され、任期は4年です。

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

教育長職務代行者は、教育長に事故があるとき等のために指定されます。

また、委員の任命に当たっては、地域住民や保護者等の意向等を的確に把握し、地域の状況に応じた主体的で積極的な教育行政を展開し、委員の構成を多様なものとするため、委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないよう配慮し、委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならぬとされています。

令和6年3月31日現在の目黒区教育委員会の構成は下の表のとおりです。

職名	氏名	任期
教育長	関根 義孝(せきね よしたか)	令和4年10月1日から令和7年9月30日まで
教育長職務代行者	川嶋 春奈(かわしま はるな)	令和2年10月1日から令和6年9月30日まで
委員	片山 覚(かたやま さとる)	令和3年10月1日から令和7年9月30日まで
委員	若井田 正文(わかいだ まさぶみ)	令和4年12月1日から令和8年11月30日まで
委員	松村 眞理子(まつむら まりこ)	令和5年12月9日から令和9年12月8日まで



関根教育長



川嶋教育長  
職務代行者



片山委員



若井田委員



松村委員

### (3) 付属機関等

目黒区教育委員会には付属機関及びこれに準ずる機関として、次の4つの機関が設置されています。

**ア いじめ問題対策委員会** いじめ問題対策委員会は、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止等のための対策を実効的に行うために設置するものです。また、いじめによる重大事態が発生した場合の調査を行います。委員の人数は6人(令和6年3月31日現在)で、任期は2年です。

**イ 社会教育委員** 社会教育委員は、社会教育法に基づき設置するもので、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、これらに必要な研究調査等を職務としています。委員の定数は10人以内で、任期は2年です。

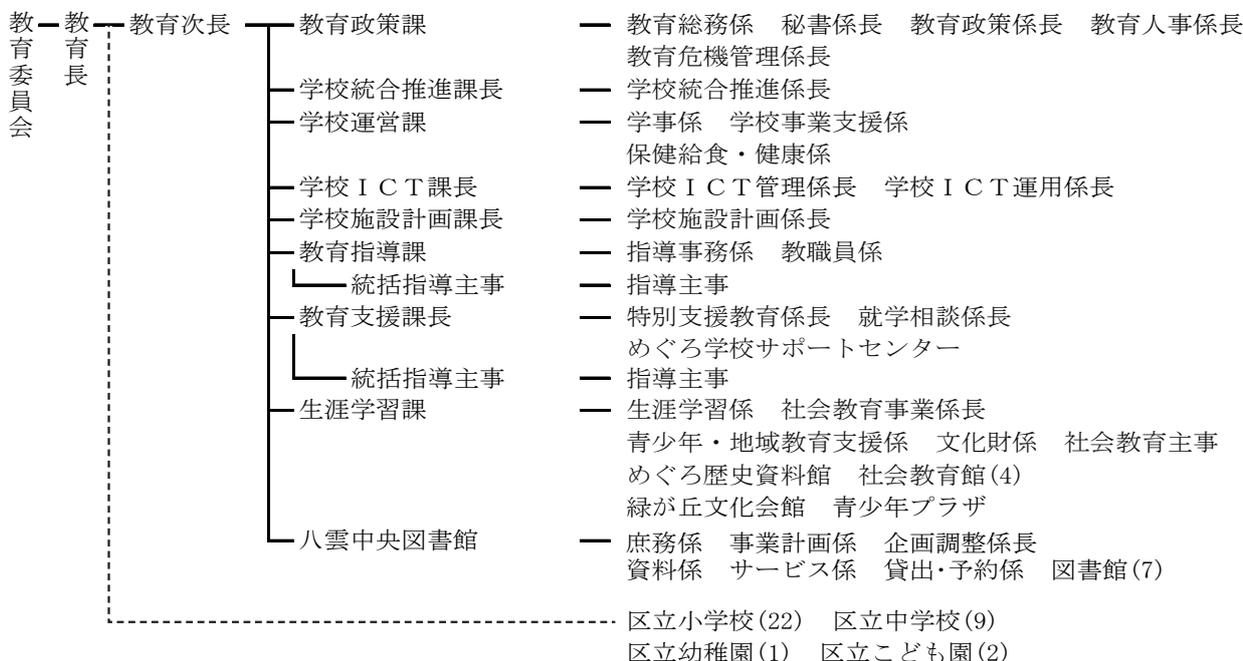
**ウ 文化財保護審議会** 文化財保護審議会は、文化財保護法に基づき設置するもので、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する事項を調査・審議し、これらの事項について教育委員会に建議する付属機関です。委員の人数は6人(令和6年3月31日現在)で、任期は2年です。

**エ 青少年委員** 青少年委員は、青少年教育の振興を図るために設置しているもので、青少年の余暇指導、青少年団体の育成、青少年指導者に対する援助等を行います。委員の人数は32人(令和6年3月31日現在)で、任期は2年です。

(4) 教育委員会事務局及び教育機関（施設）とその分掌事務(令和6年3月31日現在)

教育委員会の事務を処理するために、教育長の総括のもとに教育委員会事務局を設置しています。また、事務局のほかに区立学校、図書館等の教育機関（施設）を設置しています。

教育委員会の組織図



教育委員会の分掌事務

教育次長		
教育政策課	教育総務係	教育委員会の会議運営、法規、予算・決算・監査、契約、情報公開・個人情報保護、教育行政相談、区長部局との芸術文化・スポーツ行政に係る連絡調整
	秘書係長	教育長秘書、褒賞・表彰、寄付
	教育政策係長	教育行政の総合的な企画・調整・政策立案、組織・定数、広報
	教育人事係長	区費学校職員の人事、研修、労働安全・労働衛生
	教育危機管理係長	教育委員会における危機管理の統括・調整、学校事故
学校統合推進課長	学校統合推進係長	区立中学校の統合の推進
学校運営課	学事係	区立学校の学級編制、区立学校の就学（転入学）、区立学校の通学区域、隣接学校希望入学制度、区立幼稚園・こども園、就学援助、就学奨励
	学校事業支援係	自然宿泊体験教室、学校独自宿泊事業、部活動支援、夏季水泳指導支援、校外施設維持管理（八ヶ岳林間学園・興津自然学園）
	保健給食・健康係	学校給食・こども園給食、学校保健・環境衛生、健康教育・食育の推進
学校ICT課長	学校ICT管理係長	学校ICT環境の整備及び維持・管理
	学校ICT運用係長	学校ICT環境の整備計画等の企画・立案
学校施設計画課長	学校施設計画係長	学校教育施設の整備計画・管理保全
教育指導課	指導事務係	教科書採択、連合行事、外国語指導員の派遣、教育実習、補助的教員
	教職員係	都費・幼稚園教職員の人事、都費教職員の給与・福利厚生・健康管理、都費の補助的教員

統括指導主事	指導主事	区立学校及び区立幼稚園の教育課程、学習指導その他学校教育に係る専門的事項の指導、教員研修の企画立案・運営
教育支援課長	特別支援教育係長	特別支援教育推進計画、特別支援教育の啓発、特別支援学級の運営予算管理、特別支援学級の増設
	就学相談係長	障害児の就学・転学相談、特別支援学級の編制・運営、特別支援教育支援員の配置
	めぐろ学校サポートセンター	施設管理、貸室管理、視聴覚ライブラリー、夏休み優秀作品展、教職員研修、学校教育サポート、学習支援教室(めぐろエミール)運営、教育相談(電話、来室)、スクールカウンセラー学校派遣、スクールソーシャルワーカー派遣
統括指導主事	指導主事	特別支援教育に係る区立学校の教育課程、学習指導その他学校教育に係る専門的事項の指導、教員研修の企画立案・運営、各種サポート事業の企画立案、各種サポート事業への専門的な指導・助言
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の振興の総合的な計画・調整、生涯学習実施推進計画、社会教育の振興、社会教育委員、教育機関との連携講座事業、学校施設(教室)の使用、区職員派遣制度(区職員活用しま専科)、めぐろシティカレッジ
	社会教育事業係長	社会教育館及び緑が丘文化会館の管理運営、団体援助、連合団体支援、ユネスコ事業等
	青少年・地域教育支援係	青少年委員、青少年問題協議会、青少年健全育成、二十歳のつどい、こども110番の家、放課後フリークラブ(ランドセルひろば・子ども教室)、小・中P T A活動の支援、地域教育懇談会
	文化財係	文化財の保護・保存・活用・普及、文化財保護審議会
	社会教育主事	社会教育に係る専門的、技術的な助言指導
	めぐろ歴史資料館	目黒区の歴史・文化に関する資料の収集・整理・保管・調査研究、常設展示・企画展示、講演会・講座などの教育普及事業
	東山社会教育館	社会教育関係団体への助言・指導・援助、各種講座・研修会等の実施、施設の利用、コミュニティ活動の支援(緑が丘文化会館)
	目黒区民センター社会教育館	
	中央町社会教育館	
	目黒本町社会教育館	
緑が丘文化会館		
青少年プラザ		
八雲中央図書館	庶務係	庶務、予算・決算、契約、統計、めぐろ区民キャンパスの施設の維持管理
	事業計画係	図書館事業の総合計画、広報、図書館情報システム、配本車の運行、職務研修
	企画調整係長	図書館基本方針の具体化、調査・回答・統計
	資料係	図書館資料の計画、選定・収集・整理・保存に関する調整、インターネット閲覧サービス、レファレンスサービス
	サービス係	障害者サービス、乳幼児・児童・YAサービス、団体貸出
	貸出・予約係	窓口業務の管理運営に関する調整、業務委託の管理及び調整、図書館資料の利用に関する調整、相互貸借
	大橋図書館	図書館資料の整理・利用、相互貸借、レファレンス、施設の維持管理、その他館の運営
	中目黒駅前図書館	
	目黒区民センター図書館	
	守屋図書館	
目黒本町図書館		
洗足図書館		
緑が丘図書館		

## 2 教育委員会の会議

### 教育委員会定例会・臨時会

教育行政の基本的な方針の決定や諸問題の解決等の重要案件を処理するために、原則毎週火曜日に教育委員会定例会を開催するとともに、特に緊急案件を処理するために、教育委員会臨時会を開催し、付議された事案を審議したほか、諸事項についての意見・情報の交換、業務報告を受け、教育行政の適正な運営に努めました。

#### (1) 定例会・臨時会の開催回数と議案付議件数

会議種別	開催回数	付議件数	議案付議内容別件数	
定例会	44	52	規則関係 17	区議会議案意見聴取関係 19
臨時会	3	4	人事関係 4	財産関係 0
計	47	56	諮問関係 2	その他 14

#### (2) 定例会・臨時会の審議・報告内容

会議名 開催日	議事	件名
第1回 臨時会 4月3日	議案 22	幹部職員の任命について
第11回 定例会 4月4日	報告 報告	令和5年度教育施策説明会の実施及び前期・教育施策に関する説明動画の説明項目(案)について 目黒区立社会教育館等における研修室等の利用制限の解除について
第12回 定例会 4月11日	協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区立社会教育館条例及び目黒区緑が丘文化会館条例並びに目黒区青少年プラザ条例の一部改正について 令和5年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和4年度分)の実施について 区立学校・園行事警備委託について 令和5年度自然宿泊体験教室及び学校独自宿泊事業の実施について 令和5年度学校評議員の委嘱について 春季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について 令和4・5年度青少年委員の欠員補充に係る委嘱について 教育委員会名義の使用承認状況について
第13回 定例会 4月25日	報告 議案 23 報告 報告 報告 報告 報告	区立学校におけるいじめの発生について 目黒区立社会教育館条例等の一部を改正する条例の立案請求について 令和5年度児童生徒数・学級数について 令和4年度情報セキュリティ施策に関する取組結果及び令和5年度情報セキュリティ施策について 令和5年度研究指定校等の状況について 令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書採択について めぐろ学校サポートセンターの運動場・体育館の利用再開について
第14回 定例会 5月9日	議案 24 報告	目黒区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則 統合新校開設準備委員会の設置について

会議名 開催日	議事	件 名
第 15 回 定例会 5月16日	報告 報告 報告	目黒区立学校教科用図書調査研究委員会委員の委嘱について 令和5年度目黒区教職員等の配置状況について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 16 回 定例会 5月23日	報告 協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告	訴訟事件の判決について 目黒区文化財保護審議会委員の委嘱について 教育委員会事務局各課の主要課題について 統合新校の校名の公募及び選定について 令和4年度目黒区立学校卒業生の進路状況について 令和4年度目黒区立学校におけるいじめの状況について 令和4年度目黒区立学校における不登校の状況について 目黒区めぐろ歴史資料館の臨時休館について 令和4年度目黒区めぐろ歴史資料館等の利用状況について
第 17 回 定例会 5月30日	議案 25 議案 26 議案 27 報告 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区民センター等整備事業審査委員会条例（意見聴取） 目黒区エコプラザ条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区文化財保護審議会委員の委嘱について MEGUROスマートスクール・アクションプランの進捗状況（令和4年度分） について 目黒区立向原小学校等複合施設基本設計（案）について（案） 令和4年度放課後フリークラブの実施結果について 令和4（2022）年度ランランひろばの実施結果について 東山小学校内学童保育クラブとランランひろばの同時開設について 公の施設使用料の見直し方針の改定について 令和5年度学級閉鎖等の状況（5月29日現在）
第 18 回 定例会 6月6日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	新たな目黒区民センターの基本計画（素案）について 学校施設更新におけるめぐろ学校サポートセンターの活用の方向について めぐろ学校サポートセンター機能の移転について 青少年プラザ機能の移転について めぐろ歴史資料館機能の移転について 令和5年度学級閉鎖等の状況（6月5日現在）
第 19 回 定例会 6月13日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和5年第2回区議会定例会一般質問通告について 令和5年度児童生徒数・学級数について 令和5年度目黒区・東城区・中浪区との三区間交流事業について 令和6年「二十歳（はたち）のつどい」の開催について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（6月12日現在）
第 20 回 定例会 6月27日	報告 報告 報告	令和4年度目黒区立学校における体罰等の状況について 令和5年度目黒区立中学校における部活動の状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（6月26日現在）
第 21 回 定例会 7月4日	協議 報告	目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問について 訴訟事件の発生について

会議名 開催日	議事	件 名
	協議 協議 協議 報告 報告 報告	第七中学校と第九中学校の統合新校の校名の公募結果及び一次選定（案）について 第八中学校と第十一中学校の統合新校の校名の公募結果及び一次選定（案）について 目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について 令和5年第2回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 教育職員の人事異動について 令和5年度学級閉鎖等の状況（7月3日現在）
第22回 定例会 7月11日	協議 議案28 議案29 報告 報告 報告 報告	令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問について 目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について ランランひろばの拡充による臨時的な対応について 学校施設の使用見直しの方向性について（案） 目黒区古民家の臨時休館について 令和5年度学級閉鎖等の状況（7月10日現在）
第23回 定例会 7月18日	協議 報告 報告 報告	令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 令和5年度目黒区一般会計補正予算（第2号）について 令和5年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和4年度分）報告書（素案）について 教育委員会名義の使用承認状況について
第24回 定例会 7月25日	協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 区立学校におけるいじめの発生について 学校運営協議会の設置に向けた進め方について（案） 令和6年度隣接中学校希望入学制度の実施について 第七・第九中学校統合新校新校舎設計の基本的な考え方について（案） 第八・第十一中学校統合新校新校舎設計の基本的な考え方について（案） 目黒区立目黒本町図書館における事故の発生について
第25回 定例会 8月1日	協議 報告 報告 報告	令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 令和5年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和4年度分）報告書（案）について めぐろ子ども子育てサポート2023について 令和6年度に開始するランランひろば（油面小・大岡山小）の事業拡充について
第26回 定例会 8月8日	議案30 協議 協議 協議 協議 報告 報告	令和6年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 令和6年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和6年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について 令和5年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和4年度分）報告書（案）について 第七中学校と第九中学校の統合新校の校名の二次選定（案）について 第八中学校と第十一中学校の統合新校の校名の二次選定（案）について 令和5年度目黒区一般会計補正予算（第2号）の内示について 教育委員会名義の使用承認状況について
第27回 定例会 8月22日	議案31 議案32 議案33	令和6年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和6年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取）

会議名 開催日	議事	件 名
	議案 34 議案 35 議案 36  議案 37 議案 38 議案 39 議案 40 議案 41  協議 協議	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の高齢者部分休業に関する条例（意見聴取） 令和5年度目黒区一般会計補正予算（第2号）（意見聴取） 令和4年度目黒区一般会計歳入歳出決算の認定について（意見聴取） 令和5年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和4年度分）について 第七中学校と第九中学校の統合新校の校名の三次選定について 第八中学校と第十一中学校の統合新校の校名の三次選定について
第28回 定例会 8月29日	協議 協議 報告 報告  報告 報告 報告 報告	第七中学校と第九中学校の統合新校の校名の三次選定について 第八中学校と第十一中学校の統合新校の校名の三次選定について 令和5年第3回区議会定例会一般質問通告について 令和5年度教育施策説明会（前期・教育施策に関する説明動画の配信）の実施結果について 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要について 令和5年度目黒区学力調査実施結果の概要について 夏季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について 八雲中央図書館の臨時休館及び目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場の臨時休業について
第29回 定例会 9月5日	報告 議案 42 議案 43 報告 報告	区立学校におけるいじめの発生について 第七中学校と第九中学校の統合新校の校名案について 第八中学校と第十一中学校の統合新校の校名案について 令和6年度区立幼稚園及びこども園の園児募集について 令和5年度学級閉鎖等の状況（9月4日現在）
第30回 定例会 9月12日	議案 44 議案 45 議案 46 報告 報告 報告	目黒区立学校設置条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区立こども園条例施行規則の一部を改正する規則 清水池教職員住宅の見直しについて 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（9月11日現在）
第31回 定例会 9月26日	議案 47  議案 48 議案 49 報告	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の住居手当に関する規則の一部を改正する規則 令和5年度学級閉鎖等の状況（9月25日現在）
第32回 定例会 10月3日	報告 報告 報告  報告	令和5年第3回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 鷹番小学校建て替え及び複合化の進め方について（案） 令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について 令和5年度学級閉鎖等の状況（10月2日現在）

会議名 開催日	議事	件 名
第 33 回 定例会 10月10日	報告 報告 報告 報告	学生ボランティア事業の実施について ランランひろばにおける冬季利用時間の取り扱いについて 目黒区立図書館の臨時休館について 令和5年度学級閉鎖等の状況（10月6日現在）
第 34 回 定例会 10月17日	協議 報告 報告 報告	目黒区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の一部改正について 令和5年度教育施策説明会（後期）の説明項目について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（10月16日現在）
第 35 回 定例会 10月24日	協議 報告 議案 50 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問について 区立学校におけるいじめの発生について 目黒区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則 令和5年第3回区議会定例会中の決算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁（要旨）について 令和6年度入学隣接中学校希望入学制度申込結果(中間集計)について 第七・第九中学校統合新校新校舎計画案のたたき台について（案） 第八・第十一中学校統合新校新校舎計画案のたたき台について（案） 令和5年度学級閉鎖等の状況（10月23日現在）
第 36 回 定例会 10月31日	議案 51 報告	目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問について 令和5年度学級閉鎖等の状況（10月30日現在）
第 37 回 定例会 11月7日	議案 52 報告 報告 報告 報告	目黒区立学校設置条例の一部を改正する条例（意見聴取） 川崎市学校給食において食材の産地偽装があったことに伴う目黒区における状況等について 目黒区民センター建て替えに伴う下目黒小学校等のめぐろ学校サポートセンター施設への移転時期について（案） めぐろ区民キャンパス消防設備点検時における事故の発生について 令和5年度学級閉鎖等の状況（11月6日現在）
第 38 回 定例会 11月14日	議案 53 報告 報告 報告 報告	目黒区立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則 令和5年第4回区議会定例会一般質問通告について 「目黒区特別支援教育推進計画」改定の進め方について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（11月13日現在）
第 39 回 定例会 11月21日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和6年度当初予算に係る主な要求項目について 目黒区立第七中学校・第九中学校統合新校新校舎基本構想素案(案)について 目黒区立第八中学校・第十一中学校統合新校新校舎基本構想素案(案)について 統合新校の新校舎への移転時期について（案） 新たな目黒区民センターの基本計画（案）について 令和5年度前期目黒区立学校におけるいじめの状況について 令和5年度前期目黒区立学校における不登校の状況について 「公の施設使用料の見直し方針」の改定について 令和5年度学級閉鎖等の状況（11月20日現在）

会議名 開催日	議事	件 名
第2回 臨時会 11月24日	議案 54 議案 55 議案 56	目黒区長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例（意見聴取） 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取）
第40回 定例会 11月28日	協議 報告 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正について 令和5年度目黒区一般会計補正予算（第3号）について 令和6年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程の基本方針及び教育課程編成・実施の留意事項（基本的な考え方）について（案） 令和5年度公立小中学校教員公募について 学校施設の使用見直し方針案について 令和5年度学級閉鎖等の状況（11月27日現在）
第41回 定例会 12月5日	報告 議案 57 議案 58 報告 報告	訴訟事件の判決について 令和5年度目黒区一般会計補正予算（第3号）（意見聴取） 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 令和5年度目黒区一般会計補正予算（第4号）について 令和5年度学級閉鎖等の状況（12月4日現在）
第3回 臨時会 12月11日		議席の決定について 教育長職務代行者の指名について
第42回 定例会 12月12日	報告 報告 報告 報告 報告	令和5年第4回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 令和6年度隣接中学校希望入学制度の申込結果について 令和5年度目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会の懇談会の実施結果について 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（12月11日現在）
第43回 定例会 12月19日	報告 報告 報告 報告 報告	令和5年度小・中学校卒業式祝辞について 目黒区生涯学習実施推進計画（令和4年度～令和8年度）の進捗状況について 区内の医療機関及び大学の図書室等との連携について（案） 目黒区立図書館での公衆無線LANサービス（Wi-Fi）の導入について（案） 令和5年度学級閉鎖等の状況（12月18日現在）
第44回 定例会 12月26日	報告 報告 報告 報告	令和6年度組織改正（第一次）及び職員数内内示について 今後実施する学校運営協議会の運営体制及び設置スケジュール（素案）について 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について 令和5年度学級閉鎖等の状況（12月25日現在）
第1回 定例会 1月9日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和6年度目黒区一般会計当初予算原案について 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る実施方針等について 五本木小学校屋内プール（中央地区プール）の臨時休場について 令和5年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果について 令和5年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰について 都立特別支援学校給食費補助事業について 緑ヶ丘小学校におけるランランひろば事業の実施について 令和6年1月実施の「二十歳のつどい」実施結果について

会議名 開催日	議事	件 名
第2回 定例会 1月16日	協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和6年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の再採択について 区立学校・園における学校業務(用務等)の委託化の進め方について(案) 令和6年度以降の児童生徒数・学級数の推計等について 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について 冬季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況(1月15日現在)
第3回 定例会 1月23日	議案1 報告 報告 報告 報告 報告	令和6年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の再採択について 令和6年度組織改正(第二次)及び職員数内示について 令和5年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について 令和6年度教育行政運営方針(素案)について(案) 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について 令和5年度学級閉鎖等の状況(1月22日現在)
第4回 定例会 1月30日	報告 議案2 議案3 議案4 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問の取下げについて 目黒区個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例(意見聴取) 令和5年度目黒区一般会計補正予算(第4号)(意見聴取) 令和6年度目黒区一般会計予算(意見聴取) 目黒区立目黒南中学校新校舎基本構想について(案) 目黒区立目黒西中学校新校舎基本構想について(案) 令和5年度小・中学校卒業式祝辞について 令和5年度目黒区立学校・園における学校・園評価アンケートの実施結果等について 令和5年度学級閉鎖等の状況(1月29日現在)
第5回 定例会 2月6日	議案5 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	教育管理職の任命に関する内申について 区立学校におけるいじめの発生について 令和6年第1回区議会定例会質問通告について 令和6年度教育行政運営方針(素案)について 令和6年度における部活動支援の取組について 令和6年度社会教育館・緑が丘文化会館・青少年プラザの年間事業計画(案)について 令和6年度めぐろシティカレッジについて 令和5年度学級閉鎖等の状況(2月5日現在)
第6回 定例会 2月13日	議案6 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区附属機関の設置に関する条例(意見聴取) 令和6年度教育行政運営方針(案)について 今後実施する学校運営協議会の運営体制及び設置スケジュールについて(案) 地域学校協働活動の推進について(案) 令和5年度区主催教員等研修の実施状況及び令和6年度の方針について 事故の発生について 中目黒スクエア改修工事に伴う構成施設の取り扱い等について(案) めぐろ歴史資料館機能の移転の方針について(案) 令和5年度学級閉鎖等の状況(2月9日現在)

会議名 開催日	議事	件 名
第7回 定例会 2月20日	議案 7 議案 8 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区立目黒南中学校新校舎基本構想の策定について 目黒区立目黒西中学校新校舎基本構想の策定について 令和6年度学校標準給食費について（案） 令和6年度区立幼稚園及びこども園の入園申込状況等について 自然宿泊体験教室の見直し及び令和6年度の実施計画について（案） 令和5年度目黒区・東城区・中浪区との三区間交流事業の実施報告について 区民交流活動室(仮)の運営に向けた考え方と今後の取組みについて 公の施設の利用に係るキャッシュレス決済の導入について 施設付帯駐車場の使用料の改定について めぐろ区民キャンパス消防設備点検時に発生した事故への対応について 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（2月19日現在）
第8回 定例会 3月5日	議案 9 協議 報告 報告 報告 報告	目黒区公立幼稚園教育管理職の任命について 目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実 施方針の一部改正について 令和6年第1回区議会定例会代表質問・一般質問の答弁（要旨）について めぐろ学校教育プランの進捗状況（令和5年度分）について 令和6年度児童生徒数・学級数の推計について 令和5年度学級閉鎖等の状況（3月4日現在）
第9回 定例会 3月12日	議案 10 協議 報告 報告 報告 報告	目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実 施方針の一部改正について 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正について 不登校児童・生徒の保護者のためのガイド（案）について（案） 目黒区立小・中学校、目黒区立幼稚園・こども園における医療的ケア実施ガイドラ イン（案）について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について 令和5年度学級閉鎖等の状況（3月11日現在）
第10回 定例会 3月26日	議案 11 報告 議案 12 議案 13 議案 14 議案 15 議案 16 議案 17 議案 18 議案 19 報告 報告 報告 報告	目黒区教育委員会事務従事幹部職員の異動について 区立学校におけるいじめの発生について 目黒区個人番号の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 目黒区立社会教育館処務規則の一部を改正する規則 目黒区立図書館処務規則の一部を改正する規則 目黒区青少年プラザ処務規則の一部を改正する規則 目黒区緑が丘文化会館処務規則の一部を改正する規則 目黒区めぐろ歴史資料館処務規則の一部を改正する規則 目黒区めぐろ学校サポートセンター処務規則の一部を改正する規則 令和6年第1回区議会定例会中の予算特別委員会での教育委員会に係る質問の答 弁（要旨）について 令和6年度学校経営方針のプレゼンテーションについて（案） 令和5年度教育施策説明会（後期）の実施結果及び令和6年度教育施策説明会の 実施について 令和6年度めぐろ歴史資料館の企画展等について

### 3 令和5年度における教育委員会の主な動き

#### (1) 午前5時間制に関する研究

児童の学びの質と生活の質の向上を図るため、学校教育法施行規則第51条の規定によらず、1単位時間を40分とし、創意工夫ある教育課程、各教科等の指導方法、適切な授業時数の在り方について研究開発を行いました。令和5年10・11月の研究発表会において、令和元年度からの5年間の研究成果を区内外の教育関係者に発表することができました。

#### (2) いじめ・不登校の防止に向けた取組

いじめ・不登校の防止に向けた取組を強化するとともに、令和5年度も引き続き、学級経営上の一助とするため、子どもたちの学校生活における満足度や意欲、学級集団の状態を把握できる「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を全小・中学校において実施しました。また、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を各中学校区で実施しました。

各学校では、「いじめに関する研修」を年3回実施しており、いじめ問題対策を総合的にまとめた「教員研修冊子『目黒区立学校・園 いじめ問題対策』(令和2年9月全教員に配付)」を活用しながら、各学校の課題に応じて研修内容の充実を図りました。

#### (3) 特別支援教育の推進

特別支援教育の視点をもつ教員を育成し、幼児・児童・生徒一人ひとりの課題に応じた指導を行うことができるように、令和5年度は、通常の学級の教員を対象に、特別支援教育研修を年3講座実施するとともに、小・中学校・幼稚園・こども園の全教員を対象に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」及び「合理的配慮に関する考え方」について、eラーニングによる研修を実施しました。

横浜国立大学との協定に基づき、五本木小学校と目黒中央中学校において、自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実を図ることを目的とした研修を年3回実施しました。

東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次実施計画及び目黒区特別支援教育推進計画に基づき、都の指定を受けて大鳥中学校において、令和5・6年度の2年間にわたり、知的障害特別支援学級における各教科等を合わせた指導内容・方法の研究に取り組んでいます。

#### (4) 新型コロナウイルス感染症に係る教育活動への対応

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、各学校・園にて教育活動を継続してきました。

##### ア 感染症対策

5類感染症への移行に伴い、「目黒区立学校・園 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」は廃止した上で、引き続き適切な感染対策を実施していくため、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に沿った対応を行いました。

##### イ 行事等の再開

小学校連合音楽会、小学校連合演劇鑑賞教室、中学校連合音楽鑑賞教室について、令和5年度より再開しました。

#### (5) 学校・園における働き方改革の推進

令和5年2月に改定した「目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム」に基づき、教職員が心身の健康、誇りとやりがいを持って勤務し、子どもと向き合う時間が創出できるよう、引き続き、働き方改革に係る取組を進めていきます。

令和5年度は、小学校2校、中学校2校を業務改善モデル校として指定し、働き方改革に係る

試行的な取組・検証を行いました。このうち、教員の勤務時間に合わせた留守番電話設定時刻の繰上げについては、効果的な取組であったため、令和6年4月から全校・園に展開することとしました。

#### (6) 学校施設の老朽化対策

学校施設更新計画に基づき、老朽化した学校施設の計画的な更新を進めています。令和5年度は、向原小学校については、5月に基本設計素案についての住民説明会を3回実施し、新校舎の設計や工事中の影響について情報共有及び意見交換を行いました。その後、6月に基本設計を策定しました。鷹番小学校については、1月に基本構想・基本設計業務の委託候補者を公募型プロポーザル方式で選定しました。

#### (7) 安全で快適な施設整備

学校は、子どもたちが日常的に学び生活する場としての役割とともに、災害時の避難場所としての役割も担っており、安全で快適な施設整備に取り組んでいます。

令和5年度は、学校の生活環境改善を図るため、小学校5校、中学校2校で体育館・校庭トイレの洋式化工事を実施しました。

#### (8) 南部・西部地区の中学校の統合の取組

令和5年3月に策定した「第七中学校・第九中学校の統合新校整備方針」及び「第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針」に沿って、新校ごとに統合新校開設準備委員会を設置し、開校に向けた具体的な準備を進めました。

また、新校の校名を広く募集し、応募された名称の中から「目黒南中学校」「目黒西中学校」を選定しました。令和5年第4回区議会定例会では、目黒区立学校設置条例を改正して令和7年4月に開校することが正式に決まりました。

#### (9) めぐろ歴史資料館企画展等の実施

目黒区内に公立学校が誕生してから150周年を迎えるに当たり、今日までの目黒の教育の歴史を辿り、未来へつなぐことを目的とした「目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎一過去から現在へー」や、「めぐろ歴史資料館開館15周年記念 新収蔵品展」など、企画展示を3回実施しました。また、関連事業として展示説明会や体験会等を開催しました。

#### (10) 目黒区立図書館と医療機関との連携事業

東邦大学医学メディアセンター、国立病院機構東京医療センター、東京医療保健大学図書館と目黒区立八雲中央図書館は、令和6年1月に「図書館資料等を活用した健康医療情報・保健福祉情報サービスに関する合意書」を締結しました。この合意に基づき「めぐりぶ健康ネット」の名称で連携事業を進めています。

#### (11) 無線LAN (Wi-Fi) サービス

令和6年1月（八雲中央図書館及び大橋図書館は2月）から、Wi-Fiを導入し、全館で無線LANサービスが利用できるようになりました。

#### (12) 物価高騰対策

国の「こども未来戦略方針」などを受けて区独自の子ども子育て支援施策である「めぐろ子ども子育てサポート2023」を展開するなど、物価高騰の影響を受ける保護者の経済的負担軽減に取り組みました。

取組として、物価高騰により食材費の価格が上昇している中においても、給食費の負担増を保護者に求めることなく、充実した給食を安定的に提供していくため、区立小・中学校、こども園の

給食食材の一部を公費で支援しました。また、令和5年10月からの区立小・中学校の給食費について、物価高騰の影響を受ける保護者の経済的負担の軽減を図るため保護者負担をゼロとしました。就学援助・就学奨励費の学用品費及び入学支度金費について、物価高騰相当分を追加支給しました。

さらに、都立特別支援学校に通学する児童・生徒を対象に、令和5年10月から令和6年3月分の給食費相当額の補助を実施しました。

## 4 広報・広聴活動

### (1) 広報活動

教育行政を適正、かつ効果的に推進していくためには、行政の施策や計画等の情報を区民に正しく提供し、行政と区民の連携を図ることが重要です。令和5年度の主な広報活動は次のとおりです。

#### ア 教育施策説明会の実施

教育委員会は、教育課題を提起するとともに教育施策を積極的に展開するに当たり、区民のご理解とご協力を得られるよう、教育施策説明会を実施しています。

なお、令和4年度に引き続き令和5年度についても、時間や場所を限定しない形での視聴が可能な説明動画のオンデマンド配信により実施しました。

	配信開始日・視聴回数	内 容
前期	5月22日から 543回 5月22日～6月30日集計分	①教育委員会の施策と予算 ②1人1台タブレット端末の利活用状況 ③いじめの現状といじめ問題への対応 ④不登校児童・生徒への取組 ⑤特別支援教育の推進 ⑥学校施設の計画的な更新 ⑦統合による新設中学校の開校準備 ⑧教職員の働き方改革の推進 ⑨区立図書館各種サービスの利用方法
後期	11月20日から 550回 11月20日～12月28日集計分	①目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎—過去から現在— ②統合新校の校名の選定結果・開校に向けた取組 ③GIGA スクール構想に基づく教育の推進 ④区立幼稚園・こども園の子育て支援事業 ⑤教職員の働き方改革の推進 ⑥特別支援教育の推進 ⑦いじめの現状といじめ問題への対応 ⑧不登校児童・生徒への取組 ⑨学校施設の整備・改善

#### イ 「目黒区の教育—令和4年度事業報告書—」の発行

教育関係者、施設等に配布しました。

#### ウ 「きょういく広報」の発行

発行部数 No.176 12,000部 No.177 12,000部

区立小・中学校、幼稚園、こども園の保護者への配布は、保護者連絡システムでの配信に変更しました。そのほか、保育園、教育施設窓口、区施設窓口等に配布し、町会・自治会に回覧しました。

(発行開始：昭和47年4月)

発行月	内 容
No.176 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目黒区の教育は150周年を迎えます</li> <li>・令和5年度めぐろ歴史資料館特別展「目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎 過去から現在へ」</li> <li>・令和5年度全国学力・学習状況調査結果と目黒区学力調査結果をお知らせします</li> <li>・令和6年度から使用する小学校教科書が決まりました</li> <li>・中学校におけるイングリッシュ・キャンプの様子を紹介します</li> <li>・各学校の特色ある教育 40分授業午前5時間制</li> <li>・区立学校・園における働き方改革を推進しています</li> <li>・統合新校2校の校名を選定しました</li> <li>・開校に向けた取組</li> <li>・目黒区立中学校統合新校の新校舎整備に向けて基本構想の策定作業を進めています</li> <li>・向原小学校の建て替えを進めています</li> <li>・寄付金のお願い</li> <li>・ひとりで悩まず相談してみませんか</li> <li>・教育施策に関する説明動画を配信します</li> </ul>
No.177 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生み出した時間を活用した創意工夫ある教育活動。40分授業午前5時間制の取組の推進に向けて</li> <li>・目黒南中学校開校に向けて</li> <li>・目黒西中学校開校に向けて</li> <li>・令和6年度教育委員会の予算</li> <li>・向原小学校の建て替えを進めています</li> <li>・鷹番小学校建て替えの基本構想の策定作業に取り組んでいます</li> <li>・目黒南中学校・目黒西中学校の新校舎基本設計を進めています</li> <li>・令和5年度目黒区教育委員会児童生徒表彰</li> <li>・令和5年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰</li> <li>・寄付金のお願い</li> <li>・教職員の働き方改革の推進にご協力ください</li> <li>・「こども110番の家」にご協力ください</li> <li>・教育施策に関する説明動画を配信します</li> <li>・教育委員を紹介します</li> </ul>

## エ ウェブサイトの活用

9月12日(火曜日)に区公式ウェブサイトをリニューアルしました。教育委員会のページについても、誰もが「使いやすい」「欲しい情報がすぐに見つかる」ウェブサイトを目指し、整理等を行いつつ、教育情報の積極的な公開に努めました。

学校のウェブサイトについては、平成21年度にCMS(コンテンツマネジメントシステム)を導入し、専門の知識がなくても各校が一定レベルのウェブサイトを開発できる体制となっています。そのため、各校とも学校だよりを掲載したり、写真入りで学校生活の様子を紹介したり、保護者や地域の方々に向け積極的に情報公開を行っています。

## オ その他

東山社会教育館、目黒区民センター社会教育館、目黒本町社会教育館、中央町社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザでは、館主催の事業や社会教育の啓発、団体活動の紹介等のために、「館だより」等を発行しました。

めぐろ歴史資料館、生涯学習課文化財係では「めぐろ歴史資料館・文化財だより」を発行しました。

社会教育の催し等は、ポスター・ちらし、「めぐろ区報」等で、随時お知らせするとともに、社会教育館・緑が丘文化会館、青少年プラザ、図書館では、ウェブサイトにおいて事業等のお知らせを行いました。

## (2) 情報公開

区が持っている各種の情報は、区民と区の共有財産です。この情報を区民が有効に活用できるように、区は「情報公開制度」を実施しています。

また、区が保有する個人情報を保護するために「個人情報保護制度」を実施しています。個人情報保護制度は、法改正により、令和5年4月1日から、区の条例に基づく制度から、国の個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）に基づく制度に変更となりました。

### ア 情報公開制度

区では、昭和60年1月1日に公文書公開条例を施行し、区民の公文書の公開を求める権利を保障し、公正で開かれた区政の推進、区民の区政への参加等を図ってきました。

その後、情報公開の対象を拡大し、個人情報の保護等に関する規定を整備するとともに、実施機関に対し情報の公開施策の充実を義務付けること等により情報公開の総合的な推進を図るため、公文書公開条例の全部を改正し、情報公開条例を定め、平成13年4月1日から情報公開制度を実施してきました。教育委員会もこの制度の実施機関になっており令和5年度の請求は17件で、その請求に対する処分は、全部開示決定が5件、一部開示決定が12件、不開示が0件でした。

### イ 個人情報保護制度

個人情報保護制度は、区が保有する個人情報を保護するために必要な事項を定めることにより、区民等が自分自身についての情報を知り、コントロールする権利を保障する制度です。教育委員会もこの制度の実施機関になっており、区立学校が保有する個人情報の保護制度も実施しています。令和5年度の請求は9件で、その請求に対する処分は、全部開示決定が2件、一部開示が7件、不開示が0件でした。

## 5 放射性物質への対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した福島第一原子力発電所の事故の影響による放射性物質への主な対応は次のとおりです。

### (1) 学校・園給食食材の放射性物質検査

学校・園で使用する給食食材について、下記のとおり検査を実施しました。令和 5 年度の結果で食品衛生法に定める規格基準を超えるものではありませんでした。

食材種類	検査頻度	検査方法	検査機関
米	年 2 回	ゲルマニウム検出器 による検査	外部検査機関
飲用牛乳 ※油面小学校わかたけ学級用 ヨーグルトも含む。	年 2 回		
使用前の食材	各施設 1 件程度 延べ 33 件		
食育食材	年 8 件		

※給食食材の産地を、小・中学校は学校ウェブサイトに、こども園は園内に掲示して公表しました。

### (2) 小・中学校校庭等の空間放射線量測定及び低減措置

平成 23 年度から実施していた、目黒区における小・中学校校庭の空間放射線量測定及びプール水の放射性物質の測定は、基準値である  $0.23 \mu\text{Sv/h}$  を大きく下回る測定値で推移していることなどから、令和 2 年度をもって終了しました。

### Ⅲ 教育費のあらまし

#### 1 令和5年度教育費決算額

目黒区教育委員会が令和5年度に支出した区一般会計の決算額は、172億2,036万9千円です。教育費を前年度と比較した場合、24億6,641万5千円（12.5%）の減となっています。その主な要因として学校施設整備寄付金等積立金の減があげられます。

※各図表中の金額及び割合は四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

図1 教育費の区一般会計決算額に占める割合

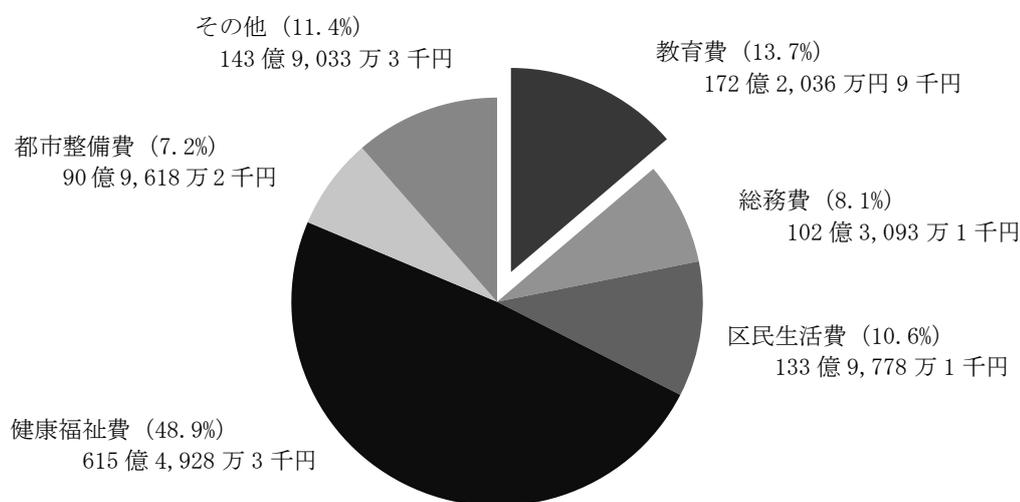


図2 教育費費目別割合

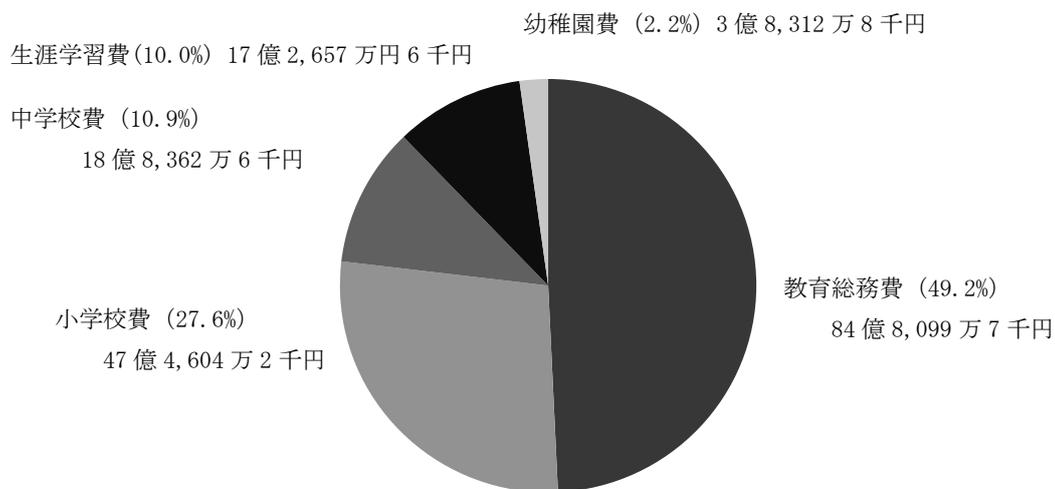


図3 区民一人当たりの教育費



## 2 保護者が負担する学校教育費

東京都教育委員会では、都内の公立学校において保護者が学校に納入する費用を把握するために、隔年で調査（令和3年度分までは毎年）を行っています。

令和5年度に、目黒区の保護者が負担した教育費（受益者負担）の額及び内訳は次のとおりです。

### (1) 1人当たりの負担額（児童・生徒数は令和5年5月1日）

- ア 小学校 44,864円 児童数 10,167人
- イ 中学校 82,130円 生徒数 2,830人

### (2) 負担額の内訳

	学校給食費	教材費	儀式・学校行事	社会科見学・遠足等	校外宿泊	修学旅行	その他	1人当たりの負担額
小学校負担額 (円)	24,762	11,243	437	3,595	2,001	/	2,826	44,864
	55.2%	25.1%	1.0%	8.0%	4.5%		6.3%	100.0%
中学校負担額 (円)	29,763	15,626	729	2,781	7,786	19,939	5,506	82,130
	36.2%	19.0%	0.9%	3.4%	9.5%	24.3%	6.7%	100.0%

※1人当たりの負担額は区内小中学校の合計額を項目ごとに全体の児童・生徒数で割った数です。

※「校外宿泊」は「自然宿泊体験教室」「部活動合宿」「独自宿泊事業」です。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施していない事業があります。

※項目ごとに四捨五入しているため、合計が計算結果と合わない場合があります。

※学校給食費は令和5年10月から保護者負担ゼロの取組を実施しているため、9月分までの負担額です。

## IV めぐる学校教育プラン

(平成15年2月25日策定、平成16年3月16日一部改定、平成18年2月7日一部改定、平成19年3月13日改定、平成20年3月25日一部改訂、平成22年3月16日改定、平成25年3月26日改定、平成29年3月14日改定、令和4年3月15日改定)

### 1 基本的考え方

変化の激しい21世紀においては、一人ひとりが個人として自立し、社会の一員として、それぞれの分野でたくましく生き抜いていく力を身に付けることが求められています。

そのための基礎となる力を培う学校教育では、児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をはぐくみ、知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性を養うことが重要な役割です。

めぐる学校教育プランでは、「目指す子ども像」を<21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐるの子ども>とし、これを実現していくため「目指す学校像」として<魅力と活力にあふれ、信頼される学校>を掲げました。この2つの大きな目標を実現するため、7つの取組の方向と、32の推進施策、62の推進事業、121の実施策の推進により、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」づくりを基盤に、「21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐるの子ども」をはぐくんでいきます。

### 2 位置付け

めぐる学校教育プランは、目黒区教育委員会の教育目標・基本方針を学校教育において実現するための計画です。また、区の長期計画の補助計画として位置付けられており、「目黒区教育に関する大綱」や他の関連計画等との整合を図ります。

### 3 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5か年に実施する教育施策とし、国の制度改正や著しい状況の変化があった場合は、必要に応じて見直しを行います。

### 4 進め方

施策は、①単年度で実現を図るもの ②複数年度にわたるもの ③全校一斉に実施するもの ④各学校の教育計画に基づき選択して実施していくものなど様々です。毎年度、各学校の希望や実施状況等を判断し、予算編成等を通じて具体化を図っていきます。

また、本計画の実効性を高めるため、定期的に各施策の取組状況を検証し、必要に応じて施策の改善・見直しを行います。

## 5 取組の方向

「目指す子ども像」・「目指す学校像」という目標に向け、7つの取組の方向に基づき教育施策を推進します。

### 取組の方向① 確かな学力の向上

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、一人ひとりの児童・生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要です。

児童・生徒が個性と能力を伸ばし、社会を生き抜いていくための基盤として、児童・生徒一人ひとりの「確かな学力」を育成します。

#### 推進施策

- ①-1 授業改善の推進
- ①-2 個に応じた学習指導の充実
- ①-3 ICTを活用した教育の充実
- ①-4 外国語教育の充実
- ①-5 理科教育の充実
- ①-6 今日的課題に対応した教育の推進

### 取組の方向② 豊かな心の育成

豊かな心は、自他の違いを認め、他人を思いやることや自然を愛し、美しいものに感動する体験などからはぐくまれます。人権教育・道徳教育や自然体験、国際交流や伝統・文化体験等、体験的な学習を充実させ、子どもたちの豊かな心を育成します。

#### 推進施策

- ②-1 人権教育・道徳教育の推進
- ②-2 国際社会に対応する教育の推進
- ②-3 体験学習の充実
- ②-4 連合行事等の充実

### 取組の方向③ 健やかな体の育成

体力は、諸活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わる「生きる力」を支える重要な要素です。

子どもたちが生涯にわたって運動に親しむ態度や意欲・関心を高める取組を推進し、子どもたちの健やかな体の育成を図ります。また、子どもたちの健全な食生活の実践に向けて食育を推進します。

#### 推進施策

- ③-1 体力向上に向けた取組の推進
- ③-2 健康教育の推進
- ③-3 食育の推進

### 取組の方向④ 新しい時代の教育を支える環境整備

確かな学力の定着や豊かな人間性の育成、健康の増進と体力の向上など、学校教育の様々な課題を解決していくために、校・園長のリーダーシップの下、全教職員が一体となって、新しい時代の学校教育を支える環境整備に組織的に取り組みます。

## 推進施策

- ④-1 いじめ防止等の対応の充実
- ④-2 不登校等への対応の充実
- ④-3 特別支援教育の推進
- ④-4 教室のICT環境整備と校務の情報化の推進
- ④-5 学校図書館機能の充実と子ども読書活動の推進
- ④-6 就学前施設・小学校・中学校間の連携・交流の強化

### 取組の方向⑤ 魅力ある学校施設への更新

児童・生徒が快適かつ安全・安心に学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設を計画的に更新するとともに、既存施設についても利便性の向上や時代の変化への対応のための機能改善を進めていきます。充実した教育環境の整備を通じて、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を図ります。

## 推進施策

- ⑤-1 学校施設の計画的な更新
- ⑤-2 学習・生活環境の改善
- ⑤-3 中学校の適正規模の確保と適正配置の推進

### 取組の方向⑥ 学校内外の連携・分担による学校マネジメントの実現

学校を支える校内の人材と保護者、地域住民との連携・分担により、児童・生徒の健全な成長を図ることが大切です。学校における働き方改革を推進するとともに、学校と家庭や地域が連携することにより、子どもたちの実態に応じた教育活動を展開する取組を推進します。

## 推進施策

- ⑥-1 創意工夫を生かした学校づくりの促進
- ⑥-2 学校評価の活用による教育活動と学校運営の改善・充実
- ⑥-3 教員の資質・能力の向上
- ⑥-4 「チーム学校」の機能強化
- ⑥-5 働き方改革の推進
- ⑥-6 学校・家庭・地域全体で子どもたちの成長を支える体制の整備

### 取組の方向⑦ 子どもの安全・安心の確保

自然災害、犯罪や事故、虐待等から子どもたちを守るため、防災教育や家庭・地域と連携した子どもの安全・安心を確保する取組をより一層推進します。また、「新しい生活様式」における感染症対策や熱中症対策を講じます。

## 推進施策

- ⑦-1 安全教育の推進と安全体制の確保
- ⑦-2 家庭・地域の協力による安全対策
- ⑦-3 学校・園における児童虐待の早期発見・早期対応の推進
- ⑦-4 「新しい生活様式」等における予防策の推進

# V 目黒区特別支援教育推進計画（第四次）

（令和2年3月策定）

## 1 計画の基本的考え方

目黒区においては、共生社会の実現に向けて全ての子どもが可能な限り共に学ぶことに配慮しつつ、自立と社会参加に向けて一人ひとりの教育的ニーズに応じた連続性のある多様な学びの場を充実していくインクルーシブ教育システムを構築することを基本的な考え方としています。これまで目黒区で取り組んできた特別支援教育の成果と課題、国や都の動向を踏まえ、次に示す3つの柱（取組の方向）を設定し、そのための方策を定め、具体的な取組を進めていきます。

### 取組の方向

- I 障害のある子もない子も共にいきいきと学ぶ環境の整備
- II 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
- III 保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実

## 2 計画の期間

第四次の計画は令和2年度から令和6年度までの5年間としていますが、計画期間内に目黒区の他の計画や国や都の大きな制度改正等により特別支援教育をめぐる状況が著しく変化した場合は、必要に応じて見直しを行います。

## 3 計画での主な取組（推進施策）

計画を具体的に推進していくため、7つの推進施策と25の具体的な取組を掲げ、着実に取り組んでいきます。

### 【取組の方向I】障害のある子もない子も共にいきいきと学ぶ環境の整備

#### <推進施策1>学校・園における支援体制の充実

- (1) 学校・園における校内支援体制の充実
- (2) 学校・園における相談機能・アセスメント機能の充実
- (3) 学校・園における合理的配慮の提供促進

#### <推進施策2>教室環境の整備

- (1) 教室環境のユニバーサルデザイン化の推進
- (2) 学校ICT環境の整備

#### <推進施策3>心のバリアフリーの推進

- (1) 教職員への理解啓発
- (2) 児童・生徒への理解啓発
- (3) 保護者・区民への理解啓発
- (4) 交流及び共同学習の充実
- (5) 特別支援学校に在籍する児童・生徒の副籍交流の充実

## 【取組の方向Ⅱ】一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

### ＜推進施策4＞専門性をもつ教員の育成

- (1) 特別支援教育の視点をもつ教員の育成
- (2) 効果的なOJTと校内研修体制の構築

### ＜推進施策5＞小・中学校における多様な学びの場での指導・支援の充実

- (1) 通常の学級における授業のユニバーサルデザイン化の推進
- (2) 通常の学級における特別支援教育支援員の専門性の向上
- (3) 特別支援教室における指導・支援の充実
- (4) 特別支援学級における指導・支援の充実
- (5) 大学等との連携による自立活動の指導の充実

## 【取組の方向Ⅲ】保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実

### ＜推進施策6＞早期からの連携による支援体制の充実

- (1) 区立幼稚園・こども園への特別支援補助員等の効果的な配置
- (2) 公私立の幼稚園・こども園・保育所等との連携による支援の充実
- (3) 保護者への早期からの就学情報提供と就学相談の充実
- (4) 児童発達支援センター等との連携による支援の充実

### ＜推進施策7＞卒業後までを見通した連携による支援体制の充実

- (1) 保護者と教育委員会との連携による支援の充実
- (2) 各種協議会による関係機関等との連携の強化
- (3) 学校における医療的ケアの実施に係る医療機関等との連携の強化
- (4) 特別支援学校との連携による支援の充実

## I 学校運営

### 1 児童・生徒の就学状況

学齢児童・生徒の小・中学校への就学は、学校教育法により義務教育とされており、その事務は区の教育委員会が行っています。区立の小学校は22校、中学校は平成27年度に第三・第四中学校を統合して大鳥中学校とし、9校を設置しています。就学すべき学校は、通学区域に関する規則に従って、児童・生徒の住所により指定しています。なお、児童・生徒が健康上の理由や家庭の事情等で指定校以外の学校へ就学しようとする場合には、保護者からの申し出により、教育委員会が相当と認めるときには変更することもあります。

また、教育委員会では、平成15年4月に区立中学校へ入学する新一年生から「隣接中学校希望入学制度」を、平成17年4月に区立小学校へ入学する新一年生から「隣接小学校希望入学制度」を導入しました。なお、「隣接小学校希望入学制度」については、これまでの隣接学校希望入学制度の実施結果、児童・生徒数や学級数の将来推計及び平成29年度に実施したアンケート調査等を総合的に判断し、平成31年4月入学から当面の間「休止」することとしました。

小・中学校 児童・生徒数、教員数 (各年度5月1日現在)

	小 学 校				中 学 校			
	児童数	指数	教員数	指数	生徒数	指数	教員数	指数
令和元	9,749	100.0	519	103.2	2,638	100.0	189	100.0
2	9,990	102.5	534	106.2	2,754	104.4	195	103.2
3	10,246	105.1	547	108.7	2,790	105.8	205	108.5
4	10,252	105.2	552	109.7	2,841	107.7	200	105.8
5	10,181	104.4	556	110.5	2,833	107.4	200	105.8

※児童数・生徒数は学級編制除外者を含む。

小学校 通常の学級 学校別・学年別、児童数、学級数 (令和5年5月1日現在)

小学校名	児 童 数							学 級 数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
八雲	78	64	65	73	53	62	395	3	2	2	3	2	2	14
菅刈	56	55	55	53	52	43	314	2	2	2	2	2	2	12
下目黒	87	102	77	87	84	64	501	3	3	3	3	3	2	17
碑	102	106	94	101	96	106	605	3	4	3	3	3	3	19
中目黒	77	86	89	122	66	81	521	3	3	3	4	2	2	17
油面	102	74	88	87	86	76	513	3	3	3	3	3	2	17
大岡山	124	112	128	127	124	122	737	4	4	4	4	4	4	24
烏森	51	60	75	63	61	68	378	2	2	3	2	2	2	13
向原	45	51	48	52	48	45	289	2	2	2	2	2	2	12
五本木	54	55	67	57	66	64	363	2	2	2	2	2	2	12
鷹番	79	63	78	73	52	68	413	3	2	3	3	2	2	15
田道	76	67	79	53	77	59	411	3	2	3	2	2	2	14
月光原	64	57	67	56	64	51	359	2	2	2	2	2	2	12
駒場	40	63	80	59	66	53	361	2	2	3	2	2	2	13
緑ヶ丘	34	34	45	32	36	41	222	1	1	2	1	1	2	8
原町	51	52	70	49	45	44	311	2	2	2	2	2	2	12
不動	112	139	126	122	108	96	703	4	4	4	4	3	3	22
上目黒	45	49	45	53	44	51	287	2	2	2	2	2	2	12
東根	128	101	122	123	110	127	711	4	3	4	4	3	4	22
中根	55	67	67	59	52	73	373	2	2	2	2	2	2	12
宮前	43	53	56	49	53	51	305	2	2	2	2	2	2	12
東山	176	172	175	149	174	167	1,013	6	5	5	5	5	5	31
合計	1,679	1,682	1,796	1,699	1,617	1,612	10,085	60	56	61	59	53	53	342

※児童数は学級編制除外者を含む。

中学校 通常の学級 学校別・学年別、生徒数、学級数 (令和5年5月1日現在)

中学校名	生徒数				学級数			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
第一	69	63	36	168	2	2	1	5
第七	78	62	61	201	3	2	2	7
第八	66	56	78	200	2	2	2	6
第九	52	56	54	162	2	2	2	6
第十	140	142	132	414	4	4	4	12
第十一	47	67	65	179	2	2	2	6
東山	110	119	109	338	4	3	3	10
目黒中央	215	206	196	617	6	6	5	17
大鳥	168	162	169	499	5	5	5	15
合計	945	933	900	2,778	30	28	26	84

※生徒数は学級編制除外者を含む。

隣接中学校希望入学制度実施結果

(令和6年4月7日現在)

学校名	受入人数	入				出				差引	入学者数
		申込者数	辞退等	国都私立進学者	最終人数	申込者数	辞退等	国都私立進学者	最終人数		
第一中学校	35	8	2	0	6	10	1	8	1	5	56
第七中学校	35	27	3	7	17	61	9	33	19	△2	92
第八中学校	35	48	11	21	16	17	3	7	7	9	74
第九中学校	35	9	1	3	5	31	6	11	14	△9	47
第十中学校	35	24	2	13	9	10	1	3	6	3	141
第十一中学校	35	9	1	3	5	30	4	14	12	△7	31
東山中学校	35	29	3	19	7	19	5	4	10	△3	130
目黒中央中学校	【注】	68	21	31	16	48	9	22	17	△1	147
大鳥中学校	25	32	4	18	10	28	10	13	5	5	182
計		254	48	115	91	254	48	115	91	0	900

【注】目黒中央中学校については、2月以降、学区内の入学状況等を踏まえて可能な範囲で受け入れを行うこととし、申込段階では概ね5～15人程度の受入人数としていました。

※目黒中央中学校は、国・都・私立中入学者による辞退者を考慮しても定員を超えることが予想されたため、抽選を実施しました。

※「辞退等」の人数には、「希望校の調整区域に居住している方」及び「令和6年度に兄又は姉が希望校に通学している方」を含みます。

\*対象者数 1,968人<令和6年4月に1年生になる小学校6年生の令和5年9月27日現在の人数(国・私立小学校等への通学者を含む。)及び転入予定者で申請があった者の人数>

\*申込者数 254人<申込率 12.91%(申込者数/対象者数)>

\*最終人数 91人<申込率 4.62%(最終人数/対象者数)>

特別支援学級 学級別・学年別、児童・生徒数、学級数

(令和5年5月1日現在)

設置校名	障害種別	児童数							学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
八雲小(3くみ)	知的障害	4	5	6	4	4	5	28	4
菅刈小(あすなろ学級)	知的障害	4	3	5	4	5	6	27	4
碑小(4くみ)	知的障害	3	3	5	1	5	0	17	3
鷹番小(つくし学級)	知的障害	2	1	2	6	2	0	13	2
油面小(わかたけ学級)	肢体不自由	1	0	0	1	1	1	4	1
五本木小(4組)	自閉症・情緒障害	0	0	5	0	0	2	7	1
東根小 (きこえとことばの教室)	難聴※	2	0	3	0	0	4	9	1
	言語障害※	4	12	3	3	5	5	32	2

※は通級指導学級

(令和5年5月1日現在)

設置校名	障害種別	生徒数				学級数
		1年	2年	3年	計	
第八中(E組)	知的障害	8	4	4	16	2
大島中(6組)	知的障害	9	7	5	21	3
大島中(7組わかたけ)	肢体不自由	0	0	1	1	1
目黒中央中(しいの木学級)	自閉症・情緒障害	6	5	6	17	2

#### 小学校 拠点校特別支援教室別学年別利用児童数

(令和5年5月1日現在)

拠点校名	巡回する小学校	児童数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
中目黒小(すずかけ)	下目黒小、田道小	2	7	14	19	12	3	57
五本木小(ゆりのき)	鷹番小、上目黒小、 烏森小	1	5	10	11	12	14	53
原町小(かしのき)	碑小、向原小	3	4	14	9	12	8	50
不動小(ゆずりは)	油面小、月光原小	6	11	11	10	7	11	56
中根小(さくら)	大岡山小、緑ヶ丘小	5	7	3	12	11	10	48
宮前小(はなみずき)	八雲小、東根小	6	2	4	4	4	4	24
東山小(いちょう)	菅刈小、駒場小	5	12	11	15	11	15	69

※小学校の特別支援教室拠点校では、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害又はその傾向がある児童に対して巡回指導を行っています。

#### 中学校 拠点校特別支援教室別学年別利用生徒数

(令和5年5月1日現在)

拠点校名	巡回する中学校	生徒数			
		1年	2年	3年	計
第七中(つばさ)	第一中、第八中、第九中、 第十中、第十一中、東山中、 目黒中央中、大島中	31	29	26	86

※中学校の特別支援教室拠点校では、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害又はその傾向がある生徒に対して巡回指導を行っています。

#### 日本語国際学級

設置校名	児童数	学級数
東根小学校	22	2

## 2 障害のある児童・生徒の就学

### (1) 障害のある児童・生徒の就学・転学相談

障害のある児童・生徒の就学・転学については、その障害の種別と程度に応じ、学校教育法の定めによる学校や学級に就学することができます。東京都では特別支援学校（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱）を、区では小・中学校に知的障害学級、肢体不自由学級、自閉症・情緒障害学級、特別支援教室を設置し、さらに、小学校には、難聴・言語障害通級指導学級を設置し、障害の状態等に応じた指導・支援を行っています。なお、小学校の自閉症・情緒障害学級（五本木小学校4組）は、令和3年度に設置しました。これらの学級への就学等については、教育委員会事務局で就学相談等を行い、校長及び専門医等で構成する就学支援委員会等を開き、保護者と相談のうえ、学校、学級を決めています。就学相談の日程等は、区公式ウェブサイト等で毎年度お知らせしています。

#### 就・転学等相談結果

(令和6年3月31日現在)

	通常の学級	特別支援学級・特別支援教室	特別支援学校	就学猶予免除	その他	計
小学校	30 (1)	204 (137)	23 (1)	0	19 (1)	276 (140)
中学校	2 (0)	30 (14)	2 (0)	0	13 (3)	47 (17)
合計	32 (1)	234 (151)	25 (1)	0	32 (4)	323 (157)

※「通常の学級」は特別支援教室を利用しなかった人数を含む。

( ) 内の人数は転学等の内数

「その他」は区外転出、私立学校への入学、就学相談取下げの人数

### (2) 特別な支援を必要とする児童・生徒への支援

#### ア 定期巡回訪問・要請訪問

特別支援教育主任専門員（教育）と特別支援教育相談員（心理）が区立小・中学校を訪問し、通常の学級に在籍し、障害があるなど特別な支援を必要とする児童・生徒の実態を把握し、個に応じた学習方法や生活習慣が身に付くように学校に対して指導・助言を行っています。

定期巡回訪問は、前期・後期に各1回、区立小・中学校を巡回し、要請訪問は、学校・園からの要請に基づいて必要に応じて訪問しています。平成23年度からは区立幼稚園、こども園へも訪問を実施しています。

#### 定期巡回訪問 (令和6年3月31日現在)

校種	校・園数	対象人数
幼稚園・こども園	6	12
小学校	44	1,459
中学校	18	330
計	68	1,801

#### 要請訪問 (令和6年3月31日現在)

校種	校・園数	対象人数
幼稚園・こども園	0	0
小学校	109	336
中学校	21	53
計	130	389

#### イ 特別支援教育に関する相談

障害があるなど特別な支援を必要とする児童・生徒の教育上の課題等について、特別支援教育主任専門員（教育）、特別支援教育相談員（心理）が来庁・電話相談に応じています。

#### ウ 特別支援教育支援員の配置

小・中学校31校（全校）の通常の学級に在籍し、生活面及び学習面での指導に特別な配慮を要する児童・生徒970名に対し、305名の特別支援教育支援員を98,711時間配置し、支援の充実を図りました。特別支援教育支援員の支援方法等の向上を図るため、年2回の講義動画による研修を実施しました。

### (3) 小学校就学前の幼児に関する相談

#### ア 就学相談員による就学前施設の訪問

就学相談員が、すすくのびのび園を訪問して、小学校への就学を予定している特別な支援が必要な幼児と保護者に対する巡回相談を行いました（53名に対して、17回訪問）。

#### イ 小学校就学前ガイダンスの実施

区立幼稚園・こども園、私立幼稚園、区立保育園、私立保育園、認証保育所の教職員・保護者を対象とした、小学校就学前ガイダンスを行いました（55園の幼児102名に関して、延べ70回訪問）。

## 3 幼稚園・こども園

区立幼稚園は1園で2年保育を、区立こども園は2園で3年保育を行っています。入園は目黒区民であることを要件とし、11月頃に申し込みを受け付けます。募集の詳細については、「めぐろ区報」やウェブサイト、ポスター等でお知らせします。

なお、みどりがおか幼稚園は平成25年4月に、げっこうはら幼稚園は平成26年4月に、認定こども園に移行しました。

園児数・教員数（各年度5月1日現在） 園別・歳児別園児数（令和5年5月1日現在）

	園児数	教員数
平成 27	247	16
28	245	15
29	243	15
30	244	17
令和 元	239	17
2	207	17
3	192	17
4	189	18
5	174	17

幼稚園名	4歳児	5歳児	計	クラス数
ひがしやま	14	25	39	2

こども園名	区分	3歳児	4歳児	5歳児	計
げっこうはら	短時間	15	12	16	43
	中時間	2	4	5	11
	長時間	3	3	4	10
	計	20	19	25	64
みどりがおか	短時間	15	16	15	46
	中時間	2	4	6	12
	長時間	3	5	5	13
	計	20	25	26	71
合 計		40	44	51	135

※クラス数は、3歳・4歳・5歳とも各1クラス、合計6クラス

## 4 就学援助費・奨励費等給付状況

### (1) 就学援助費

就学援助費は、経済的な理由により就学することが困難な学齢児童・生徒について、就学に必要な援助を行うことを目的とする制度です。この制度の対象は、生活保護法適用世帯及び児童福祉法適用世帯(要保護世帯)と、世帯の所得が生活保護法に定める生活費の需要額に対して1.2倍以下の世帯(準要保護世帯)で、保護者が教育委員会に申請し、該当世帯として認定されると、学用品費や学校給食費等の給付を受けることができます。

### 給付人数1人当たりの給付額

内 訳	費 目	学校	学用品	通学用品	入学	校外	修学旅行	医療	校外	卒業記念	体育実技	部活動
		給食費	費	費	支度金費	行事費	費	費	宿泊費	アルバム費	用具費	費
		準	準	準	準	準	生・準	生・準	生・児・準	生・児・準	準	生・児・準
小学校	受給者数(人)	504	530	436	95	530	89	0	172	89		
	給付額(円)	23,994	16,034	1,335	56,663	1,636	1,348	0	7,326	15,966		
	合計額(千円)	12,093	8,498	1,335	5,383	867	120	0	1,260	1,421		
中学校	受給者数(人)	283	291	179	111	291	88	0	133	92	13	233
	給付額(円)	28,088	31,742	3,877	63,000	3,021	73,557	0	18,564	9,359	4,358	1,232
	合計額(千円)	7,949	9,237	694	6,993	879	6,473	0	2,469	861	59	287

※表中「生」は生活保護法適用世帯、「児」は児童福祉法適用世帯、「準」は準要保護世帯

※校外宿泊費は「自然宿泊体験教室」、「部活動合宿」、「独自宿泊事業」、「特別支援学級校外宿泊」

※学校給食費は、実費負担分を給付するため、保護者負担ゼロの場合は給付対象外（区立小・中学校は令和5年10月から保護者負担ゼロのため、9月分まで給付）

### 受給者受給者数、受給率、給付総額、1人当たりの標準受給額

年度	区分	受給者数(受給率)		給付総額(千円)	1人当たりの標準受給額 ( )内は令和元年度を100とした指数
		要保護 (%)	準要保護 (%)		
元	小学校	7 (0.07)	513 (5.26)	46,950	90,288 (100)
	中学校	26 (0.99)	299 (11.33)	37,878	116,548 (100)
2	小学校	6 (0.06)	499 (4.99)	55,979	110,850 (123)
	中学校	20 (0.73)	309 (11.22)	38,373	116,635 (100)
3	小学校	7 (0.07)	538 (5.25)	44,396	81,461 (90)
	中学校	18 (0.65)	328 (11.76)	47,187	136,379 (117)
4	小学校	7 (0.07)	517 (5.04)	43,697	83,391 (92)
	中学校	9 (0.32)	313 (11.02)	46,848	145,491 (125)
5	小学校	9 (0.09)	530 (5.21)	30,977	57,471 (64)
	中学校	11 (0.39)	291 (10.28)	35,901	118,877 (102)

※令和2年度までは決算ベース、令和3年度以降は受給者の入学年度ベースで算出

### (2) 就学奨励費

就学奨励費は、特別支援教育の普及奨励を図ることを目的とする制度です。この就学奨励事業の対象は、特別支援学級等児童・生徒の中で、世帯の所得が生活保護法に定める生活費の需要額の2.5倍未満の世帯です(通学費等は所得制限なし)。保護者が教育委員会に申請し、認定されると、通学費や学用品費、学校給食費等の給付を受けることができます。

## 給付状況

費目 内訳		学用品費等	修学旅行費	学校給食費	通学費等	校外行事・宿泊費	職場体験交通費	体育実技用具費	給付額総額(千円)
小学校	受給者数(人)	16	0	16	20	16			1,126
	給付額(千円)	340	0	389	336	61			
中学校	受給者数(人)	10	2	10	16	10	0	0	1,859
	給付額(千円)	504	130	288	856	81	0	0	

※学用品費等には通学用品費及び新入学児童・生徒学用品費が、通学費等には通級交通費が含まれます。  
 ※学校給食費は、実費負担分を給付するため、保護者負担ゼロの場合は給付対象外（区立小・中学校は令和5年10月から保護者負担ゼロのため、9月分まで給付）

## 5 学校運営費の執行

区立小・中学校の運営上必要とされる経費の大部分は、学校の児童・生徒数や学級数に応じて各学校に配付され、学校で直接、教材・教具の購入、修繕、印刷等の経費として執行されます。このほかに、全校に関わるもので一括処理した方がよいものや、年次計画を立てて計画的に整備するものについては、教育委員会事務局で執行しています。内容としては、児童・生徒の机、椅子等の教室の校具や光熱水費、電話料金等です。

## 6 学校評価

子ども・保護者・地域から信頼される学校を目指し、平成15年度から「保護者による学校評価」、平成16年度から「児童・生徒による学校評価」及び「地域の方による学校評価」、平成18年度からは、「教職員による学校評価」を実施しています。これらの保護者、児童・生徒、地域の方及び教職員による学校評価を「四者による学校評価アンケート」とし、自己評価のための資料に位置付け、学校評価の充実を図っています。また、平成20年度からは、各学校において「学校評価委員会」を設置し、学校の自己評価の妥当性や客観性を高めるとともに、次年度の教育課程の編成に生かしています。

令和5年度は、学校・園が結果を即座に集計・分析し、改善に向けた検討を進めることができるよう、アンケートのデジタル化について整理し、全校・園でオンラインアンケートを実施しました。

## 7 学校運営協議会

区では、平成20年度から平成23年度まで鷹番小学校、田道小学校を学校運営協議会のモデル実施校として2期4年間指定しました。

両校の活動内容について、平成24年度にそれまで学校運営協議会に関わった構成員、学校長、教育委員会事務局による評価に加えて外部の有識者による第三者評価を行い、学校運営協議会の成果と課題を検証し、その結果を報告会や区のウェブサイトで公表を行いました。この間、今後の方向性の検討を行っていたことから、新たな協議会の設置はしていません。

令和4年度から常設のめぐる学校教育プラン推進委員会の小委員会として小・中学校の校長及び幼稚園・こども園の園長を構成員に含めた検討会を設置して学校運営協議会の設置に向けた検討を開始しました。令和5年度は、運営体制の骨格など学校運営協議会の基本的方向性や、先行実施校から順次設置するなどのスケジュールを決定しました。

(事業開始：平成20年度)

## 8 学校評議員

地域に開かれた学校づくりを推進し、学校及び校長への支援体制をつくるため、平成 13 年度から学校評議員制度が設けられました。学校評議員は、校長の求めに応じ、学校の教育目標、学校運営や教育活動に関する事、地域との連携の進め方などについて意見を述べ、校長はその意見を参考に学校運営を行い、地域に根差した創意工夫ある学校づくりを進めています。

また、学校評議員は、学校評価における学校の自己評価の妥当性・客観性を高めるため、「目黒区小・中学校学校評価委員会」の構成員として、意見を述べる等の役割を担っています。

平成 14 年度には全ての小・中学校、幼稚園に学校評議員が置かれ、令和 5 年度は、小学校 102 名、中学校 43 名、幼稚園・こども園 15 名の学校評議員が教育委員会から委嘱されました。

## 9 不審者情報などの発信

学校生活や通学途中等における子どもの安全を守る一つ的手段として、保護者連絡システムを活用して、不審者情報などの防犯情報や熱中症警戒アラートのお知らせなどを、区立小・中学校、幼稚園・こども園の保護者等に配信しました。

配信状況（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）（単位：件）

	不審者情報	お知らせ	その他事件・事故	計
教育委員会からの配信	18	163	0	181

## 10 AED（自動体外式除細動器）の設置

学校では児童・生徒の活動のほか、学校開放で多くの区民がスポーツ活動などを行っています。こうした活動中、心停止（心室細動）などの緊急事態発生に対応するため、平成 20 年度に全区立小・中学校等へ AED を設置しました。

令和 5 年度は、前年度に引き続き、AED が有効に活用できるよう、教職員及び中学生を対象に普通救命講習会を実施しました。

設置施設：小学校（22 校）、中学校（9 校）、ひがしやま幼稚園、めぐろ学校サポートセンター、興津自然学園、八ヶ岳林間学園

全ての AED に小児用電極パッド又は小児用キー、救急キット、蘇生用マウスピース、毛布を付属しています。

（事業開始：平成 20 年度）

## Ⅱ 保健・給食

### 1 学校保健

学校保健を推進し、児童・生徒の健康の保持増進を図ることは、心身ともに健康な国民の育成を期して行う教育の目的達成に大きな役割を果たし、あらゆる教育活動の基礎を培うものです。

近年、社会環境や生活様式の変化は、児童・生徒の健康にも多様な影響を与えています。肥満やアレルギー疾患、生活習慣病の若年齢化、心身症等の疾病が注目されていることは、その現れと言えます。

目黒区では、児童・生徒の健康保持に努め、健康診断の実施とともに健康教育を推進することで、さらに積極的な健康づくりに取り組んでいます。

#### (1) 健康診断

児童・生徒の健康の保持増進を図るためには、健康状態を正しく把握して、適切な指導・管理を行うことが必要です。このため、小・中学校では定期的に健康診断を実施しています。

平成 28 年度から「四肢の状態」が健康診断の必須項目に加わったため、四肢の状態を検査する「運動器検診」を実施しています。

学校保健統計調査（令和 5 年度定期健康診断疾病異常集計表）

項目		区分	小学校						中学校					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	
在籍者数	男	903	925	947	885	867	896	5,423	560	540	476	1,576		
	女	790	769	872	830	767	730	4,758	408	409	440	1,257		
受診者数	男	903	916	942	884	861	878	5,384	498	470	424	1,392		
	女	789	762	869	818	760	720	4,718	400	395	402	1,197		
栄養状態	① 栄養不良	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	② 肥満傾向	男	0	3	3	6	11	11	34	0	0	0		
		女	2	2	2	8	6	4	24	0	0	0		
脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数	男	7	13	5	5	9	10	49	4	3	0	7	
		女	8	6	5	22	7	2	50	1	4	2	7	
	① 脊柱側弯症・ 脊柱異常	男	7	12	5	5	7	8	44	0	3	0	3	
		女	8	6	4	23	7	2	50	1	3	0	4	
	② 胸郭異常	男	0	1	0	0	1	1	3	2	2	0	4	
		女	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	③ 四肢異常	男	0	0	0	0	2	2	4	2	1	0	3	
		女	1	0	0	1	1	0	3	0	1	2	3	
	視力	①裸眼視力測定者 (②～⑤の合計)	男	892	909	907	846	793	816	5,163	480	415	358	1,253
			女	775	748	820	756	684	639	4,422	317	294	298	909
② 1.0 以上		男	677	592	594	474	410	377	3,124	203	174	129	506	
		女	554	483	470	350	294	272	2,423	127	120	102	349	
③ 1.0 未満 0.7 以上		男	131	127	113	104	100	75	650	86	57	53	196	
		女	117	108	110	109	90	78	612	56	29	44	129	
④ 0.7 未満 0.3 以上		男	69	133	113	160	139	184	798	93	89	89	271	
		女	87	110	134	159	136	115	741	62	63	67	192	
⑤ 0.3 未満		男	15	57	87	108	144	180	591	98	95	87	280	
		女	17	47	106	138	164	174	646	72	82	85	239	
⑥ 裸眼視力測定者のうち 眼鏡・コンタクトレンズ装用者		男	15	37	54	76	116	156	454	67	60	65	192	
		女	24	34	63	96	146	175	538	58	81	78	217	
⑦ 眼鏡・コンタクトレンズ装用 のため矯正視力のみ測定者		男	7	13	36	37	66	69	228	72	97	100	269	
		女	11	18	50	61	78	83	301	84	102	109	295	

項目		区分	小学校							中学校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
眼疾患	疾病・異常者数	男	102	105	129	102	124	144	706	33	29	23	85
		女	73	66	101	76	97	110	523	22	32	17	71
	① 感染性眼疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② アレルギー性眼疾患	男	87	91	116	92	107	134	627	16	13	14	43
		女	59	58	86	67	93	100	463	13	15	9	37
③ その他の眼疾患	男	19	27	18	19	26	15	124	19	19	11	49	
	女	17	11	21	17	11	13	90	13	18	9	40	
聴力	難聴	男	10	3	7	—	6	—	26	1	—	0	1
		女	11	4	5	—	10	—	30	2	—	1	3
耳鼻咽喉疾患	① 耳疾患	男	145	116	108	94	94	93	650	54	57	47	158
		女	131	113	98	97	82	51	572	44	42	25	111
	② 鼻・副鼻腔疾患	男	227	224	226	216	203	248	1,344	84	76	78	238
		女	131	114	168	152	142	163	870	51	43	48	142
	ア アレルギー性鼻疾患	男	172	175	186	172	170	213	1,088	67	58	53	178
		女	88	92	147	126	125	143	721	44	37	40	121
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	男	57	51	43	49	36	36	272	21	18	25	64
		女	44	22	21	27	18	20	152	7	7	9	23
③ 口腔咽喉頭疾患	男	5	1	3	0	1	2	12	4	7	4	15	
	女	7	2	3	0	0	0	12	3	2	5	10	
皮膚疾患	① 感染性皮膚疾患	男	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	② アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎)	男	52	57	50	47	67	67	340	10	10	11	31
		女	40	43	40	48	45	52	268	9	5	11	25
	③ アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎以外)	男	9	11	9	13	8	8	58	3	0	3	6
		女	7	5	5	10	10	10	47	3	1	1	5
④ その他の皮膚疾患	男	5	3	1	2	4	2	17	0	0	0	0	
	女	2	4	2	1	2	6	17	0	0	0	0	
結核	① 結核患者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 精密検査対象者	男	7	1	1	1	2	0	12	1	1	0	2
		女	7	0	3	1	1	2	14	0	0	0	0
心臓	① 心臓疾患	男	26	2	2	1	0	2	33	6	5	3	14
		女	14	2	6	1	3	1	27	2	3	1	6
	② 心電図異常	男	22	—	—	—	—	—	22	15	—	—	15
		女	14	—	—	—	—	—	14	6	—	—	6
検尿	① 尿蛋白検出	男	2	0	2	3	1	5	13	5	8	7	20
		女	1	5	2	10	4	8	30	4	4	5	13
	② 尿糖検出	男	1	0	0	2	0	0	3	0	0	1	1
		女	0	1	0	1	1	0	3	0	0	0	0
その他	① 気管支喘息	男	58	29	36	28	35	41	227	7	7	8	22
		女	31	25	28	31	28	24	167	3	5	12	20
	② 腎臓疾患	男	0	0	1	1	0	3	5	1	0	0	1
		女	1	1	1	1	1	1	6	0	0	2	2
	③ 言語障害	男	5	10	0	4	5	4	28	0	0	0	0
		女	4	1	0	2	1	0	8	0	0	0	0
	④ その他の疾病・異常	男	6	4	1	8	4	2	25	2	4	0	6
		女	5	2	4	5	4	2	22	0	1	1	2

項目		区分		小学校						中学校						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計		
歯科	① 歯科受診者数		男	892	906	935	875	842	866	5,316	504	455	412	1,371		
			女	782	754	861	810	749	712	4,668	401	383	402	1,186		
	② う歯・要観察歯	乳歯又は永久歯	ア 処置完了者		男	73	113	147	162	152	122	769	65	71	53	189
			イ 未処置歯のある者		男	70	87	102	131	103	66	559	47	29	26	102
			ウ 要観察歯のある者		男	52	43	40	45	52	79	311	54	69	42	165
			エ 永久歯のう歯経験者		男	9	34	45	67	78	105	338	86	90	76	252
					女	22	30	50	55	90	87	334	75	77	110	262
					女	66	94	146	166	137	98	707	66	61	74	201
	③ 歯肉の状態		ア 歯周疾患		男	3	8	21	10	14	10	66	5	2	1	8
			イ 歯周疾患要観察者		男	50	72	95	113	116	132	578	80	83	79	242
					女	38	62	85	85	88	80	438	40	48	52	140
	④ 歯列・咬合の異常				男	26	33	43	48	24	34	208	27	15	11	53
					女	19	27	31	36	16	27	156	13	9	7	29
	⑤ 顎関節の異常				男	0	0	1	1	1	2	5	0	0	1	1
					女	0	0	1	0	1	0	2	3	1	2	6
	⑥ 歯垢の状態				男	7	19	21	26	18	22	113	39	28	11	78
					女	2	3	8	9	8	8	38	23	14	15	52
	⑦ その他の歯・口腔の疾病・異常				男	3	1	2	1	1	1	9	5	0	1	6
					女	5	1	2	3	2	3	16	1	0	1	2
	⑧ 永久歯の内容		ア 未処置歯数(D)		男	—	—	—	—	—	62	62	59	—	—	59
女					—	—	—	—	—	35	35	56	—	—	56	
イ う歯による喪失歯数(M)			男	—	—	—	—	—	1	1	10	—	—	10		
			女	—	—	—	—	—	2	2	13	—	—	13		
ウ 処置歯数(F)			男	—	—	—	—	—	165	165	157	—	—	157		
			女	—	—	—	—	—	115	115	143	—	—	143		

## (2) 児童・生徒の体位

座高の計測は健康診断の必須項目ではなくなったため、平成28年度から廃止しました。

### 児童・生徒の平均体位の比較

(令和5年7月)

学校	学年	性別	身長 (cm)			体重 (kg)		
			区	都	国	区	都	国
小学校	1年	男	117.9	117.3	117.0	21.5	21.7	21.8
		女	116.5	116.3	116.0	21.1	21.3	21.3
	2年	男	123.7	123.4	122.9	24.3	24.6	24.6
		女	122.5	122.6	122.0	23.6	24.1	24.0
	3年	男	129.0	128.7	128.5	27.3	28.0	28.0
		女	128.1	129.0	128.1	26.5	27.3	27.3
	4年	男	134.8	134.7	133.9	31.4	32.0	31.5
		女	134.6	135.1	134.5	30.4	30.8	31.1
	5年	男	140.4	140.6	139.7	35.3	36.4	35.7
		女	141.5	142.1	141.4	34.5	35.4	35.5
	6年	男	147.4	146.7	146.1	39.8	40.2	40.0
		女	147.9	148.7	147.9	39.5	40.7	40.5

学校	学年	性別	身長 (cm)			体重 (kg)		
			区	都	国	区	都	国
中学校	1年	男	154.4	154.6	154.0	45.4	45.8	45.7
		女	153.3	152.8	152.2	44.2	44.6	44.5
	2年	男	161.8	161.6	160.9	50.8	51.2	50.6
		女	155.5	155.6	154.9	47.0	47.8	47.7
	3年	男	166.9	166.1	165.8	55.3	55.1	55.0
		女	157.6	156.9	156.5	49.3	49.7	49.9

※国・都の数値は、作成時点で令和5年度の数値が公表されなかったため、令和4年度の数値を記載しています。

### (3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校、幼稚園及びこども園の管理下で発生した災害（事故）について、「独立行政法人日本スポーツ振興センター」がその保護者に対して一定の基準に基づき医療費等の給付を行うことにより、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする共済制度が設けられています。本区では、全児童・生徒並びに幼児が加入し、加入に要する共済掛金は全額公費負担しています。

#### 学校管理下における災害発生件数及び支給額

	幼稚園・こども園	小学校	中学校	合計
加入者数	174	10,167	2,830	13,171
発生件数	2	335	109	446
支給額(円)	22,556	3,800,324	2,227,155	6,050,035

#### 災害発生の状況

区分	幼稚園・こども園		小学校		中学校		
	件数	%	件数	%	件数	%	
災害発生状況	各教科等	-	-	128	38.1	46	42.2
	特別教育活動	-	-	27	8.1	2	1.8
	学校行事	-	-	8	2.4	13	11.9
	課外指導	-	-	2	0.6	32	29.4
	休憩時間	-	-	154	46.0	16	14.7
	通学中	-	-	16	4.8	0	0.0
	保育中	2	100.0	-	-	-	-
	通園中等	0	0.0	-	-	-	-
計	2	100.0	335	100.0	109	100.0	

#### けが等の種類

区分	幼稚園・こども園		小学校		中学校		
	件数	%	件数	%	件数	%	
けがの種類	骨折	0	0.0	89	26.4	46	42.2
	捻挫	0	0.0	68	20.3	13	11.9
	脱臼	0	0.0	13	3.9	4	3.7
	挫傷・打撲	0	0.0	94	28.1	26	23.9
	靭帯損傷・断裂	0	0.0	16	4.8	6	5.5
	挫創	1	50.0	18	5.4	1	0.9
	切創・刺創	0	0.0	8	2.4	1	0.9
	裂創	1	50.0	2	0.6	0	0.0
	擦過傷	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	歯牙破折	0	0.0	6	1.8	0	0.0
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
疾病の種類	食中毒	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	0	0.0	21	6.3	12	11.0
計	2	100.0	335	100.0	109	100.0	

#### (4) 学校環境衛生検査

学校環境衛生の基準に基づき、各小・中学校、幼稚園及びこども園において、下記の環境衛生検査を行っています。結果に基づき指導し良好な状態を保つようにしています。

- ・各小・中学校、幼稚園及びこども園による日常検査  
飲料水水質検査、水泳プールの水質検査等
- ・各小・中学校、幼稚園及びこども園薬剤師による定期検査  
水泳プールの水質等検査（使用期間中4回程度）、室内の照度・粉塵・二酸化炭素等の検査（年2回夏・冬）、ダニ又はダニアレルゲン検査（年1回夏）
- ・専門業者による定期検査  
水泳プール水総トリハロメタン検査（平成14年度から年1回）、水泳プールろ過装置処理水濁度検査（平成15年度から年1回）、ホルムアルデヒド及びトルエンの室内空気環境検査（年1回）、飲料水水質検査（年1回秋）

## 2 学校給食

学校給食は、教育活動の一環として、児童・生徒の基本的な生活習慣の形成や、社会性を身に付けさせ、豊かな人間関係の育成を図ることをねらいとして実施しています。

平成17年6月には「食」について改めて意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の念や理解を深めつつ、「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身に付けることによって、心身の健康を増進する健全な食生活を実践するため食育基本法が制定されました。

学校給食における「食」に関する指導がますます重要になる中、「学校（園）における食育指針」（令和2年3月改定）を基に、これまでの食育の取組状況を改めて確認しながら、食に関する指導や学校給食の食事内容の充実を図っていきます。

### (1) 食事内容

食事内容については、次のような点に配慮して献立作成を行いました。

- ア 1人1回当たりの学校給食摂取基準は、「目黒区児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準」に基づき行う。
- イ 学校給食摂取基準を満たし、多様な食品を組み合わせた献立にするため、「目黒区学校給食の標準食品構成」に基づき行う。
- ウ 主食の配分は20日間を1サイクルとし、米飯15回、パン3回、麺2回とする。
- エ 学校における給食指導の目標や指導方法を踏まえた献立作成を行う。
- オ 旬の食材を取り入れ、季節感のある献立作成を行う。
- カ 食文化に対する関心や理解を深めることができるよう、地場産物（都内産の農畜水産物など）を取り入れた献立、行事食、各地の郷土食等の献立を取り入れる。
- キ 手作りの味を大切にし、調理済食品や化学調味料を使用しない。
- ク 食材の安全を確保するため、不必要な食品添加物が添加された食品や鮮度、品質等の判別が困難な加工食品は使用しない。
- ケ 放射性物質への対応として、児童・生徒が安心して食べることができるよう、できる限り内部被ばくを軽減することを前提に食材を選定する。

## 学校給食摂取基準（児童・生徒1人1回当たり）

区 分	小 学 校			中学校
	低学年(6～7歳)	中学年(8～9歳)	高学年(10～11歳)	
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質(%)	学校給食摂取エネルギー全体の13～20%			
脂 質(%)	学校給食摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	1.6未満	2未満	2.4未満	2.5未満
カルシウム(mg)	330	350	380	450
鉄(mg)	2.3	2.9	3.5	4.4
ビタミンA(μgRAE)	180	200	220	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	3.8以上	4.7以上	5.6以上	6.6以上
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
亜鉛(mg)	2	2	2	3

※この摂取基準は、国が全国的な平均値を示したものを、区の基準として採用したものであるため、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態等に十分配慮し、弾力的に運用しました。

### (2) 学校給食の指導

給食指導については、「学校（園）における食育指針」に基づき、「楽しい食生活を通じて、子どもたち一人ひとりの健康な心と体を培い、豊かな人間性を養い、食を支える自然や社会に感謝する気持ちを育てる」ことを目標に、次のような内容を実施しました。

ア 栄養のバランスのとれた食事を通して、正しい食習慣を身に付けさせるとともに、生涯の健康づくりを培う観点から、他の関連する教科との連携を図りながら、望ましい食習慣や食生活について指導を行う。

#### イ 特別給食

子どもたちが伝統的な食文化に親しみ、それを継承することの大切さを理解するように日本の行事にちなんだ行事食や友好都市も含めた各地の郷土料理、国際理解を深めるための世界の料理などを取り入れる。

※ 目黒区では、特別給食に係る経費を補助しています。

#### ウ 地場産物の活用

子どもたちが身近な地域の自然・食文化・産業等に関する理解を深め、食に関する感謝の気持ちを抱くことができるように、地場産物を使用した献立を取り入れる。

#### エ 持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ教育

食品ロスの視点も含め、子どもたちに残さず食べることの大切さを指導するとともに、食品廃棄物の発生抑制や破損食器の再生利用など、循環型社会に対して理解を深める指導を行う。

### (3) 学校給食費

学校給食法では、学校給食に必要な施設・設備費や人件費等は学校設置者の負担とし、それ以外の経費は学校給食費として、保護者の負担としています。ただし、牛乳については、国による助成措置が行われました。

給食の平均実施回数は、小学校で199回、中学校で194回でした。

#### 学校標準給食費

区 分	小 学 校			中 学 校
	低学年	中学年	高学年	
1食単価	260円	283円	308円	353円

なお、物価高騰の影響を受ける保護者の経済的負担を軽減するため、区では令和5年10月から令和6年3月分までの区立小・中学校給食費の保護者負担をゼロとしています。

#### (4) 学校給食の安全

腸管出血性大腸菌O-157 やサルモネラ等の食中毒や事故を防止し、安全で衛生的な給食を実施するため、次のような対策を行いました。

- ア 調理手順や作業動線が複雑となる献立の組み合わせは避ける。
- イ 調理は加熱を原則とし、中心温度計を用い75℃1分間以上(カキ、アサリなどの二枚貝は85～90℃90秒間以上)の加熱を確認する。
- ウ 野菜については加熱処理を原則とする。トマトときゅうりは、洗浄、湯通し等を行い供食する。ただし、適切な温度管理のできる施設においては生食を可能とするが、流水で3回洗浄・消毒し、洗浄後は素手で取り扱わない。
- エ 果物については生食を可能とするが、流水で3回洗浄・消毒し、洗浄後は素手では取り扱わない。
- オ 和えものやサラダについては、適切な温度管理ができない場合は行わない。
- カ 食材の納入時には、品質、鮮度、品温、異物の混入等について確認を行う。
- キ 調理従事者に腸内細菌検査(腸管出血性大腸菌O-157を含む。)を年24回実施するとともに、「衛生管理チェックリスト-日常点検票-」により日々の衛生管理の確認を行う。
- ク 栄養教諭・栄養職員に、衛生管理に関する情報提供を行い、理解を深め、意識の向上を図る。

#### (5) 給食備品の整備

給食室の大型備品については、保守点検結果等に基づき、毎年、入替えを行っています。令和5年度は次の備品を整備しました。

備 品	小 学 校	中 学 校
回転釜	東根小学校、宮前小学校	—
スチームコンベクションオーブン	五本木小学校、鷹番小学校	第十中学校
熱風消毒保管庫・殺菌庫	八雲小学校、下目黒小学校、油面小学校、田道小学校、上目黒小学校	東山中学校、大鳥中学校
冷蔵庫等	中目黒小学校、五本木小学校、駒場小学校、宮前小学校	第七中学校、第十中学校、東山中学校、大鳥中学校
食器洗浄機	—	—
炊飯器	烏森小学校、上目黒小学校	第八中学校

#### (6) 給食調理業務委託

学校給食調理業務の効率的運営を図るため、給食調理業務を委託しています。

委託内容は、調理業務とそれに付随する配缶、運搬、食器具の洗浄等の業務です。献立の作成及び食材料の購入は各学校の栄養教諭・栄養職員が行います。

### 3 健康教育の推進

児童・生徒一人ひとりの健康課題の改善、健康の保持増進、体力の向上を図るため、学校と教育委員会が連携して取組を進めています。また、めぐろ学校サポートセンターで行っていた健康教育推進事業を平成 27 年度からは学校運営課で行い、学校健康トレーナーを所属変更したことにより事業の連携を図っています。

健康課題のある児童への対応として、学校健康トレーナーの全小学校への派遣、参加を希望する児童を対象とした「めぐろ元気あっぷ教室」の開催、教室内でのトレーナー面談、小児肥満専門医・小児科医による面談や栄養士による栄養相談を実施しました。また、幼稚園・こども園の年長クラス及び小・中学校の全児童・生徒への対応として、令和 2 年度から「めぐろ ここカラダシート」を配布しました。

さらに、令和元年度に改定した「学校（園）における食育指針」に基づき、食育を推進したほか、平成 28 年 3 月に発行した「食育実践事例集」を通して、家庭や地域、学校が連携した食育の推進に努めました。

#### (1) 学校健康トレーナーの全小学校への派遣

学校健康トレーナー（6 人）を区立全小学校へ定期的に派遣し、肥満や体力不足などの健康課題の改善に向けて運動支援や運動観察などの活動を行いました。また、教職員と連携して、相談・指導（運動プログラムや生活改善プログラムの提供等）を実施しました。

#### (2) 健康相談・栄養相談

学校健康トレーナーが、児童の健康上の課題等について相談に応じるとともに、食育推進指導員（管理栄養士）が年 4 回、児童・生徒の食生活に係る課題等について、相談に応じています。

また、小児肥満専門医や小児科医との健康相談も年 2 回ずつ実施しました。

#### 保護者との面談件数

面談	トレーナー	小児肥満専門医 小児科医	栄養士	計
件数	582	11	11	603

#### (3) めぐろ元気あっぷ教室・夏休み前特別講座・夏季水中運動教室及びワクワク特別講座の開催

めぐろ学校サポートセンター、八雲小学校、碑小学校、中目黒小学校、五本木小学校及び上目黒小学校体育館において、小学生を対象に楽しみながら運動し肥満解消や体力づくりを行う「めぐろ元気あっぷ教室」を前期・後期で延べ 132 回実施しました。また、夏季休業前に肥満・肥満傾向児童と保護者を対象に、健康講座をめぐろ学校サポートセンター研修室にて実施しました。夏季休業期間には、五本木小学校プールで「夏季水中運動教室」を延べ 4 日間実施しました。令和 4 年度から実施している親子参加型の「ワクワク特別講座」では全コースの参加児童を対象に中央体育館で 12 月 16 日（土）に実施しました。

通常、めぐろ学校サポートセンターの体育館で実施していますが、令和 5 年度 6 月まで新型コロナウイルスのワクチン接種会場となり、使用が出来なくなったため、近隣の区内小学校の協力により会場を確保し教室を実施しました。

#### めぐろ元気あっぷ教室の実施状況（延べ人数）

会場・コース		参加者	
前期	めぐろ学校サポートセンター 中目黒小学校 五本木小学校 上目黒小学校	水曜 A	72 人
		水曜 B	76 人
		土曜午前 A	80 人
		土曜午前 B	111 人
		土曜午後 C	83 人
		土曜午後 D	82 人
	八雲小学校	水曜 A	103 人
		水曜 B	130 人
	碑小学校	土曜午前 A	49 人
		土曜午前 B	143 人
		土曜午前 C	85 人

会場・コース			参加者
夏季水中 運動教室	五本木小学校プール	4日間 (7/31.8/1.3.4) 午前	123 人
ワクワク 特別講座	中央体育館	12月16日 午後	181 人 (親子合わせて)
後期	中目黒小学校 五本木小学校 上目黒小学校	水曜 A	103 人
		水曜 B	82 人
		土曜午前 A	101 人
		土曜午前 B	81 人
		土曜午後 C	94 人
		土曜午後 D	60 人
	八雲小学校	水曜 A	98 人
		水曜 B	123 人
	碑小学校	土曜午前 A	93 人
		土曜午前 B	122 人
		土曜午前 C	79 人

### Ⅲ 校舎等の環境整備

児童・生徒が充実した学校生活を送り、教職員が効果的な教育活動を行うことのできる環境づくりを目指して、学校施設の整備を図っています。

また、児童・生徒の安全・安心を確保するため、各種点検や修繕を行っています。

#### 区立小・中学校校舎保有面積構造別比較

(令和6年3月31日現在)

区分	鉄筋コンクリート造	鉄骨・ブロック	木造	計
小学校	112,942 m <sup>2</sup> (98.21%)	1,932 m <sup>2</sup> (1.68%)	131 m <sup>2</sup> (0.11%)	115,005 m <sup>2</sup>
中学校	48,954 m <sup>2</sup> (98.30%)	811 m <sup>2</sup> (1.63%)	34 m <sup>2</sup> (0.07%)	49,799 m <sup>2</sup>

※体育館の面積は含まない。

#### 1 実施事業の内容

##### (1) 校舎等整備

###### ア 学校施設の計画的な更新

学校施設更新計画に基づき、学校施設の計画的な更新を進めています。令和5年度は、向原小学校の建て替えに向けて、5月に基本設計素案についての住民説明会を3回実施し、新校舎の設計や工事の影響について意見交換を行いました。その後、6月に基本設計を策定しました。鷹番小学校については、基本構想・基本設計業務の委託候補者を公募型プロポーザル方式で選定しました。統合中学校2校については、12月に基本構想素案についての住民説明会を統合対象校で計4回実施し、新校舎に求められる機能等について意見交換を行いました。その後、2月に基本構想を策定しました。

###### イ 既存施設の機能改善

各学校の教育活動の状況などを考慮して、校舎等の整備を進めます。

##### 令和5年度の実績

取組内容 (校数)	対象校
体育館・校庭トイレの洋式化 (7校)	大岡山小学校、 上目黒小学校、 目黒中央中学校 鳥森小学校、 中根小学校、 下目黒小学校、 東山中学校、
学級数増加に伴う教室整備工事 (1校)	八雲小学校 (特別支援学級)

##### (2) ICT環境整備

区立小・中学校のICT環境には、教室等での学習指導で使用する教育用コンピューターシステム、校務全般で使用する校務用コンピューターシステム、児童・生徒1人1台の学習用情報端末があり、計画的に整備及び維持管理を行っています。

令和5年度は、区立小学校10校、中学校5校の教育用コンピューターシステムの機器更新及び校内ネットワーク再構築(高速大容量化)や、令和6年度に更新する校務用コンピューターシステムについて、小・中学校長を構成員に含めた選定委員会を設置し、プロポーザル方式による事業者選定を行いました。

令和5年度末のICT環境は、教育用コンピューターシステム端末1,649台、学習用情報端末14,770台、大型提示装置(プロジェクター又は電子黒板)953台、実物投影機918台、校務用コンピューターシステム端末1,110台です。

##### (3) 小学校校舎等活用・整備

令和5年度は、小学校内学童整備のため、東山小学校放送室などの改修を行いました。

#### (4) 校舎等施設管理

小・中学校からの要望や、各種点検の結果を踏まえ、校舎等の修繕を行い、施設を維持管理しています。

#### (5) 園舎等施設管理

幼児教育の充実を図るために、各種点検や園舎等の修繕を行い、施設を維持管理しています。

#### (6) 校外施設運営管理

八ヶ岳林間学園、興津自然学園の施設管理を行っています。

#### (7) 教職員住宅維持管理

清水池の教職員住宅の施設管理を行っています（事業開始：昭和49年4月）。

なお、同住宅については築50年近くが経過しており、老朽化に伴い住居としての使用に支障の出る頻度が高くなってきているため、令和6年度末をもって廃止予定としています。

## 2 各事業の決算額（令和5年度）

単位：千円

事業名	幼稚園・こども園	小学校	中学校	校外施設	教職員住宅	計
校舎等整備		206,846	237,090			443,936
教育用コンピューター整備		776,118	364,193			1,140,311
校務用コンピューター整備		178,458	67,410			245,868
小学校校舎等活用・整備		22,513				22,513
校舎等施設管理		605,059	256,894			861,953
園舎等施設管理	15,386					15,386
八ヶ岳林間学園運営管理				37,918		37,918
興津自然学園運営管理				55,383		55,383
教職員住宅維持管理					800	800
合計	15,386	1,788,994	925,587	93,301	800	2,824,068

## IV 教育指導の充実

### 1 人権教育

あらゆる教育の機会を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、相互理解や連帯感を培い、偏見や差別をなくすために、人権教育を推進しています。

平成10年度から人権教育の推進に関わる諸問題を検討し、総合的な施策の推進を図るため、人権教育推進委員会を常設しています。委員会では、人権教育推進委員会だよりや「目黒区人権教育の推進」の発行、また目黒区子ども条例の趣旨を踏まえて作成した「目黒区人権感覚チェックシート」を活用し、教職員の人権感覚の向上を図るための取組を行っています。令和4年度は、令和3年度に引き続きeラーニングによる教職員悉皆研修を企画・実施しました。また、人権教育推進委員会だよりでは令和5年度は目黒区人権教育推進校である中目黒小学校、五本木小学校、菅刈小学校、大鳥中学校の取組等を取り上げました。

各学校では、人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、子どもたちの発達段階に応じた組織的な人権教育に取り組んでいます。令和元年度から目黒区人権教育推進校を設置し、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、目黒区における人権教育の質的向上を一層図っています。

### 2 道徳教育

子どもたちの豊かな心をはぐくみ、道徳性を育成するため、学校教育全体を通して道徳教育を推進するとともに、道徳教育の要の時間としての「特別の教科 道徳」の充実を図っています。また、小学校は平成30年度から、中学校は令和元年度から「特別の教科 道徳」が完全実施となりました。道徳教育を充実させるため、目黒区では、全小・中学校で道徳授業地区公開講座を実施し、保護者・地域の方々とともに子どもの豊かな心をはぐくむためのそれぞれの役割等、意見交換を行っています。さらに、「特別の教科 道徳」の充実を図るため、全小・中学校で年間指導計画を作成するとともに、各校に道徳教育推進教師を置き道徳教育の推進を図っています。

### 3 国際理解教育

グローバル化に伴い、経済・文化・人的交流等のあらゆる面で国を超えて相互連結性が高まる中、区民一人ひとりが積極的に交流し、学び合うことにより国際的視野を広め、異なる文化・社会・価値観等に対する理解を深め、互いに尊重し合う関係を構築していくことがますます重要になっています。その課題を達成するために次の事業を実施しました。

#### (1) 外国語指導員（A L T）派遣（昭和62年度事業開始）

外国語指導員の中学校派遣を昭和62年10月より実施しています。

中学校では、英語科の授業を中心に外国語指導員を教員の助手として派遣し、英語教育の充実を図りました。令和5年度は年間を通しての派遣とし、1クラス当たり平均67.7時間の授業を行いました。

小学校では、国際理解教育の一環として外国語指導員の派遣を平成10年4月から実施しています。令和5年度は中学校と同様、年間を通しての派遣とし、1～2年生で1クラス当たり平均13.4時間、3～4年生で平均30.4時間、5～6年生で平均41.3時間の授業をそれぞれ行いました。

※A L T（Assistant Language Teacher の略）

#### (2) イングリッシュ・キャンプの実施（平成26年度事業開始）

平成27年4月に開校した大鳥中学校では更なる魅力づくりにつなげるため、英語によるコミュニケーション能力の向上及び異文化の理解を図ることを目的に、イングリッシュ・キャンプ（E キャンプ）を実施しています。8名の生徒に1人のネイティブスピーカーの外国語指導員が付き、生徒一人ひとりの英語を話す機会を十分にとりながら、泊り込みで野外活動やレクリエーションも交え、オールイン

グリッシュの様々な英語活動を行いました。これにより、生徒の英語を話そうとする意欲が高まり多くの生徒が成長を実感することができました。

○大鳥中学校イングリッシュ・キャンプ

【実施日】令和5年7月27日(木)から29日(土)

【場 所】目黒区立八ヶ岳林間学園

【参加者】大鳥中学校 第2学年生徒 46名

また、区立中学校における魅力ある教育活動を推進するため、イングリッシュ・キャンプの全校実施を目指し、令和5年度は大鳥中学校を除く区立中学校で参加希望者を募り、「めぐろイングリッシュ・キャンプ」を開催しました。

○めぐろイングリッシュ・キャンプ(8校合同)

【実施日】令和5年8月21日(月)から23日(水)

【場 所】人材開発センター 富士研修所

【参加者】目黒区立中学校第2学年参加希望生徒(大鳥中学校除く) 38名

**(3) 日帰り体験型英語学習の実施(平成30年度事業開始)**

目黒区立中学校生徒の希望者を対象に、東京都教育委員会が開設するTOKYO GLOBAL GATEWAYを利用して、普段の学習環境である教室とは異なる非日常の空間で、様々な体験型の学習をオールイングリッシュで行うことにより、英語によるコミュニケーション能力、英語・異文化理解に対する興味・関心の向上を図ることとしています。令和2年度より、目黒区立小学校第6学年全児童も対象としました。令和5年度は、実施学年を第4～6学年から1学年を選択できるようにしました。

【実施日】中学校：令和6年1月5日(金)

小学校：令和5年4月～令和6年3月にかけて、各校で調整し実施

【場 所】TOKYO GLOBAL GATEWAY

【参加者】中学校：第2学年を中心とした希望生徒

小学校：第4～6学年から1学年選択(全児童)

**(4) 北京市東城区(旧崇文区)との書画賀状交換**

目黒区と北京市崇文区(現東城区)とは、平成3年10月26日に友好関係促進のための協定書に調印、平成4年5月7日には各分野における交流を一層充実させていく努力をすることを確認し、友好協力事業の覚書を取り交わしました。

この一つとして、平成4年度から相互に児童・生徒の書画等の作品交換を行うことになり、平成4年度にはそれぞれの区で作品展を開催しました。その後は、隔年で相互に展示を行っています。令和5年度は、70点の書画を連合展覧会で展示しました

このほか、令和5年度は区立小学校265名の児童と東城区の小学校の児童との間での賀状の交換を行いました。

**(5) ソウル特別市中浪区との賀状交換**

目黒区とソウル特別市中浪区とは、平成25年度に友好増進及び交流協力に関する覚書を交わしました。令和5年度は目黒区立小学校と中浪区の小学校児童との間で260点程度の賀状の交換を行いました。

**(6) ジョージア州チェロキー郡との絵画作品交流**

ボランティア活動をしている米国ジョージア州チェロキー郡教育委員会の関係者が平成2年8月に目黒区を訪問したことをきっかけに、チェロキー郡教育委員会の提案に応じるかたちでチェロキー郡との絵画作品の交流を、平成3年度から実施しています。毎年30点程度の小中学生の絵画作品を交換展示しており、目黒区での展示については、連合展覧会の場で行っています。

## (7) 日本語教室

目黒区立学校に在籍する児童・生徒のうち、外国籍・帰国等の理由により日本語の理解が十分でない児童・生徒で、東根小学校等に常設する日本語国際学級等での指導を受けることができない児童・生徒を対象に、基礎的な日本語の習得と学校生活等への適応を図ることをねらいとして、平成6年度から、日本語教室を開設しています。

令和5年度は、中国、フィリピン、アメリカ、台湾、オーストラリア等、16の国・地域、47名の児童・生徒が在籍・通級しました。

なお、平成20年度から日本語指導に関して、早稲田大学大学院日本語教育研究科と協定を締結し、同大学院の支援のもと日本語教室での指導内容についても一層の充実を図っているところです。

## 4 情報教育

各学校において児童・生徒1人1台の学習用情報端末を「いつでも、どこでも、だれとでも」活用し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行うことで、「個別最適な学びの実現」「協働的な学びの実現」を図り、基礎的・基本的な知識・技能や言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の確実な育成を目指しています。

また、情報教育の推進に必要な教員の更なる資質向上を図るため、教育指導課主催研修として、eラーニング全教職員悉皆チェック研修や、夏季休業期間中に「ICT活用推進研修（初級・中級・上級スキルアップ）」を実施しています。

また、ICTを活用する授業を補助するため、4名のICT支援員（平成12年度から配置）が各学校を巡回し、情報モラルやICTを活用した授業に関する支援などを行っています。

## 5 特別支援教育

教育上特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が、社会の一員として自立し、充実した生活を送ることができるよう、一人ひとりの状況に応じた教育を行うために、知的障害、肢体不自由、自閉症・情緒障害、難聴・言語障害の特別支援学級を設置しているほか、全小・中学校に特別支援教室を設置しています（P29、30参照）。

### 特別支援学級関連の事業概要

事業名		内容	実施日等
研修等	特別支援学級等設置校長会	特別支援学級・教室運営、諸事業等についての協議等	研修等
	特別支援学級・特別支援教室拠点校主任会	各事業の企画・立案・運営等についての協議・研修会等	年4回
	特別支援教育コーディネーター連絡会	特別支援教育コーディネーターの研修・情報交換・協議 特別支援学級及び特別支援学校（地域交流事業）との連携等	年4回
	特別支援教育等研修	特別支援教育の視点を取り入れた授業、特別支援教育支援員との連携、保護者に寄り添った支援等	年15講座実施

事業名		内 容	実施日等
連 合 行 事	連合展覧会	特別支援学級の児童・生徒の作品を出展（目黒区美術館）	令和6年1月20日 ～2月4日
	特別支援学級連合運動会	区立知的障害・肢体不自由特別支援学級が、互いに連携し、授業等で身に付けた成果を発表し、相互の理解と交流を深める。	令和5年10月20日
	自然宿泊体験教室	小学校 知的障害特別支援学級4校合同で、興津自然学園で実施	令和5年9月13日 ～9月15日
そ の 他	校外学習・宿泊訓練	遠足、社会科見学や宿泊訓練で、集団生活でのマナー等を学ぶ。	学校ごとに実施
	地域交流事業	特別支援学校との交流（副籍交流）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため直接交流を一部中止

## 6 生活指導

小・中学校の密接な連携を図り、一貫した指導を進めるとともに、家庭、地域の協力を得て指導の万全を図るため、小・中合同生活指導主任会を年5回開催しています。教育指導課からの依頼や情報提供、関係諸機関の方々からの話を受け協議をしています。また、各中学校区別の分科会にて情報交換を行い、各学校の取組の共有を図っています。

## 7 安全指導

安全指導については、幼稚園・各こども園及び各小・中学校において年間計画に基づき、計画的に実施しました。

交通安全教室は、各学校の実情に応じ所轄警察署・関係者の協力の下に実施されています。また中学校では平成27年から毎年3校ずつ、スタントマンが交通事故の再現を実演するスケアードストレート方式による自転車安全教室を行っています。

学校防災については、目黒区地域防災計画に基づき、教職員全員がとるべき行動とその手順についてまとめた学校・園防災マニュアルを策定しています。

さらに、各学校・園ではこの学校・園防災マニュアルを基に、子どもの数や地域の特性等に配慮した、各学校・園独自の防災マニュアルを作成しています。この独自防災マニュアルは、毎年度見直しを行うように努めています。

また、令和5年度は防災検定を五本木小学校（第6学年）、目黒中央中学校（第2学年）で実施しました。

防犯教育プログラムは、平成19年度から実施し、全小学校の第1学年を対象に連れ去り防止等を目的に、対応方法などを体験することにより、自分自身を守る力を身に付けさせています。また、犯罪被害防止や非行防止を目的に、全小・中学校で警察など関係諸機関の協力を得て、セーフティ教室を毎年実施しています。

## 8 進路指導

(1) 区立中学校卒業生進路状況（令和6年3月卒業）

（令和6年3月31日現在）

	卒業生数	進路先 決定者数	進路先 未決定者数	進路先決定者内訳								
				進学者					専修学校 各種学校 等	就職	家事 従事	その他 (海外 転出等)
				高等学校			定時制 通信制	特別支 援学校				
				全日制								
公立	国立	私立										
男	484	482	2	183	7	249	34	5	3	0	0	1
女	440	437	3	195	2	191	45	3	1	0	0	0
計	924	919	5	378	9	440	79	8	4	0	0	1
構成比	100.0	99.5	0.5	40.9	1.0	47.6	8.5	0.9	0.4	0	0	0.1

※四捨五入の処理により、構成比は100%とならない場合があります。

(2) 最近3年間の推移

該当者数割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度
全日制	国公立学校	41.9%	39.8%	42.5%
	私立学校	48.0%	49.2%	47.0%
定時制		7.5%	8.0%	7.8%
特別支援学級		0.9%	1.0%	0.9%
専修学校各種学校等		1.1%	0.7%	0.9%
就職・未決定者等		0.5%	1.3%	0.8%

## 9 学習指導員等の配置

東京都の加配教員による指導とは別に、教職免許等を所持する区独自の学習指導員や学習指導講師等を配置することにより、ティーム・ティーチングや少人数授業の実施等を行い、学力の基礎・基本の確実な定着を図ってきました。

(1) 学習指導講師（平成16年度から配置）

区が独自に任用する非常勤職員（講師）です。各小学校と中学校に年間222日勤務します。

平成22年度全小学校配置。平成26年度から目黒中央中学校特別支援学級にしいの木学級学習指導講師、平成28年度から東山小学校に学習指導講師（短時間）を配置しました。

(2) 学習指導員

ティーム・ティーチング等により授業の支援に当たりました。

通常授業支援（平成14年度から配置） 令和5年度実績：小学校延べ 8,867時間  
：中学校延べ 5,057時間

放課後学習支援（平成22年度から配置） 令和5年度実績：中学校延べ 1,305時間

土曜日補習教室（平成23年度から配置） 令和5年度実績：中学校延べ 178時間

(3) 小1学級支援員（平成19年度から配置）

小学校入学直後の児童が学校生活に早期に対応できるよう生活面・学習面での支援に当たりました。  
令和5年度実績：延べ 9,676時間

(4) 観察実験支援員（平成27年度から配置）

理科の観察・実験の準備や片付け等の支援に当たりました。

令和5年度実績：小学校延べ 2,954時間  
中学校延べ 565時間

### (5) 外部人材活用事業

一芸に秀でた人や専門分野を研究している人に授業の講師や指導者として協力いただきました。  
令和5年度実績：小学校延べ14校、中学校延べ9校、幼稚園・こども園延べ3園

### 10 主任会等における研修

教育者としての識見を高め、資質の向上を図るため、次のとおり、各主任会等において教員を対象として各種研修会を実施しました。

名 称	開催日	内 容	講 師 等
教務主任 研修会	4月25日	教育課程の適正な管理について 指導要録の管理について 各種届について	区指導主事
	6月13日	目黒区学力調査の結果活用及び授業改善について 教育の情報化について	
	9月12日	学校・園評価の実施について 妥当性・信頼性のある評価・評定について	
	1月30日	教育課程の編成について 教育課題への対応について	
生活指導主任 研修会	4月11日	いじめ・不登校への対応について 学校安全の充実について 関係機関との連携について	目黒警察署 碑文谷警察署 子ども家庭支援センター 世田谷少年センター 区指導主事
	7月4日	hyper-QU アンケートの分析と活用について 夏休みの生活指導について 安全教育の充実について 自殺予防に係る取組について	日本大学教授 区指導主事
	10月10日	いじめ問題への組織的な対応について	区指導主事
	12月5日	冬休み中の生活指導について 生命等にかかわる重大事態発生時の対応訓練について 安全点検の徹底について	区指導主事
	3月5日	生活指導に係る教育課題への対応について 学年末・学年始めの生活指導について	区指導主事
普通救命 講習会	5月22～24・ 29～31日、 6月1・5・6・ 8・12日	応急処置の重要性、人工呼吸・胸骨圧迫・AED取扱い・異物除去・止血等	東京防災救急協会 指導員

## 1.1 教育開発校

様々な教育課題や学校・園が直面している課題の解決を図るため、幼稚園・こども園、小・中学校を教育開発校に指定し、授業改善や教育活動の開発に関する研究を支援しています。指定を受けた学校では、教育開発校として継続的に研究に取り組みました。また、区のほかに文部科学省からの指定を受け研究開発学校として研究を進めた学校もありました。

さらに、区の指定を受けなかった学校・園も、校内研究支援として区教育委員会の支援を受けながら、それぞれが設定した研究主題に基づき研究に取り組みました。

このうち、令和5年度に公開発表会を実施した学校は次のとおりです。それぞれの研究主題のもとに研究と実践に取り組み、成果をあげました。

(事業開始 平成13年度)

### 研究発表校

学校名	研究主題	研究教科等	研究の内容	予算	指定期間
烏森小学校	主体的に学び続ける子どもの育成～学びの質の向上につながるICT活用のアプローチ～	社会科 理科 生活科	学習用情報端末を「文房具」のように活用できる児童の育成を目指し、ICT機器の効果的な活用の在り方などについて研究開発を行う。	450,000 円	2年間 (2年目) 11/1 研究発表
中目黒小学校	自律的な学びを育てる学校～午前5時間制の特色を生かした教育課程を通して～	各教科等	「個別最適な学び」と「協働的な学び」に関する研究開発をする。	450,000 円	2年間 (2年目) 11/1 研究発表
菅刈小 下目黒小※ 中目黒小※ 油面小※ 烏森小※ 向原小※ 五本木小 鷹番小※ 田道小※ 月光原小※ 駒場小※ 緑ヶ丘小 原町小 不動小 上目黒小 中根小 宮前小※ (17校)	40分授業午前5時間制を生かした創意工夫ある教育課程の開発	各教科等	1単位時間を40分とした「教育内容のカリキュラム・マネジメントの実現」、「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善」を通して、各教科等における資質・能力を確実に育成するための教育課程、各教科等の指導方法、適切な授業時数の在り方の検討を行う。	4,818,130 円	研究発表 (油面小) 10/13  研究発表 (油面小以外9校) 11/1  ※研究発表 実施校

## 1 2 教科用図書

### (1) 目黒区立小学校採択教科書一覧

	種 目	発 行 者
小 学 校	国 語	光 村 図 書
	国 語(書写)	光 村 図 書
	社 会	教 育 出 版
	社 会(地図)	帝 国 書 院
	算 数	学 校 図 書
	理 科	大 日 本 図 書
	生 活	東 京 書 籍
	音 楽	教 育 芸 術 社
	図画工作	日 本 文 教 出 版
	家 庭	開 隆 堂
	体 育(保健)	G a k k e n
	英 語	東 京 書 籍
	道 徳	光 村 図 書

(令和 6～9 年度使用)

※小・中学校特別支援学級の教科用図書は多数のため省略

### (2) 目黒区立中学校採択教科書一覧

	種 目	発 行 者
中 学 校	国 語	光 村 図 書
	国 語(書写)	光 村 図 書
	社 会(地理的分野)	帝 国 書 院
	社 会(歴史的分野)	帝 国 書 院
	社 会(公民的分野)	帝 国 書 院
	社 会(地図)	帝 国 書 院
	数 学	啓 林 館
	理 科	啓 林 館
	音 楽(一般)	教 育 芸 術 社
	音 楽(器楽合奏)	教 育 芸 術 社
	美 術	光 村 図 書
	保 健 体 育	G a k k e n
	技 術・家 庭(技術分野)	東 京 書 籍
	技 術・家 庭(家庭分野)	開 隆 堂
	外 国 語(英語)	東 京 書 籍
	道 徳	東 京 書 籍

(令和3～6年度使用)

## 1 3 自然宿泊体験教室等

教育課程の一環として、学校内における平素の指導では十分な効果をあげることができない内容について学習するため、小・中学校において自然宿泊体験教室を実施しています。従来の移動教室については平成 22 年度で事業が終了となり、平成 23 年度から自然宿泊体験教室へ完全移行しました。

### (1) 自然宿泊体験教室

#### 実施期間・経費等

	小学校
	興津自然学園・館山民間施設
期 間	5 月 9 日 (火) ～10 月 27 日 (金)
日 数	1 泊 2 日～2 泊 3 日
学校数	20 校 ※5 年生 2 校、6 年生 17 校、特別支援学級連合 (1 校とする)
対 象	5～6 年生
参加 (児童) 人数	1,529 人
交通機関	全行程バス借上げ (全額公費負担)
指導員	引率指導員を各校に学級数配置 (全額公費負担)
介助員	必要に応じて配置 (全額公費負担)
現地インストラクター	学級数と同数を配置 (全額公費負担)
参加者負担額	学園利用：3,050 円/1 泊 (上限) 民間施設利用：18,600 円 (上限)

	小学校
	八ヶ岳林間学園・車山高原民間施設
期 間	5月18日(木)～10月4日(水)
日 数	2泊3日
学校数	22校 ※5年生19校、6年生3校
対 象	5～6年生
参加(児童)人数	1,531人
交通機関	全行程バス借上げ(全額公費負担)
指導員	引率指導員を各校に学級数配置(全額公費負担)
介助員	必要に応じて配置(全額公費負担)
現地インストラクター	学級数と同数を配置(全額公費負担)
参加者負担額	学園利用:6,100円(上限) 民間施設利用:14,640円(上限)

	中学校
	八ヶ岳林間学園・車山高原民間施設
期 間	6月2日(金)～2月16日(金)
日 数	2泊3日
学校数	8校
対 象	1年生(特別支援学級は1・2年生)
参加(生徒)人数	837人
交通機関	全行程バス借上げ(全額公費負担)
指導員	引率指導員を各校に学級数+2人配置(全額公費負担)
介助員	必要に応じて配置(全額公費負担)
参加者負担額	学園利用:7,500円(上限) 民間施設利用:22,000円(上限)

	小学校
	宮城県気仙沼大島
期 間	7月5日(水)～7月7日(金)
日 数	2泊3日
学校数	1校
対 象	5年生
参加(児童)人数	64人
交通機関	電車、バス(借上げ)(全額公費負担)
指導員	引率指導員を各校に学級数配置(全額公費負担)
介助員	必要に応じて配置(全額公費負担)
参加者負担額	17,600円(上限)

	中学校
	宮城県気仙沼
期 間	6月21日(水)～6月23日(金)
日 数	2泊3日
学校数	1校
対 象	1年生
参加(生徒)人数	105人
交通機関	電車、バス(借上げ)(全額公費負担)
指導員	引率指導員を各校に学級数+2人配置(全額公費負担)
介助員	必要に応じて配置(全額公費負担)
参加者負担額	19,000円(上限)

	小学校
	石川県金沢市
期 間	6月28日(水)～7月7日(金)
日 数	2泊3日
学校数	2校
対 象	6年生
参加(児童)人数	124人
交通機関	電車、バス(借上げ)(全額公費負担)
指導員	引率指導員を各校に学級数配置(全額公費負担)
介助員	必要に応じて配置(全額公費負担)
参加者負担額	6,620円(上限)

(2) 中学校独自宿泊事業支援

夏季・冬季休業などの期間を利用して、特色ある教育活動の促進を図るため、学校独自の宿泊事業を支援しました。

	第十一中学校
	民間施設(新潟県南魚沼市)
期間	12月25日(月)～12月27日(水)
日数	2泊3日
参加(生徒)人数	49人(2年生希望者)
参加者負担額	55,893円
活動内容	個人のレベル(初心者、初級者、中級者、上級者)にあわせた、現地スキー指導員によるスキー教室
公費負担	①交通費(バス代)の一部 ②体験学習費の一部 ③宿泊費の一部

(3) 中学校部活動合宿支援

中学校の魅力づくりを推進し、学校生活の一つの魅力でもある部活動を充実させるため、中学校が教育活動の一環として実施する部活動合宿の費用の一部を支援しました。

	第七中学校	第十一中学校
	八ヶ岳林間学園	八ヶ岳林間学園
実施期間	7月31日(月)～8月2日(水)	8月2日(水)～8月4日(金)
実施日数	2泊3日	2泊3日
参加(生徒)人数	44人	57人
参加者負担額	8,411円	12,182円
参加部数	5部	7部
参加部活動	陸上競技・男子バスケットボール・女子バスケットボール・女子バレーボール・ハンドメイド	サッカー・バスケットボール・女子バレーボール・男子硬式テニス・女子硬式テニス・陸上競技・剣道
公費負担	交通費、練習施設利用料等の一部	交通費、練習施設利用料等の一部

## 14 連合行事

学校における平素の指導の一層の充実を図り、日頃の成果の発表や他校との交流の場とするため、連合して各種行事を実施しています。

行事名	実施日・会場	対 象	内容等
連合音楽鑑賞教室 (中学校)	令和6年3月7日(木) めぐろパーシモンホール	中学校3年生	東京室内管弦楽団の演奏の鑑賞
連合体育大会 (中学校)	令和5年9月27日(水) 駒沢オリンピック記念公園総合運動場陸上競技場	全員	陸上競技8種目の実施
連合音楽会 (小・中学校)	(小学校) 令和6年1月25日(木)・ 26日(金) (中学校) 令和5年10月26日(木) めぐろパーシモンホール	小学校 5年生 中学校 2年生	(小学校) 合唱及び合奏  (中学校) 合唱
連合展覧会 (幼稚園・こども園、 小・中学校、特別支援 学級)	令和6年1月20日(土) ～2月4日(日) 目黒区美術館	全員 (副籍児童・生徒含む。)	日常の図画工作 及び美術等の学 習における作品 の展示
連合運動会 (特別支援学級)	令和5年10月20日(金) 目黒区中央体育館	全員(小・中学校)	日常の体育・健康 の成果を各種演 技及び競技で発 表

## 15 いじめ問題対策

いじめの防止等を推進するため、目黒区いじめ防止対策推進条例第12条、第13条の規定に基づき、第三者を含めた組織を設置しました。

### (1) いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に関する機関の連携を図るために区が設置する機関です。いじめの状況の報告や情報交換等を2回行いました。

#### 目黒区いじめ問題対策連絡協議会委員

(令和6年3月31日現在)

区分	氏名	推薦母体等	区分	氏名	推薦母体等
区職員 (2名)	◆榎本 達司	教育次長	関係機関 (3名)	安藤 啓一	目黒区青少年委員会
	◇田中 健二	子育て支援部長		齋藤 由美子	目黒区主任児童委員
学校 (3名)	瀬沼 美雪	区立小学校長会		登坂 真人	目黒地区人権擁護委員会
	野口 芳一	区立中学校長会		藤元 孝平	目黒警察署 生活安全課長
	田村 嘉浩	東京都私立中・高等学校協会		石井 竜児	碑文谷警察署 生活安全課長
関係団体 (5名)	黒田 英二	区立小学校PTA連合会		岡野 安成	品川児童相談所長
	飯田 学	区立中学校PTA連合会	◆会長 ◇副会長		

※任期は、令和5年7月18日から令和7年7月17日まで。

### (2) いじめ問題対策委員会

いじめの防止等の対策を実効的に行うために教育委員会が設置する機関です。重大事態発生時の対応訓練や具体的ないじめ事案についての協議を3回行いました。

#### 目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員

(令和6年3月31日現在)

区分	氏名	役職等
学識経験者	◆米津 光治	文教大学教育学部教授
法律に関して専門的知識を有する者	鹿野 真美	弁護士
心理に関して専門的知識を有する者	山崎 洋史	仙台白百合女子大学心理福祉学科教授
福祉等に関して専門的知識を有する者	◇片倉 昭子	社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事
	加藤 佳子	目黒区民生児童委員協議会 主任児童委員
	松村 由紀子	東京人権擁護委員協議会 目黒地区副代表

※任期は、令和5年7月18日から令和7年7月17日まで。

◆委員長  
◇副委員長

## V めぐる学校サポートセンターの事業

目黒区めぐろ学校サポートセンターは、めぐろ学校教育プランが掲げる「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を目指し、平成20年度に旧守屋教育会館の業務を拡充し設置されました。めぐろ学校サポートセンターは、「教職員サポート」「学習・相談サポート」の2つの基本的サポート機能をもち、教職員の研修や子どもたちの教育に関する支援を行っています。

### 1 教職員サポート（教職員の支援及び育成に関する事業）

#### 教職員の研修

職層研修 15 回、必修研修 29 回、課題別研修 23 回、特別支援教育等研修 15 回、その他 1 回計 84 回の研修を実施し、延べ 10,151 名の参加がありました。

(令和6年3月31日現在)

研修種別	研修名	対象	内容	実施回数	参加者数
職層研修	校・園長研修	小・中学校長、幼稚園・こども園長	・「令和の日本型学校教育」の姿として求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」について	1	34
	副校・園長研修	小・中学校副校長、幼稚園・こども園副園長	・学校における働き方改革	1	34
	新補・転補校・園長研修	新補・転補小・中学校長及び幼稚園・こども園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	6
	新補・転補副校・園長研修	新補・転補小・中学校副校長及び幼稚園・こども園副園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	9
	主幹教諭研修	小・中学校主幹教諭	・学校におけるミドルリーダーの在り方	1	53
	主幹教諭任用時研修	令和5年度新規主幹教諭及び4年度までの未修了者	eラーニング研修2回+オンライン研修1回 ・主幹教諭の職及び主幹教諭に望むこと ・服務事故防止、危機管理等	3	24
	主任教諭任用時研修	令和5年度新規主任教諭及び4年度までの未修了者	eラーニング研修2回+集合研修1回 ・教育現場におけるコミュニケーション ・主任教諭の役割と人材育成	3	54
	学校マネジメント講座	本人の希望及び管理職推薦者	・特色ある学校づくり等 ・教育委員会の組織と役割等 ・服務事故防止、危機管理等 ・教育委員会施策等	4	31
必修研修	初任者研修	初任者研修対象者（新規採用教員、期限付き任用教員） [幼稚園・こども園教諭は、区における研修の一部を受講]	・教師としての心構え、目黒区の教育施策、人権を尊重した教育の推進、サービスの厳正 ・新規採用者に向けて、接遇・マナー、保護者対応等 ・授業力向上に向けて（全5回） ・事故の未然防止 ・児童・生徒理解について ・1年間のまとめ	10	388
	初任者集中研修等	令和5年度新規採用教員及び4年度期限付き任用教員	・夏季集中研修 ・巡回訪問 ・課題別研修	4	151

研修種別	研修名	対象	内容	実施回数	参加者数
必修研修	2年次研修	初任者研修を修了した2年目教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な指導力の向上</li> <li>授業研究の実際</li> </ul>	3	113
	3年次研修	2年次研修を修了した3年目の教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な指導力の向上</li> <li>授業観察</li> <li>授業力向上に向けて</li> </ul>	4	131
	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業力の分析と課題設定、学習評価の改善等</li> <li>生活指導、学級経営</li> <li>教育法規等</li> <li>サービス等</li> <li>人権教育等</li> <li>授業研究の実際（全3回）等</li> </ul>	8	157
課題別研修	人権教育研修	こども園・幼・小・中教諭・主幹等人権教育担当者及び希望者・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>偏見や差別への取り組み</li> <li>人権教育における実際の指導</li> </ul>	4	786
		全教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育に関する確認（eラーニングによる研修）</li> </ul>		
	小学校就学前教育研修	幼稚園・こども園及び小学校教員、私立幼稚園及び公・私立保育園希望者	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な接続を図った幼児教育の指導</li> </ul>	1	87
	実務担当者研修	各種担当教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種担当教員としての実務能力の伸長（毒物・劇物管理研修、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議担当者研修）</li> </ul>	8	156
			<ul style="list-style-type: none"> <li>I C T活用推進研修 ①～⑤</li> <li>理科指導者研修</li> </ul>		
eラーニング全教職員悉皆チェック研修	全教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日的な教育課題に対する理解・対応力の向上</li> </ul>	10	6,797	
特別支援教育等研修	特別支援教育研修	教務主幹・生活指導主幹、研究主任及び特別支援教育コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級経営のユニバーサルデザイン</li> <li>教科指導におけるユニバーサルデザイン</li> <li>通常の学級における授業のユニバーサルデザイン</li> </ul>	3	107
	特別支援学級・特別支援教室研修	特別支援学級担当教員・特別支援教室担当教員及び希望者	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒の自己肯定感を高める教材・教具の工夫</li> <li>自立活動の指導を振り返って</li> <li>年長・学童期の初回面談について</li> <li>A D H D ・ 自閉症の特性及び発達段階を踏まえた自立活動の指導</li> <li>障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援のあり方</li> </ul>	5	77
	教育相談初級研修	2・3年次の全教員（2年間で受講）及び希望者	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育相談の心得</li> <li>グループアプローチの実際</li> <li>虐待・ネグレクトへの対応</li> <li>ソーシャルスキルトレーニングの実際</li> <li>認知行動療法の実際</li> <li>不登校の未然防止と早期解決に向けて</li> <li>性の多様性の理解と対応</li> </ul>	7	246

研修種別	研修名	対象	内容	実施回数	参加者数
	特別支援教育に関する今日的な教育課題への対応	全教職員	・障害者差別解消法の理解	1	632
その他	着任研修	令和5年度から新たに目黒区に着任した教職員、産・育休代替教員、学習指導講師	・目黒区の特色ある教育活動について等	1	78

## 2 学習・相談サポート（学習支援教室の運営及び教育相談に関する事業）

### (1) 学習支援教室

#### ア 学習支援教室「めぐろエミール」の運営

不登校の中学生を対象に適応指導教室として「めぐろエミール」を平成7年6月に開設しました。現在は居場所機能の充実を図るとともに、長期欠席の児童・生徒を対象とした学習支援教室として、一人ひとりの状態に応じた学習支援を行い、集団生活への適応を図り学校復帰を目指しています。

開室場所	めぐろ学校サポートセンター 3階
開室日	週5日（月曜日～金曜日）
開室時間	午前9時～午後3時 水曜日は午前12時まで
通級児童・生徒数	100名
指導体制	11名
活動内容	相談活動（生活相談、学習相談、進路相談等） 学習活動（各教科の学習支援） 体験活動（レクリエーション、調理実習、校外学習等）

#### イ メンタルフレンド事業

平成10年9月から実施している事業で、長期欠席児童・生徒の自宅・学校へ「メンタルフレンド」を派遣し、話し相手や相談相手になり、一緒に遊ぶ等のふれあいを通して自分自身を見つめさせ、人や社会との関わり方を身に付けさせることを目的としています。

大学と連携した新たなメンタルフレンド事業を平成24年度から試行で実施し、平成25年度からメンタルフレンドが学習支援教室「めぐろエミール」や学校、長期欠席児童・生徒の自宅で活動しています。

登録者数 18人（令和6年3月31日現在）

### (2) 教育相談

児童・生徒及び幼児の心身の健全な発達を図るため、発達障害、学業上の問題、進路等、不登校、性格・行動上の問題、学校・教師・学校生活、友人関係、精神・身体・健康、家庭生活・子育て・しつけ等、教育上の諸問題について保護者、児童・生徒の相談に応じました。また、各学校・園での教育相談活動を支援するため研修会を開催する等、多様化する相談業務に対応できるよう努めました。

#### ア 教育相談員構成

教育相談員（心理相談専門員）13名（令和6年3月31日現在）

イ 来室教育相談

毎週月曜～土曜日（午前10時～午後5時） 開室日数 290 日

ウ 電話教育相談

毎週月曜～金曜日（午前10時～午後5時） 受付日数 240 日

夏の電話相談（8/22～8/24） 相談件数 0 件

来室相談者数（令和6年3月31日現在）

対象者	性別		計	%
	男	女		
幼児	5	3	8	1.5
小学生	223	109	332	63.6
中学生	68	75	143	27.4
高校生	16	20	36	6.9
その他	3	0	3	0.6
合計	315	207	522	100.0

来室相談主訴（男女別）（令和6年3月31日現在）

内容	性別		計	%
	男	女		
発達障害	3	4	7	1.3
学業上の問題	70	28	98	18.8
進路等	5	2	7	1.3
不登校	64	79	143	27.4
性格・行動上の問題	149	81	230	44.1
学校・教師・学校生活	7	2	9	1.7
友人関係	2	3	5	1.0
精神・身体・健康	3	2	5	1.0
家庭生活・子育て・しつけ	12	6	18	3.4
その他	0	0	0	0
合計	315	207	522	100.0

来室相談状況（延べ人数）

（令和6年3月31日現在）

来室者 性別	幼児	小学生	中学生	高校生 その他	教師 その他	保護者	電話での 対応	延べ人数
	男	0	774	199	77	0		
女	11	405	173	140	0	1,817		
計	11	1,179	372	217	0	2,018		

電話教育相談人数（令和6年3月31日現在）

相談者	人数	%
保護者	71	86.5
本人	3	3.7
その他	8	9.8
計	82	100.0

電話教育相談 内容別人数

（令和6年3月31日現在）

内容	性別			計	%
	男	女	不明		
発達障害	4	2	0	6	7.3
学業上の問題	2	1	0	3	3.7
進路等	3	2	0	5	6.1
不登校	13	11	0	24	29.3
性格・行動上の問題	8	4	0	12	14.6
学校・教師・学校生活	10	3	0	13	15.9
友人関係	0	1	0	1	1.2
精神・身体・健康	0	1	0	1	1.2
家庭生活・子育て・しつけ	7	1	0	8	9.8
その他	7	1	1	9	11.0
合計	54	27	1	82	100.0

### (3) 不登校の状況

目黒区立小・中学校における令和5年度の不登校児童・生徒（※注）数は、小学生192人、中学生227人、合計419人です。

（注）不登校児童・生徒：文部科学省の調査において、年度中に30日以上欠席した児童・生徒で、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルス感染症回避」による者を除く。）をいう。

### (4) スクールカウンセラー

小・中学校、幼稚園・こども園の教育相談の充実を図るために、小学校には延べ区33人（22校）、都23人（22校）、中学校には都11人（9校）、区16人（9校）のスクールカウンセラーを派遣しています。幼稚園・こども園には区3人（3園）のスクールカウンセラーを派遣しています。

#### ア 目的

学校における児童・生徒に関わるいじめや不登校及び集団不適應等の問題の解決、並びに発達障害等の支援をしています。また、児童・生徒や保護者、教職員への相談活動を行っています。

#### イ 内容

- （ア）児童・生徒等の行動観察とカウンセリングや行動観察に基づく保護者・教員へのカウンセリング及びコンサルテーションを行っています。
- （イ）いじめや不登校、集団不適應及び発達障害に関する事例研究等や校内研修会での助言等、支援を行っています。
- （ウ）小学校には週2～4回、中学校には週3回、幼稚園・こども園には月3回の割合で定期的に派遣しています。

#### ウ 令和5年度スクールカウンセラーの延相談回数

（令和6年3月31日現在）

小学校		中学校		幼稚園・こども園	
児童	5,653	生徒	3,207	園児	10
保護者	3,362	保護者	1,213	保護者	157
教員	9,563	教員	4,572	教員	108
その他	232	その他	168	その他	6
計	18,810	計	9,160	計	281
行動観察	11,886	行動観察	2,550	行動観察	433

#### エ その他

区と都のスクールカウンセラーの連絡会を年3回実施し、スクールカウンセラー同士が情報交換や情報共有をして、連携していけるようにしました。さらに、第2回スクールカウンセラー連絡会において講師を招聘し、相談業務の改善に役立つ研修会を実施しました。

### (5) スクールソーシャルワーカー

児童・生徒の様々な問題に対応するため、福祉の専門家として令和5年度は4名のスクールソーシャルワーカーを、めぐろ学校サポートセンターに配置しています。

#### ア 目的

不登校や虐待、非行等を問題解決するために、学校や家庭、関係機関等と連携し直接的・間接的に児童・生徒とその保護者等と関わり支援しています。

## イ 内容

学校や関係機関等と連携し児童・生徒が置かれた環境への働き掛け（保護者、教職員等に対する支援・情報提供など）を行っています。

## ウ 令和5年度スクールソーシャルワーカーの対応回数

訪問・連携等の延べ回数(関係所管別) (令和6年3月31日現在)

学校	家庭	教育委員会関係	関係機関	その他	合計
352	515	68	36	60	1,031

※関係機関とは、子ども家庭支援センター及び児童相談所です。

## 3 その他のサポート機能

### (1) 夏休み優秀作品展

平成22年度までめぐろ学校サポートセンターを会場に「夏休み理科作品展」として作品を展示していましたが、平成23年度から「夏休み優秀作品展」として区公式ウェブサイト上で作品を紹介しています。

#### 夏休み優秀作品展

期 間	令和5年10月20日(金)～1年間
出品数	小学校347点 中学校36点 計383点

### (2) 教育資料の整備・活用（令和5年度実績）

#### ア 教科書センター

使用する小・中学校の教科書を法定展示として、令和5年6月6日から7月3日までめぐろ学校サポートセンター2階の教科書センターにて展示しました。なお、目黒区立学校で使用している教科書は常時展示しています。

#### イ 図書資料室

教育に関する調査・研究収録、専門図書、教育に関する出版刊行物を常時展示し、学校教職員及び教育委員会関係者の閲覧に供しました。

#### ウ 教材貸出

音楽授業で活用するため和楽器（琴）を各学校に貸し出しました。

小学校15校、中学校6校（延べ197面）

### (3) 視聴覚ライブラリー

学校教育における学習指導の補助教材として、また、社会教育活動の学習資料として、「視聴覚教材」は活用されています。

#### 視聴覚機材利用状況

施設	機 材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤ ー	CD ラジカセ	スピーカ ー	マイク	プロジェク ター	実物投影機	他	
幼稚園・こども園、 小・中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会各課	0	0	12	0	42	23	5	0	82
他（区各課）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設	区分	機 材							合計
		VHS デッキ	DVD プレーヤー	CD ラジカセ	スピーカー	マイク	プロジェク ター	実物展機	
児童館		0	0	0	0	0	0	0	0
学童保育クラブ		0	0	0	0	0	0	0	0
私立幼稚園、小学校		0	0	0	0	0	0	0	0
AVL登録団体		0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	12	0	42	23	5	82

#### 教材利用状況

施設	区分	教 材			計
		16ミリ教材	VTR教材	他	
幼稚園・こども園、 小・中学校		0	0	0	0
教育委員会		0	0	0	0
他（区各課）		0	0	0	0
保育園		0	0	0	0
児童館		0	12	0	12
学童保育クラブ		0	0	0	0
私立幼稚園、小学校		0	0	0	0
AVL登録団体		0	0	0	0
合 計		0	12	0	12

#### (4) めぐる学校サポートセンター施設の利用提供

児童・生徒の利用、教職員の研修・研究及び調査、学校教育事業、その他教育委員会の教育の充実・振興を図るため、研修室、理科室・音楽室を設置して、その利用に供しました。

新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用していたため開放利用を中止していた体育館及び運動場は、令和5年6月10日に利用を再開しました。

#### 研修室等利用実績

(令和6年3月31日現在)

	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	音楽室	理科室	計
回数	196	152	145	139	22	46	700
人数	3,864	1,414	1,295	858	453	542	8,426

#### 体育館・運動場利用実績 (令和5年6月10日～令和6年3月31日現在)

	体育館	運動場	計
回数	384	262	646
人数	7,316	5,825	13,141

## VI 地域との連携の推進

子どもたちの健全で調和のとれた成長のためには、家庭、学校、地域社会が連携し、地域社会全体で子育てを担っていく必要があります。このため、地域教育の一層の推進が大きな課題になっています。

具体的には、青少年問題協議会の開催、地域教育懇談会や青少年委員の活動支援、住区青少年部の活動との連携に取り組みました。

### 1 地域教育懇談会の活動支援

「開かれた学校」を推進し、地域社会に教育ネットワークをつくるための一つの仕組みとして、また、子どもたちの健全育成全般を話し合う地域場として、中学校区ごとに「地域教育懇談会」が組織されています。

地域教育懇談会は、学校、PTA、教育関係諸機関、青少年育成団体等から選出された方々が中心となり、子どもの教育について、共に考え話し合い連携・協力していく場、学校と地域が意思疎通を図る場、参加団体相互の連絡・調整等の場となっています。区では、運営経費の援助を行うとともに、各地域教育懇談会活動のより一層の充実に向けた支援を行いました。

#### 地域教育懇談会の主な活動状況

中学校区	地域教育懇談会名	主な活動等
第一	地域教育懇談会（菅刈小・駒場小・一中）	ふれあいコンサートの実施、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」の参観
第七	地域教育懇談会	講演会の開催、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を参観後に意見交換を実施
第八	地域教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」参観後に意見交換を実施
第九	第九中・向原小・原町小学校地域教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」参観後に意見交換を実施
第十	第十中学校区地域教育懇談会	あいさつ運動、地域夏休み行事カレンダーの作成・配布、あいさつ運動標語募集・ポスター作成、4校関係団体等地域連絡会など実施
第十一	子どもの健全育成を考える会	子どもの健全育成に関する今年度の各団体・機関の活動状況と課題について会議を実施
東山	烏森・東山子育て教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を参観
目黒中央	目黒中央中学校区地域教育懇談会	あいさつ運動の実施、講演会の開催
大鳥	ほっと <sup>2</sup> 四住志	大鳥つなフェスタ実行委員会による「大鳥つなフェスタ」の準備・開催

#### 地域教育懇談会代表者会実施状況

日時	主な内容
第1回 7月21日（金） 総合庁舎地下1階第1建築調整室	令和4年度目黒区立学校におけるいじめ及び不登校の状況について等
第2回 3月21日（木） 総合庁舎1階E会議室	令和5年度「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果」について等

（事業開始：平成10年4月）

## 2 放課後フリークラブ

放課後の学校施設等を利用して、子どもたちが遊びや様々な体験をしていく機会を提供します。校庭を使用し子どもの安心安全な居場所を提供する「ランドセルひろば」、地域団体に委託し地域の教育力で様々な体験教室を実施する「子ども教室」の2事業を実施しました。

事業名	実施校（校区）
ランドセルひろば（7校）	碑小学校、油面小学校、大岡山小学校、五本木小学校、田道小学校、緑ヶ丘小学校、東山小学校
子ども教室（16小学校区）	菅刈小学校区、下目黒小学校区、碑小学校区、中目黒小学校区、油面小学校区、向原小学校区、田道小学校区、月光原小学校区、駒場小学校区、緑ヶ丘小学校区、原町小学校区、不動小学校区、上目黒小学校区、東根小学校区、中根小学校区、宮前小学校区

（事業開始：平成20年4月）

※ランドセルひろば実施校を除く区立小学校では、放課後子ども総合プラン一体型事業である「ランランひろば」を実施しました。

## 3 青少年の健全育成

明日を担う青少年が健やかに育つために、家庭、学校、地域社会や関係機関が連携し、健全育成、事故・非行防止、社会参加活動等を推進しました。また、青少年問題協議会、住区青少年部連絡会の開催及び青少年健全育成のための情報提供や青少年委員による活動等を行いました。

### (1) 青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策を総合的に審議、連絡、調整する機関です。青少年育成基本方針の策定、青少年に関する協議等を行いました。

#### 青少年問題協議会

開催日・場所	内容
7月4日（火） 総合庁舎特別会議室	「第73回目黒区社会を明るくする運動について」「令和5年度青少年の非行・被害防止全国強調月間について」等
10月6日（金） 総合庁舎特別会議室	「令和5年度青少年の非行・被害防止全国強調月間実施結果について」等
2月1日（木） 総合庁舎特別会議室	「令和6年度目黒区青少年育成基本方針（案）について」等

目黒区青少年問題協議会委員

(令和6年3月31日現在)

選出区分	氏名	推薦母体等	選出区分	氏名	推薦母体等
区職員等 (6名)	◆青木 英二	区長 副区長 教育長 区民生活部長 子育て支援部長 教育次長	学識経験者(16名)	村尾 勝利	区立小学校長会
	◇荒牧 広志			野口 芳一	区立中学校長会
	関根 義孝			関川佳月子	区立小学校PTA連合会
区議会議員 (2名)	上田 広美	生活福祉委員会 委員長 文教・子ども委員会委員長	三輪恵美子	天野 聡士	区立中学校PTA連合会
	田中 健二			依田 悦子	目黒体育協会
	榎本 達司			松澤 俊明	目黒区商店街連合会
関係行政 庁職員 (4名)	武藤まさひろ	目黒警察署長 碑文谷警察署長 品川児童相談所 長 東京保護観察所 目黒担当観察官	田中 道久	加藤 知子	目黒区産業連合会
	竹村 ゆうい			山本 弘美	東京私立中学高等学校協会
	宮本 英行			松川 卓	目黒区民生児童委員協議会
関係行政 庁職員 (4名)	林 哲也	目黒警察署長 碑文谷警察署長 品川児童相談所 長 東京保護観察所 目黒担当観察官	飯村 研一	小倉 恵子	目黒区保護司会
	岡野 安成			豊田 恭子	目黒区住区青少年部連絡会
	山下 藍紗			大塚 経子	目黒防犯協会
				小倉 恵子	目黒区青少年委員会
				飯村 研一	目黒区少年団体連絡協議会
				豊田 恭子	碑文谷防犯協会
				大塚 経子	目黒母の会

◆会長 ◇副会長 (事業開始：昭和29年6月)

(2) 住区青少年部連絡会

青少年育成基本方針に基づき、住区青少年部代表者相互の連絡調整、緊密化を図るために設けられています。地域の青少年健全育成活動についての情報交換等を行いました。

開催日・場所	内容
7月11日(火) 青少年プラザ	第1回 青少年問題協議会の報告、住区行事実施予定の情報交換等
10月24日(火) 青少年プラザ	第2回 青少年問題協議会の報告、住区行事実施予定の情報交換等
2月27日(火) 青少年プラザ	第3回 青少年問題協議会の報告、住区行事実施予定の情報交換等

(事業開始：平成元年10月)

(3) 健全育成関連事業

青少年の健全育成に関する事業として、次の事業を実施しました。

実施日	場 所	内 容	参加人数
8月18日(金)～20日(日)	気仙沼市	中学生の自然体験	10
※事業再開に向け、実地踏査とオンライン会議を実施	角田市内ほか	青少年交流 都市・農村相互の体験の機会提供として小学生を派遣	—
11月18日(土)	青少年プラザ	青少年健全育成事業「身近にしていこう、お金のこと」	12
1月8日(月・祝)	めぐろパーシモンホール	「二十歳のつどい」 お祝いのことば、二十歳のことば等	1,033
1月28日(日)	中目黒住区センター	青少年社会貢献表彰 被表彰者3団体及び個人10人	36
※事業再開に向け、オンライン会議を実施	目黒区内ほか	青少年交流 都市・農村相互の体験の機会提供として角田市の小学生を受け入れ	—

#### (4) 青少年委員

青少年委員は、住区住民会議を推薦団体とし、32人を委嘱しています。

区内の学校、PTA、住区住民会議、町会自治会、青少年団体等との連携を図りながら、青少年の健全育成に活躍しています。

#### 目黒区青少年委員

(令和6年3月31日現在)

推薦住区	氏名		推薦住区	氏名	
駒場	亀ヶ谷 尚也	—	鷹番	三田 春彦	二見 あかね
菅刈	土方 武	松川 卓	月光原	和田 俊介	井上 佳代子
東山	狩俣 照代	諸我 忠明	向原	三輪 恵美子	—
烏森	峰尾 聖志	一見 貴重	碑	安藤 啓一	太田 雅文
中目黒	平野 幸恵	—	原町	小倉 恵子	—
田道	宗方 洋子	川原 崇史	大岡山東	小藤田 将也	—
下目黒	日下 友之	大嶺 真吾	大岡山西	入江 正	—
不動	—	—	中根	櫻井 志津	—
上目黒	—	—	自由が丘	島添 奈緒子	中村 孝人
油面	田面 伸明	舘野 ゆかり	八雲	村上 浩子	—
五本木	月足 元子	後藤 友子	東根	長岡 弘志	金井 有希子

#### 青少年委員活動状況

実施日	会場	活動内容
5月7日(日)	中央体育館	「わんぱく相撲目黒区大会」協力
6月25日(日)	東京都青梅市	視察研修 (御岳山、青梅鉄道公園)
11月3日(金)	五本木小学校	「子ども会交流会」協力
1月8日(月・祝)	めぐろパーシモンホール	「二十歳のつどい」協力

(事業開始：昭和40年4月)

#### (5) 「こども110番の家」事業の推進

子どもたちが犯罪や事故などによる身の危険を感じたときに緊急避難できる場として、「こども110番の家」事業を推進しています。目黒区生活安全対策協議会の提唱により、区・教育委員会や警察署がPTA、住区住民会議、防犯協会などとともに、在宅機会の多い家庭や商店などの協力を得て、地域ぐるみで子どもの安全を守るために取り組んでいます。

教育委員会では、事業の普及・啓発、ステッカーの作成・配布や、協力家庭等の万一の事故に備えた見舞金制度の整備等を行っています。また、区有施設や私立幼稚園に「こども110番の家」の参加を呼びかけました。

協力家庭等 1,775軒 (令和6年3月31日現在)

(事業開始：平成12年7月)

#### 4 学校施設使用(教室)

目黒区立学校施設使用条例に基づき、学校教育に支障がない場合における社会教育その他公共の目的のための教室使用について、次のとおり使用を承認しました。

##### (1) 小学校

学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)	学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)
			区又は 官公署	その他					区又は 官公署	その他	
八雲	0	29	0	29	0	田道	0	70	46	24	0
菅刈	0	4	1	3	0	月光原	0	72	68	4	0
下目黒	0	51	0	51	0	駒場	0	56	0	56	0
碑	0	2	0	2	0	緑ヶ丘	2	14	2	12	1,000
中目黒	0	16	2	14	0	原町	1	9	4	5	500
油面	1	28	3	25	1,000	不動	0	0	0	0	0
大岡山	0	0	0	0	0	上目黒	0	3	0	3	0
烏森	0	6	0	6	0	東根	0	93	0	93	0
向原	0	114	62	52	0	中根	0	0	0	0	0
五本木	0	88	1	87	0	宮前	0	116	93	23	0
鷹番	1	10	0	10	600	東山	0	4	0	4	0
						計	5	785	282	503	3,100

##### (2) 中学校

学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)
			区又は 官公署	その他	
第一	0	4	4	0	0
第七	0	2	1	1	0
第八	0	0	0	0	0
第九	0	3	2	1	0
第十	0	0	0	0	0
第十一	0	0	0	0	0
東山	0	0	0	0	0
目黒中央	0	0	0	0	0
大鳥	0	0	0	0	0
計	0	9	7	2	0

(事業開始：昭和39年度)

## I 生涯学習の推進

### 1 生涯学習実施推進計画

(平成5年6月策定、平成10年5月改定、平成15年3月改定、平成20年3月改定、平成27年3月改定、令和4年3月改定)

#### ○計画の目的

目黒区におけるこれまでの生涯学習施策の実施状況や課題、区民の生涯学習に関する意識などに留意しつつ、区民一人ひとりが生き生きと主体的に学び、その成果や経験を地域社会に生かすことができる生涯学習社会の実現に向けて、関連施策をさらに計画的かつ重点的に推進していくことを目的としています。

#### ○計画期間 令和4年度から令和8年度まで

#### ○施策の方向

生涯学習を推進するため、4つの施策の方向を掲げ、それぞれの方向に合わせて施策を示しています。

- 施策の方向1 区民が学ぶきっかけとなる学習情報発信の充実  
 (施策) ① 学びの情報の提供  
 ② 身近な地域情報の提供
- 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実  
 (施策) ① 時代の変化に対応するための学習機会の提供  
 ② 自己実現のための学習機会の提供  
 ③ 課題解決のための学習機会の提供  
 ④ 誰一人として取り残さないための学習機会の提供  
 ⑤ 交流機会の提供
- 施策の方向3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実  
 (施策) ① 学習の場の提供  
 ② 自主活動の支援
- 施策の方向4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築  
 (施策) ① 地域人材の育成支援  
 ② 学びに関わるボランティアの育成支援

#### ○重点プロジェクト

生涯学習実施推進計画に掲げる施策をより一層効果的に進めるため、重要事項を「重点プロジェクト」として設定し、進捗管理を行うことにより、効果的な実施に努めていきます。

- ア 時代の変化に対応した主体的な学びの推進 (重点事業6事業)
- イ 地域に学び地域に生かす学び合いの好循環の環境の整備 (重点事業5事業)

### 2 生涯学習推進協議会の運営

生涯学習の推進について検討を行うとともに、生涯学習実施推進計画の改定に向け、施策に広く区民の意見を反映させていくことを目的として「目黒区生涯学習推進協議会」の運営を行っています。第14期委員の任期は、令和4年6月1日～令和6年5月31日です。

#### 生涯学習推進協議会

開催日・場所	内容
7月14日(金) 青少年プラザ	目黒区生涯学習実施推進計画(令和4年度～令和8年度)における事業調査結果について 他

第14期目黒区生涯学習推進協議会委員

(令和6年3月31日現在)

選出区分	氏名	選出該当団体・現職等	備考
区議会議員 (2)	竹村 ゆうい	文教・子ども委員会委員長	
	高島 なおこ	文教・子ども委員会副委員長	
学識経験者 (2)	藤井 穂高	筑波大学人間系教授	会長
	倉持 伸江	東京学芸大学教育学部准教授	副会長
社会教育関係団体 (2)	都並 美加子	目黒区社会教育団体連絡会	
	石塚 修次	NPO目黒体育協会	
社会教育関係団体を除く区内関係団体 (6)	坂本 悟	目黒区住区住民会議連絡協議会	
	田口 三千代	目黒区消費者グループ連絡会	
	松尾 佐知子	目黒女性団体連絡会	
	木村 茂子	目黒区竹の子クラブ連合会	
	財津 千秋	目黒区障害者団体懇話会	
	岡野 幸代	(公社) 東京青年会議所目黒区委員会	
区内教育機関 (5)	上小牧 真裕	私立幼稚園協会	
	龍花 千鶴	区立小学校長会	
	鴻野 祐子	区立中学校長会	
	田中 道久	東京私立中学高等学校協会第七支部	
	駒田 真由子	区内大学機関 (東京医療保健大学)	
区民 (3)	坪井 義和	公募委員	
	大平 由美子	公募委員	
	土倉 大尚	公募委員	

### 3 大学等教育機関との連携講座

教育機関の専門的な知識・技術の集積を活用し、地域住民に学習の機会を提供するために区内及び近隣地域の教育機関との連携講座を平成21年度から実施しています。

令和5年度は東京工業大学、東京医療保健大学、放送大学、筑波大学附属駒場中学校・高等学校、東京音楽大学、東京大学と連携講座を実施しました。

実施校	開催日時	講座名	講師（敬称略）	参加者数
東京工業大学	10月22日（日） 13:30～15:00	大学の基礎研究からベンチャー起業へ～熱伝導率測定と新素材開発	東京工業大学名誉教授 橋本 壽正	24
	3月16日（土） 13:30～15:00	ニューダイヤモンド～新しい炭素材料の魅力	東京工業大学科学技術創成研究院長 大竹 尚登	29
東京医療保健大学	11月25日（土） 13:30～14:30	「診療看護師（NP）ってどれですか??」にNPがお答えします	東京医療保健大学東が丘看護学部助教 関口 奈津子	10
	11月25日（土） 15:00～16:00	心をそっと後押しして 良い健康行動を	東京医療保健大学東が丘看護学部講師 駒田 真由子	8
放送大学	10月29日（日） 14:00～16:00	医療者がアタマの中で進めていること～臨床推論・アセスメント（オンライン・モニター会場）	放送大学教授 山内 豊明	34
筑波大学附属駒場中・高等学校	11月11日（土） 13:30～15:30	つい人に教えたくなる樹木のはなし	筑波大学名誉教授 中村 徹 ほか	29
	1月13日・27日（土） 14:00～16:00	筆ペンでなぞる「いろは歌」	筑波大学附属駒場中・高等学校国語科教諭 杉村 千亜希	66
東京音楽大学	3月11日（月） 18:30～20:30	発音や口腔のワークで柔軟な身体～だれでも知っておきたい「カラダ」のこと～	東京音楽大学非常勤講師 長井 芽乃	96
東京大学	5月27日（土） 14:00～16:00	ワークショップ ウィリアム・ホガースの版画を使って人文学研究の発想や手法を体験する	「ジブン×ジブン」代表 原田 央 ほか	10
	3月2日（土） 10:30～12:00	東大駒場地区キャンパスツアー	東京大学駒場博物館助教 折茂 克哉	27

## II 社会教育

社会教育行政の役割は、区民の様々な学習活動の振興を図るための条件整備をすることです。具体的には、

- ①社会教育団体に対する活動の場の提供
- ②各種学級講座の開設等による区民に対する学習機会の提供
- ③指導者派遣や相談等による社会教育団体への援助
- ④文化活動の推進及び文化財の保護

と大きく4つの役割があります。

### 1 社会教育委員

社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、これらに必要な研究調査等を行うために社会教育法に基づき設置するものですが、第15期委員の任期（平成26年6月25日から平成28年6月24日まで）満了後は、委員の委嘱をしていません（令和6年3月31日現在）。

### 2 学習の場の提供

区が提供している社会教育の学習の場には、社会教育館（東山・目黒区民センター・中央町・目黒本町）と緑が丘文化会館及び青少年プラザがあります。

また、集会施設予約システムの整備を行い、平成19年3月1日申込受付開始分から、インターネットを利用した施設予約システムを導入しています。

#### 曜日別利用状況

(単位：件)

施設 曜日	東山 社会教育館	目黒区民センター 社会教育館	中央町 社会教育館	目黒本町 社会教育館	緑が丘 文化会館	青少年 プラザ	計
平日	1,999	1,579	2,008	2,054	3,607	1,590	12,837
土日	1,126	1,214	1,355	1,258	2,115	1,768	8,836
祝日	100	120	87	109	176	97	689
計	3,225	2,913	3,450	3,421	5,898	3,455	22,362

※月曜日は休館、青少年プラザのみ月曜日及び第2木曜日休館

#### 利用団体別利用状況

(単位：件)

施設	区分	登録団体	区行政利用	他の登録団体	一般利用	合計
東山社会教育館		2,253	227	119	626	3,225
目黒区民センター社会教育館		2,113	174	108	518	2,913
中央町社会教育館		2,070	369	399	612	3,450
目黒本町社会教育館		2,551	232	136	502	3,421
緑が丘文化会館		3,708	253	17	1,920	5,898
青少年プラザ		535	1,127	1,127	666	3,455
合計		13,230	2,382	1,906	4,844	22,362

## 部屋別利用状況

部屋	東山社会教育館			目黒区民センター社会教育館			中央町社会教育館		
	室	件数	利用率	室	件数	利用率	室	件数	利用率
レクホール	1	688	74.7	1	707	76.8	1	700	76.0
調理室	1	220	23.8	1	159	17.3	1	150	16.2
和室	1	339	36.8	1	323	35.1	1	485	52.6
美術室	—	—	—	1	415	45.1	—	—	—
音楽室	1	624	67.8	—	—	—	1	493	53.5
研修室	3	1,354	49.0	3	1,309	47.4	5	1,622	35.2
計	7	3,225	50.0	7	2,913	45.2	9	3,450	41.6
部屋	目黒本町社会教育館			緑が丘文化会館			青少年プラザ		
	室	件数	利用率	室	件数	利用率	室	件数	利用率
レクホール	1	627	68.0	2	1,228	79.6	2	1,317	76.2
調理室	1	232	25.1	1	109	11.9	1	130	14.8
和室	1	456	49.5	2	939	51.3	4	511	26.8
美術室	—	—	—	1	356	38.9	1	339	38.7
音楽室	—	—	—	1	517	82.4	1	445	50.8
研修室	4	2,106	57.1	6	2,749	52.8	2	713	27.1
計	7	3,421	53.0	13	5,898	53.5	11	3,455	39.1

### 3 学習機会の提供 ー学級・講座ー

区民の多様な学習要求に応えるとともに、学習志向を高め、物事を科学的・合理的に考える力を養い、地域社会の文化活動を促進するため、各種の講座を開催しました。

#### (1) 委託による講座等

家庭教育講座を各小・中学校のPTAに運営を委託して実施しました。また、国際化する社会の中で、国際理解を深め、ユネスコ活動の啓発を図るために、語学教室・日本語講座等を目黒ユネスコ協会に委託して実施しました。

#### 小学校家庭教育講座

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
八雲小学校	1	11月29日(水) 11:00~13:00 (八雲小学校)	C	これからの時代の子育て～ 学力を超える大切な力とは	花まる学習会 代表 高濱 正伸	60
菅刈小学校	1	9月9日(土) 14:00~16:00 (菅刈小学校・オンライン)	C	これからの社会を生きる子どもたちのために親ができること 学校ができること	横浜創英中学・高等学校長 工藤 勇一	70
碑小学校	1	7月7日(金) 10:00~12:00 (オンライン)	C	夏休み 親子で自己肯定感を育もう！！	ママの勇気づけメンタルコーチ 高島 裕子	57
中目黒小学校	1	1月14日(日) 10:00~12:00 (中目黒小学校)	A	あと伸びする子の家庭の習慣	花まる学習会 相澤 樹	9
油面小学校	1	11月26日(日) 10:00~12:00 (油面小学校・オンライン)	B	「ネット」「ゲーム」これはやり過ぎ？たんなる熱中？それとも依存？	児童精神科医 関 正樹 ほか	45

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
大岡山小学校	1	10月21日(土) 10:00~11:30 (オンライン)	C	叱らなくても子どもは伸びる～ゲーム・スマホ・勉強・しつけ等目から鱗の子育て～	教育評論家 親野 智可等	57
烏森小学校	1	9月23日(土) 10:00~12:00 (烏森小学校)	B	お金教育は、親から子への生きる力のプレゼント	SAKU株式会社 代表取締役 竹谷 希美子	30
向原小学校	2	11月18日(土) 10:00~12:00 (向原小学校)	A	普通って何? 発達障害って何?	アナウンサー 赤平 大	27
		2月10日(土) 13:30~15:30 (向原小学校)	A	何かに「困っている?」子ども	植草学園短期大学特別教授 佐藤 慎二	20
五本木小学校	1	11月19日(日) 10:00~12:00 (五本木小学校)	A	親子で過ごす時間が心と身体を育む	湘南 GoldenAge アカデミーヘッドコーチ 草柳 尚志	60
鷹番小学校	1	9月29日(金) 10:00~12:00 (オンライン)	B	旅する読書～本から始まる素敵な世界	花まる学習会 平沼 純	25
田道小学校	1	9月30日(土) 10:00~12:00 (田道小学校)	A	子育てのエッセンスを心理学から学ぶ	スクールカウンセラー 田中 典子	20
月光原小学校	1	12月7日(木) 15:30~17:30 (月光原小学校・オンライン)	C	これからの時代の子育て～学力を超える大切な力とは	花まる学習会 代表 高濱 正伸	60
緑ヶ丘小学校	1	7月18日(火) 11:00~13:00 (緑ヶ丘小学校)	C	激動の時代に生きる子どもたちに 今何が必要か?～ゲーム・スマホ・勉強・しつけ等目から鱗の子育てと家庭教育	教育評論家 親野 智可等	30
原町小学校	1	10月14日(土) 10:00~12:10 (原町小学校・後日ビデオ配信)	B	子どもの性を育てる家庭とは～小学生の子を持つ保護者に聞いてほしいわかりやすい性教育～	性教育・セクソロジー専門家 村瀬 幸浩	35
不動小学校	1	9月23日(土) 10:00~12:00 (不動小学校)	A	AI なんかに負けないぞ～発想力の共育法～	KIT 虎ノ門大学院教授 三谷 宏治	32
上目黒小学校	1	10月14日(土) 9:15~11:30 (オンライン)	C	子どもが生きる力をつけるために親ができること	横浜創英中学・高等学校長 工藤 勇一	30

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
東根小学校	2	10月26日(木) 11:30~13:30 (東根小学校)	B	食べ物で作られるココロと カラダ~体内時計に合わせた 時間栄養学を取り入れよう~	栄養職員 茅島 綾子	67
		11月28日(火) 10:00~12:00 (東根小学校)	A	「ことば力」のある子は必ず 伸びる!~自己肯定感を育てる コミュニケーション	NPO法人JAMネットワーク代表 高取 しづか	40
中根小学校	1	11月11日(土) 12:00~14:00 (中根小学校)	A	音楽教育は子どもの「役に 立つ」のか	㈱プロジェクト会長 西澤 健一	140
宮前小学校	1	11月28日(火) 10:00~12:00 (宮前小学校)	C	「心配」から「信頼」へ~ 親子の自己肯定感を育む コミュニケーション~	株式会社ビリーブハート 代表 三橋 亜希子	18
計19校	21					932

※A 子どもの成長発達を理解 B 子どもをめぐる家庭教育の課題 (事業開始:昭和41年度)  
C 現代の家庭と保護者 D 地域社会と子どもの成長発達

#### 中学校家庭教育講座

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
第十中学校	1	10月4日(水) 13:00~15:00 (第十中学校)	C	スマホ・SNSにおけるトラ ブルの防ぎ方	ITジャーナリスト 高橋 暁子	33
東山中学校	1	9月30日(土) 14:00~16:00 (東山中学校)	B	激動の時代に生きる思春期 中学生の親にできることと は?	教育評論家 親野 智可等	32
計2校	2					65

※A 思春期の心の発達 B 中学生がいる家庭や保護者のあり方 C 中学生と地域社会 (事業開始:昭和45年度)

ユネスコ活動

事業名		日時・会場・回数	講師（敬称略）	参加者数	延べ参加者
国際文化交流講座	語学教室	インドネシア語初級講座 10月4日(水)～1月24日(水) 9:30～11:30 中央町社会教育館 (全15回)	JICAインドネシア語講師 クスワン・ムリアント	14	175
	語学教室	フランス語初級講座 11月2日(木)～3月7日(木) 10:00～12:00 中目黒住区センター会議室 (全15回)	聖心インターナショナルスクール講師 クロード・アンヌ・伊藤	30	332
	文化講座	タイ国の工業とSDGsに関して 10月21日(土) 14:00～16:30 緑が丘文化会館	駐日タイ王国大使館 キッティパン・バンイーカン公使 ほか	45	
		世界の味文化紹介～「韓国料理の魅力を学び、韓国の家庭料理を作ろう」 12月16日(土) 12:00～14:30 緑が丘文化会館	専門学校講師 ジ・ミンジョン	25	
		日本酒の文化とその魅力について 1月20日(土) 10:00～12:00 中目黒GTプラザホール	元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使 門司 健次郎 ほか	76	
	美術教室	1200年の伝統、日本刺繍・紹刺しを学ぶ 2月2日(金)～3月8日(金) 14:00～16:00 緑が丘文化会館 (全5回)	紹刺し作家 黒川 明子	24	106
日本語講座	在日外国人対象日本語講座 「初めて習う日本語」 9月5日(火)～12月5日(火) 10:00～12:00 中央町社会教育館 (全26回)	目黒ユネスコ協会日本語教育担当教員	14	175	
国際交流ひろば	小田原日帰りバスツアー 2月14日(水) 8:30～17:30 目黒川舟入場集合			77	
サイエンス教室	空間を多角形で埋め尽くそう！ 8月6日(日) 14:00～16:00 中央町社会教育館	早稲田大学名誉教授 広中 由美子	11		
	LEDコマを回そう！ 12月3日(日) 14:00～16:00 五本木小学校	アマチュア無線技士 内田 裕之	22		
	ロボットプログラミング教室 2月23日(金・祝) 14:00～16:00 緑が丘文化会館	東京地下鉄株式会社企業価値創造部 山崎 匠	21		
育成事業 青少年	ユネスコ青少年フェスタ 12月17日(日) 10:00～16:00 中目黒GTプラザホール	青少年によるSDGs学習発表、伝統芸能披露等 (後日ユネスコHPでYouTube配信)	61		
計				420	1,126

(事業開始：教養講座…昭和37年度、昭和57年度～国際文化交流講座  
日本語講座・国際交流ひろば…昭和63年度、理数教室…平成22年度)

## (2) 社会教育館等での講座等

社会教育館等では、地域の特性を生かしつつ、各種の講座等を開催しました。

また、社会教育館等をより利用しやすく、親しまれる施設とするために、相互に考え交流し合う場として利用者懇談会及び館まつりを実施しました。

### 東山社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月18日～ 7月9日 14:00～ 16:00	日	3	アメリカ文学と人権	立教大学文学部教授 舌津 智之	20	99	40	89	75.4
9月8日～ 10月13日 14:00～ 16:00	金	6	地域サークル講座 「心と身体がやわ らぐ気功・太極 拳」	世界気功科学研究所 金 燦	20	54	18	76	82.6
11月11日～ 11月21日 10:00～ 12:00	土	3	プラスチックごみ からSDGsを考える	上智大学大学院 地球環境学研究所教授 織 朱實 区清掃リサイクル課 係長	20	17	15	31	77.5
2月10日～ 2月24日 14:00～ 16:00	土	3	人生100年時代～ シニア世代の過 ごし方	筑波大学人間系教授 山田 実 金融広報アドバイザー 豊田 眞弓	20	54	40	85	70.8
計					80	224	113	281	

### 目黒区民センター社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月24日～ 7月1日 14:00～ 16:00	土	2	幼児の救命・応急 手当講座	特定非営利活動法人 シーボウル海の教室 中村 智子	20	28	28	42	75.0
10月5日～ 11月2日 10:00～ 12:00	木	4	地域サークル講座 「3B体操ではつ らつとした毎日 を！」	公益社団法人日本3 B体操協会 公認指導者 指導員 坂井泰子	20	19	18	59	81.9
2月18日～ 3月3日 10:00～ 12:00	日	3	それ差別ですよ - 差別する心はどう して生まれるか？	弁護士 田島正広 演出家 遠藤隆之介 社会福祉協議会 辰巳ヒロミ 区人権政策課 係長	20	22	21	43	68.3
計					60	69	67	144	

中央町社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
8月19日～ 9月2日 10:00～ 12:00	土	2	5.6歳児のこころ の育ちと親のかか わり	昭和女子大学大学院 生活機構研究科 特任教授 藤崎 春代	20	25	25	37	74.0
9月14日～ 10月26日 10:00～ 12:00	木	6	地域サークル講座 「中高年のための ダンス講座」	子りすの会 藤井 友美	20	33	16	72	75.0
11月15日～ 11月29日 13:30～ 15:30	水	3	初心者のためのス マホ活用術	NPO法人 竹箒の会 副理事長 橋詰 信子	20	56	19	52	91.2
3月2日 10:00～ 12:00	土	1	楽しくやさしく学 ぶ！手編み体験講 座	ニット衣装デザイナー 坂根 敦子	16	96	16	15	93.8
3月2日～ 3月9日 13:30～ 15:30	土	2	新五千円札の顔、 女子教育の先駆者 『津田梅子』の生 涯	津田塾大学 学長 高橋 裕子	30	66	30	49	81.7
計					106	276	106	225	

目黒本町社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月9日～ 9月8日 10:00～ 12:00	金	6	地域サークル講座 「茶道の楽しみ表 千家」	表千家講師 丸山 弘美	20	58	19	87	76.3
8月26日～ 8月27日 13:30～ 15:30	土 ・ 日	2	読み書きのベース となる力を伸ばす 勉強法	こどもとかぞくの サポートルーム KNOT 馬場 悠輔 ほか	20	17	16	20	62.5
10月5日～ 10月19日 13:30～ 15:30	木	3	建築物の楽しみ方 ー円融寺・碑文谷 八幡宮・古民家・ サレジオ教会を訪 ねてー	ものづくり大学技能 工芸学部建設学科 佐々木昌孝	25	72	25	65	86.7
1月21日～ 1月28日 10:00～ 12:00	日	2	避難所生活で「あ なた」と「家族」 を守るためにー高 齢者・障がい者・ 女性などの視点か らー	埼玉大学ダイバーシ ティ推進センター准 教授 瀬山紀子 ほか	20	10	10	14	70.0
計					85	157	70	186	

緑が丘文化会館

期間 主な時間	主な曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数	出席率
6月7日～ 6月28日 18:30～20:30	水	4	地域サークル講座 「Enjoy!クラシック ギター～基礎から合 奏までを楽しむ」	日本教育ギター連盟 関東学校指導部長 小田川 欣市	20	26	23	72	76.1
8月23日 10:00～11:30	水	1	東工大生と一緒に つくろう！工作教 室 2023	東工大 Science Techno 出張科学教室	30	50	26	26	92.3
8月23日 13:30～15:00	水	1			30	25	25	25	96.0
8月24日 10:00～11:30	木	1			30	23	22	22	95.5
8月24日 13:30～15:00	木	1			30	17	13	13	92.3
9月3日～24日 10:00～12:00	日	4	楽しい初めての色 鉛筆画	現代色鉛筆協会委員 福島 のりこ	20	69	23	66	71.7
10月28日～ 11月11日 10:00～12:00	土	2	現代の紛争	NHK 報道局記者 別府 正一郎	30	73	71	125	88.0
12月2日～ 12月9日 10:00～12:00	土	2	クリスマスイルミネ ーションの光のアル ゴリズムを学ぼう	PCN 秋葉原代表 木下 雄司 ほか	30	30	30	30	76.6
計					220	313	233	379	

青少年プラザ

期間 主な時間	主な曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数	出席率
5月28日～ 3月10日 10:30～12:30	日	21	ステップアップ講 座～生活学習～	生活学習講師 久保田 隆志 ほか	40	20	20	375	89.9
6月17日～ 12月2日 10:00～12:00	土	10	中学生のサイエン スクラブ	東京大学学生 院生・ 元中学校教諭 ほか	18	43	18	120	66.7
5月27日～ 7月22日 10:00～12:00	土	5	小学5年生の理系 入門（前期）	気象予報士集団パス カル 区職員 (株) mathchannel	18	136	18	59	67.8
10月7日～ 12月9日 10:00～12:00	土	5	小学5年生の理系 入門（後期）		18	36	18	74	82.2
6月11日～ 3月17日 14:00～16:00	日	25	クリエイターズプ ロジェクトめぐろ	合同会社 Active Learners 共同代表 米元 洋次 ほか	20	46	20	308	72.5

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師（敬称略）	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
10月8日・ 11月26日 13:30～15:30	日	2	ステップアップ講 座～文化サークル ～	有限会社 劇団朋友 西海 真理 ほか	20	15	15	25	83.0
10月22日・ 1月14日 13:30～15:30	日	2	ステップアップ講 座～運動サークル ～	株式会社 SCJ 角崎 晃司 ほか	20	18	18	34	94.0
12月2日 10:00～12:00 13:30～15:30	土	2	理数教育体験学習 事業「なぞとき！ 暗号解読大会」	東京大学謎解き制作 団体 AnotherVision 吉池 克 ほか	各 24	107	39	39	81.3
11月18日 13:30～15:00	日	1	青少年健全育成事 業「身近にしてい こう、お金のこ と」	一般社団法人日本金 融教育推進協会 代 表理事 横川 楓	20	21	16	12	75.0
12月16日 10:00～12:00 13:00～15:00	土	2	見た目の基準って 誰が決めるの？～ 社会の中のルッキ ズム	東京理科大学教授 西倉 実季 ほか	20	15	11	21	73.3
2月10日・ 17日 10:30～12:00	土	2	身近なお店から見 えてくる、地域の 魅力	株式会社よねづ（文 化浴泉） 米津 幸司 ほか	20	18	18	30	80.0
2月6日・ 24日・3月 5日 19:00～21:00	火	3	あなたの『なか め』をシェアしよ う～スマホ写真講 座～	株式会社エチカ代表 矢島 直美	15	6	6	16	88.9
計					277	481	217	1,113	

#### 利用者懇談会・館まつり等

会場	利用者懇談会	館まつり	その他
	開催日・参加団体数等		開催日・参加人数等
東山社会教育館	3月2日(土) 6団体(6人)	11月4日(土)・5日(日) 22団体	
目黒区民センター 社会教育館	2月24日(土) 17団体(17人)		
中央町社会教育館	3月17日(日) 16団体(16人)	3月2日(土)・3日(日) 19団体	
目黒本町社会教育館	2月24日(土) 24団体(24人)	11月11日(土)・12日(日) 22団体	
緑が丘文化会館	3月16日(土) 19団体(22人)	3月10日(日) 27団体	陶芸団体懇談会 11月29日(水) 4団体 9人
青少年プラザ	3月16日(土) 5団体(7人)	2月3日(土) 2月4日(日) 17団体	

## 4 団体育成・援助

団体活動の充実・発展に資することを目的として、団体の行う各種研修会や大会・つどい等に指導者・講師の派遣等により援助しました。

社会教育関係団体の登録数は次のとおりです。

### 社会教育関係団体登録数

(令和6年3月31日現在)

設 区分	施 東山 社会教育館	目黒区民センター 社会教育館	中央町 社会教育館	目黒本町 社会教育館	緑が丘 文化会館	青少年 プラザ	計
青少年団体A	0	1	1	0	0	4	6
青少年団体B	35	18	23	41	37	40	194
成人団体	87	107	146	156	169	49	714
計	122	126	170	197	206	93	914

(事業開始：昭和36年度)

※青少年団体Aは会員全員が18歳以下で構成されている団体、青少年団体Bは会員の半数以上が30歳以下で構成されている団体、成人団体は青少年団体A及び青少年団体Bに該当しない団体

### (1) 団体育成

#### ア 団体育成(青少年)

区内で全域的な組織をもつ青少年団体(ボーイスカウト目黒区協議会・目黒区子ども会連合会等)が主催する交流事業のほか青少年健全育成団体による自然体験活動を援助しました。

事業名	実施日・会場	内容	参加者数
青少年健全育成団体自然体験活動支援事業	7月23日(日)～8月20日(日) 篠沢大滝キャンプ場ほか2か所	青少年健全育成団体を支援するために、夏季に自然体験活動を行う3団体に貸切バスを提供した。	111
目黒区ボーイスカウトフェスティバル(山手地区ラリー)	11月3日(金・祝) 八雲小学校	運動会形式で各団体各部門の技能を競った。一般の方の見学、参加の方に配慮したプログラムとした。	231
子ども会交流会	11月3日(金・祝) 五本木小学校	各地域から参加者が集まり防災クイズ、リーダーとのゲーム、ダンスを行った。	230
計			572

## イ 団体育成（成人）

成人団体（目黒区女性学習グループ連絡会・目黒区婦人団体連合会）が主催する次の事業に対し指導者派遣等の方法により援助しました。

事業名		実施日・会場	内容	延べ参加者数
めぐろ学習グループ連絡会	合同研修会	10月28日（土）～12月16日（土） 男女平等・共同参画センター（4回）	「平和と人権」	90
婦人団体連合会	教養大学講座	9月6日（水）～10月11日（水） 緑が丘文化会館（6回）	「古典文学」源氏物語を読む	280
		9月9日（土）～11月25日（土） 緑が丘文化会館（6回）	社会学コース 社会を知る・憲法を知る	80
計				450

（事業開始：昭和43年度）

## ウ 申請社会教育学級

継続的学習を行う自主的グループに、団体活動の発展を図ることを目的として、指導者等の派遣を行いました。

団体		団体数		当初会員数合計	延べ会員参加者数合計	延べ公募参加者数合計	延べ参加者数合計			
			新規							
未 満 の 団 体	結 成 後 5 年 の 団 体	社 会 教 育 関 係 団 体	青少年団体A （会員全員が18歳以下で構成）		0	0	0	0		
			青少年団体B （会員の半数以上が30歳以下で構成）		0	0	0	0		
			成人団体		5	(1)	63	1,139	41	87
			その他の団体		0		0	0	0	0
			小計		5	(1)	63	1,139	41	87
団 体	課 題 学 習	家庭教育について学習する団体		0	0	0	0			
		人権尊重について学習する団体		0	0	0	0			
		小計		0		0	0	0	0	
総計		5	(1)	63	1,139	41	87			

※「公募参加者数」は中途参加者・見学者数をいう。（）内は、新規団体数で内数（事業開始：昭和63年度）

## エ 生涯学習区職員派遣制度（区職員活用しま専科）

区の施策に関する、身近な問題から専門的な内容までの講座を用意して、区職員が区民の皆さんのもとに出向き、区の取組について話をしました。

実施回数 2回 参加人数 28人

## (2) 指導者育成

区内社会教育関係団体の指導的役割を担う方々を対象として、団体別に各種の研修を行いました。

### ア 青少年団体

目黒区子ども会連合会が主催する青少年団体の育成者、指導者、実技指導者の研修事業に対し、指導者派遣の方法により援助しました。

#### 青少年団体研修

事業名	実施日・会場	内容	講師	参加者数
子ども会班長・ジュニアリーダー研修会	5月21日(日)～ 2月18日(日) 延べ7回 鷹番住区センター 他	小学校4年生から高校3年生を対象に、子ども会活動の企画・指導技術・実際活動を習得した。	指導者 中元 文菜 ほか	延べ150
子ども会育成者指導者研修会	3月6日(水) 中央町社会教育館	子ども会で実践できる 工作 虹色ボード作り	指導者 安田 栞	12
子ども会班長ジュニアリーダー日帰り研修会	3月23日(土) 小川げんきプラザ (埼玉県比企郡小川町)	自然の中での集団生活で協力することの大切さを実感した。バウムクーヘン作りを行った。		15
計				177

### イ 成人団体

区内社会教育関係団体の指導的役割を担う方々を対象として、団体別に各種の研修を行いました。

小学校PTA連合会・中学校PTA連合会等に対し、会場提供等により支援しました。

	事業名	日時・場所	内容	講師・助言者	参加者
小学校PTA	全体研修会	5月13日(土) めぐろ学校サポートセンター	社会で役立つ「決める力」「伝える力」の共育法	KIT虎ノ門大学院 教授 三谷 宏治	95
	部会別ブロック研修会 5ブロック	アンケート実施	第1ブロック「コロナ後のPTAの運営について」	区立小学校長 区立小学校PTA会長 ほか	209
		アンケート実施	第2ブロック「コロナ禍後の学校行事、地域行事へのボランティア協力の在り方について」		
		9月27日(水) 五本木小学校	第3ブロック「PTA何が問題なのか、何がやめられるのか、何ができるのか」		
		6月12日(月)、 10月4日(水) 向原小学校	第4ブロック「運動会の反省及び夏のイベントに向けての情報共有」		
		9月23日(土) 緑ヶ丘小学校	第5ブロック「PTA活動事項の取り組み方の共有と気付き」		
	代表者研修会	9月9日(土) 中目黒住区センター	「子どもが主役 おとなも主役」	PTA会長代表 中目黒小学校 林 祐次 校長代表 東山小学校 村尾 勝利	36
部会別合同研修会	開催休止				

	事業名	日時・場所	内 容	講師・助言者	参加者
中学校 P T A	役員運営者 研修会	9月書面開催	「気持ちをあらたにPTA」		
	代表者研修 会	開催休止			
社会教育 関係団体 連絡会	リーダー後 継育成者研 修	11月19日（日）～ 12月3日（日） 中央町社会教育館（2回）	地域におけるサードプレ イスについて考える	放送大学教授 玉野 和志	30
計 9 事業					370

## 5 学習相談等

各社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザ、生涯学習課において、社会教育主事や社会教育指導員が学習に関する区民からの相談に応じています。

令和5年度は、来庁、電話、メールなどの方法で、『団体に入りたい』、『〇〇について学びたい』、『団体の会員を増やしたい』、『団体を作りたい』などの相談がありました。

### Ⅲ 図書館

#### 1 図書館の概要

区立図書館の基本は、全ての区民に開かれた施設、区民の自由な学習の場・憩いの場として、地域における生涯学習を推進し、多様化・高度化する学習に必要な資料・情報を的確に提供していくことにあります。また、少子高齢社会の中で、グローバル化や高度情報化の進展、インクルーシブ社会の形成に向けた取組など、直面する様々な課題や多様化する区民ニーズに適切に対応することが求められています。

区では、平成 14 年 9 月に開館した八雲中央図書館を中央館として図書館情報システムにより全 8 館の資料を有機的・効率的に統合し、区内全ての地域に図書館サービスを効果的に提供するための全域サービス網を構築しています。

また、平成 29 年 4 月に、区立図書館のあるべき姿・方向性を示す目黒区立図書館基本方針を策定し、令和 5 年 3 月には、新たな目黒区基本構想及び基本計画に合わせ、基本方針を改定しました。

#### 図書館施設の概要

図書館名	設立年月	所在地	位置付け	面積
八雲中央	平成 14 年 9 月	八雲 1-1-1	中央館	3,020 m <sup>2</sup>
大橋	昭和 45 年 4 月 (平成 25 年 2 月移転)	大橋 1-5-1	分館	1,168 m <sup>2</sup>
中目黒駅前	昭和 52 年 5 月 (平成 14 年 5 月移転)	上目黒 2-1-3	分館	383 m <sup>2</sup>
目黒区民センター	昭和 49 年 8 月 (平成 5 年 4 月改修)	目黒 2-4-36	分館	1,339 m <sup>2</sup>
守屋	昭和 27 年 4 月 (平成 3 年 2 月改築)	五本木 2-20-15	分館	1,282 m <sup>2</sup>
目黒本町	昭和 56 年 12 月	目黒本町 2-1-20	分館	1,005 m <sup>2</sup>
洗足	昭和 63 年 7 月	洗足 2-8-26	分館	517 m <sup>2</sup>
緑が丘	昭和 49 年 6 月 (平成 6 年 4 月改修)	緑が丘 2-14-23	分館	893 m <sup>2</sup>
計				9,607 m <sup>2</sup>

#### 図書館の貸出・閲覧サービス

個人貸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者…どちらにお住まいの方でも借りることができます。</li> <li>・登録手続き…申込書に記入のうえ、本人確認書類を提示していただきます。</li> <li>・貸出券…登録をした方に全館共通の貸出券を交付します。</li> <li>・資料の貸出…貸出点数は一人当たり 20 点以内、貸出期間は 2 週間です。</li> <li>・郵送貸出…図書・雑誌をご自宅に郵送します (送料自己負担)。</li> </ul>
その他の貸出・閲覧サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出…登録団体に対し、1 回に 300 点、3 か月間まで貸出可能です。</li> <li>・障害者サービス…図書館利用に障害がある方に自宅への配本・郵送サービスを行うほか、大活字本・声の図書等を各図書館で提供します。</li> <li>・複写サービス…所蔵資料を 1 人 1 か所につき 1 枚複写できます。</li> <li>・レファレンスサービス…読書支援 (資料検索等)、調査支援 (資料や情報検索等)、利用支援 (利用案内や検索方法の案内等)</li> <li>・相互協力サービス…区民の方を対象に、他区市町村立・都立・国立国会図書館の本を借用し、提供します。</li> <li>・おはなし会…絵本やかみしばいの読み聞かせをします。</li> <li>・図書館ウェブサイトや利用者用検索機 (さんまくん) を利用した蔵書検索、予約、利用状況の確認など。</li> <li>・インターネットパソコンの設置 (八雲中央・大橋・中目黒駅前図書館)</li> <li>・データベース、国立国会図書館のデジタル化資料閲覧及び複写 (八雲中央図書館)</li> <li>・国立国会図書館提供の歴史的音源の視聴 (八雲中央・大橋図書館)</li> <li>・めぐろ電子図書館…区民の方を対象に電子書籍を貸出します。貸出点数は一人当たり 2 点以内、貸出期間は 2 週間です。</li> <li>・閲覧席予約システム (八雲中央・大橋・目黒区民センター・守屋・緑が丘図書館)</li> </ul>

## 開館時間

(令和6年3月31日現在)

館		八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター 守屋・目黒本町 洗足・緑が丘
時 間 開 館	月曜 (第一月曜を除く。)	9:00～21:00	9:00～19:00	休館日	
	火曜から土曜	9:00～21:00	9:00～19:00	10:00～21:45	9:00～19:00
	日曜・休日	9:00～17:00		10:00～18:00	9:00～17:00
休館日	毎週月曜日(八雲中央図書館・大橋図書館は毎月第一月曜日)、年末年始、蔵書点検期間				

## 利用概要の推移

年 度	館 数	人 口	蔵 書 数	登 録 者 数	貸 出 者 数	貸 出 点 数	予 約 点 数	蔵 書 率	登 録 率	貸 出 密 度	実 質 貸 出 密 度
26	8	270,525	1,160,471	127,729	1,267,279	4,268,056	1,223,423	4.29	47.2	15.78	33.41
27	8	272,478	1,167,758	134,188	1,310,406	4,391,555	1,254,508	4.29	49.2	16.12	32.73
28	8	275,278	1,171,916	125,085	1,279,918	4,294,870	1,232,995	4.26	45.4	15.6	34.34
29	8	277,803	1,184,598	126,467	1,223,080	4,133,416	1,192,583	4.26	45.5	14.88	32.68
30	8	280,241	1,195,070	119,484	1,192,668	4,082,730	1,202,001	4.26	42.6	14.57	34.17
元	8	282,628	1,198,776	116,045	1,167,479	3,983,610	1,240,707	4.24	41.1	14.09	34.33
2	8	281,093	1,188,196	110,137	908,824	3,146,014	1,153,966	4.23	39.2	11.19	28.56
3	8	278,415	1,176,304	105,441	1,087,741	3,808,251	1,361,371	4.23	37.9	13.68	36.12
4	8	279,251	1,181,851	103,498	1,071,538	3,779,355	1,206,475	4.23	37.1	13.53	36.52
5	8	280,126	1,177,063	102,269	1,069,983	3,726,741	1,176,251	4.20	36.5	13.30	36.44

※・人口＝翌年度4月1日現在目黒区住民基本台帳人口

(住民基本台帳法の改正により外国人住民を含む。)

- ・登録者数＝区外在住者含む。一定期間未利用の登録者データを削除。
- ・蔵書率＝蔵書数／人口 (区民一人当たりの蔵書数)
- ・登録率＝登録者数／人口 (%) 登録者数は区外在住者を含む。  
(最新年度の目黒区民の登録率は、3個人貸出(2)登録に記載)
- ・貸出密度＝貸出点数／人口 (区民一人当たりの貸出点数)
- ・実質貸出密度＝貸出点数／登録者数 (登録者一人当たりの貸出点数)

## 2 図書館資料

図書館資料には、図書・雑誌・新聞のほか、CD・障害者サービス用資料などがあり、図書は約118万点を所蔵しています。図書館資料は全館共有の資料として、利用者が予約した資料を指定した図書館で受け取ることができるサービスを行っています。

この仕組みを支えるため、①図書館情報システムによる資料情報の一元的管理(目黒区立図書館資料総合目録)②利用者用検索機と図書館ウェブサイトを活用した資料検索と予約サービス③全館への速やかな資料の運搬(配本車の運行)の3点を整備しています。

令和5年度の購入資料数は、図書(一般・児童・外国語)44,898点、雑誌629誌、新聞47紙、障害者・高齢者向け資料321点となっています。

利用者のライフスタイルの多様化やDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展等により情報への要望も多様化しているため、資料の構成もこれに応じた整備が求められています。

また、区立図書館では平成29年12月から図書館資料の充実のために、指定寄付金(ふるさと納税)を活用して資料購入を行っています。令和5年度は、480万円を超えるご寄付をいただき、生涯学習や暮らしの安全に関する本として1,894冊を購入しました(購入金額合計4,859,006円)。

なお、令和2年度より図書除菌機を全館に設置しています。

## 資料所蔵状況

(令和6年3月31日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計	
図書	405,735	120,484	54,367	110,336	148,133	103,945	68,239	165,824	1,177,063	
内訳	一般	346,118	89,939	42,945	81,735	111,922	73,328	46,255	87,583	879,825
	児童	52,196	26,908	9,007	24,427	25,747	26,635	19,263	75,549	259,732
	コミック	3,138	2,120	1,527	1,666	2,204	2,524	1,567	1,223	15,969
	外国語	4,283	1,517	888	2,508	8,260	1,458	1,154	1,469	21,537
雑誌	277	96	65	142	108	116	96	110	1,010 (730)	
新聞等	86	18	14	38	20	20	17	29	242 (106)	
CD	2,894	2,571	1,996	18,148	3,289	2,296	1,902	2,947	36,043	
おもちゃ	51	11	12	113	10	219	60	10	486	

※雑誌、新聞等の合計数は、各館で重複所蔵しているものを含む。全館でのタイトル数は雑誌730誌、新聞106紙

## (1) 図書

図書の受入点数は51,843点、除籍点数は56,631点、令和6年3月31日現在の蔵書は全館あわせて1,177,063点で、前年に比べて4,788点(0.4%)の減少となりました。

蔵書の内訳は、一般書が全体の74.7%、児童書が22.1%を占めており、一般書の内訳では文学が32.6%を占めています。一般書と児童書の構成比、文学の割合は前年度とほぼ同様となっています。

## (2) 逐次刊行物(雑誌・新聞等)

逐次刊行物のうち、雑誌は全館で1,010部(730誌)を揃えています。新聞等は全館で242部(106紙)となっています。

## (3) 聴覚資料(CD)

CDは洗足図書館で昭和63年度から貸出を開始して以来、全館で貸出サービスを実施しています。

平成16年6月からCDの新規購入を取り止めています。令和6年3月31日現在の所蔵数は36,043組です。

## (4) おもちゃ

区立図書館では、昭和62年度よりおもちゃを所蔵し貸出をしています。令和6年3月31日現在の所蔵数は486点となっています。

## 3 個人利用

## (1) 利用状況

令和5年度は、前年度比で来館者数は約104%、貸出者数は約100%、貸出点数は約99%で、ほぼ同じ程度の利用状況となっています。

新型コロナウイルス感染症発生以前である令和元年度と令和5年度を比較すると、夜間時間帯の貸出者数の減少傾向があり、生活パターンの変化やリモートワークなど勤務形態の変化などの影響が考えられます。

貸出点数のうち、図書・雑誌が97.4%を占めており、CDは2.6%となっています。また、児童資料の割合は25.6%です。

個人利用の概要

(令和6年3月31日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計	
開館日数	344	346	307	306	306	306	307	306	2,528	
来館者数	424,009	298,967	205,400	165,123	162,710	140,047	103,132	214,234	1,713,622	
登録者数	29,033	14,877	12,807	11,670	9,096	8,879	5,891	9,326	101,579	
貸出者数	210,655	159,422	160,889	102,860	119,002	111,415	79,325	126,415	1,069,983	
同(1日平均)	612	461	524	336	389	364	258	413	3,357	
貸出点数	783,133	584,428	467,261	364,847	402,732	414,714	284,021	425,605	3,726,741	
内訳	図書雑誌	769,844	573,010	448,910	350,486	392,628	405,885	276,674	411,945	3,629,382
	聴覚資料	13,129	11,323	18,297	14,012	10,082	8,796	7,091	13,647	96,377
	その他	160	95	54	349	22	33	256	93	982
同(1日平均)	2,277	1,689	1,522	1,192	1,316	1,355	925	1,391	11,667	
予約点数	207,470	171,320	190,235	120,919	130,261	125,186	93,237	137,623	1,176,251	

(2) 利用登録

令和5年度末の登録者数は101,579人で、そのうち区内登録者は63,772人であり、区内の人口に対する登録率(区内登録者/区人口)は22.8%となっています。地区別の登録率では、八雲中央図書館と緑が丘図書館のある西部地区で25.5%、大橋図書館のある北部地区で25.4%と他の地区に比べ高くなっています。住区別の登録率では、大橋図書館に近い東山住区が34.2%、八雲中央図書館に近い八雲住区が28.9%、東根住区が27.4%と他の住区よりも高い登録率を示しています。

新規登録者数は15,764人と前年度の13,627人より約16%増加しております。しかし、5年以上貸出等を利用していない利用者の登録情報の削除を定期的に行っていることにより、全体の登録者数は減少しています。

住区別登録者数

(令和6年3月31日現在)

区分	登録者数	人口	登録率	区分	登録者数	人口	登録率		
北部	駒場	2,468	11,160	22.1%	南部	月光原	2,724	12,618	21.6%
	菅刈	2,432	11,946	20.4%		向原	1,645	10,461	15.7%
	東山	4,628	13,526	34.2%		碑	1,990	8,756	22.7%
	烏森	2,271	9,885	23.0%		原町	2,728	11,160	24.4%
	計	11,794	46,517	25.4%		大岡山東	1,637	7,272	22.5%
東部	中目黒	3,823	16,568	23.1%	計	10,724	50,267	21.3%	
	田道	2,600	13,096	19.9%	西部	大岡山西	2,471	11,108	22.2%
	下目黒	2,924	15,354	19.0%		中根	2,954	12,532	23.6%
	不動	2,869	13,261	21.6%		自由が丘	3,717	15,204	24.4%
	計	12,216	58,279	21.0%		八雲	3,791	13,099	28.9%
中央	上目黒	2,717	12,882	21.1%		東根	4,937	18,037	27.4%
	油面	2,674	13,401	20.0%	計	17,870	69,980	25.5%	
	五本木	2,698	11,714	23.0%	区内登録者	63,772	280,126	22.8%	
	鷹番	3,079	17,086	18.0%	区外登録者	37,807	-	-	
	計	11,168	55,083	20.3%	合計	101,579	-	-	

※人口=翌年度4月1日現在目黒区住民基本台帳人口

### (3) 予約・相互協力

#### ア 予約状況

予約点数は、前年度比 97.5%となっています。

また、全貸出点数に対する予約による貸出点数の割合は 31.6%です。

#### 図書館別・提供方法別件数

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
予約点数	207,470	171,320	190,235	120,919	130,261	125,186	93,237	137,623	1,176,251
提供点数	207,442	171,300	190,202	120,894	130,248	125,151	93,221	137,597	1,176,055
うち CD 等	4,809	5,019	10,627	6,608	3,438	2,775	2,944	6,227	42,447
返却待ち	204,713	169,590	187,912	119,619	128,782	123,621	92,128	136,070	1,162,435
借用	1,266	579	966	477	558	654	467	569	5,536
購入	1,463	1,131	1,324	798	908	876	626	958	8,084
未提供等	28	20	33	25	13	35	16	26	196

※比率：返却待ち 98.8%、借用 0.5%、購入 0.7%

#### イ 図書館相互協力

目黒区民の方を対象に相互貸借サービスにより資料を提供しています。他自治体の図書館との相互協力により、多様な資料要求に応じています。

他図書館への貸出実績は、前年度比 109.6%と増加しました。また、他図書館からの借受実績は、前年度比 93.2%と減少しました。

#### 資料貸出・借受の状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計	
貸出実績	15,985	0	0	0	0	11	0	0	15,996	
借受実績	1,266	579	966	477	558	654	467	569	5,536	
内訳	都立図書館	89	43	65	28	28	15	25	53	346
	国会図書館	8	0	0	0	0	3	0	1	12
	他図書館	1,169	536	901	449	530	636	442	515	5,178

#### (4) 閲覧席予約システム

令和 5 年 1 月 10 日から 5 館で閲覧席予約システムの運用を開始しました。1 回当たりの利用時間を区切ることで、より多くの方が閲覧席を利用できるようにしました。令和 5 年 7 月からは利用したい席の場所を利用者自身が指定できるよう運用を変更しました。

#### 令和 5 年度の利用回数

館	八雲中央	大橋	目黒区民センター	守屋	緑が丘	全館計
利用回数	55,560	32,815	7,255	2,706	12,958	111,294
対象席数	52	25	18	6	10	111

※対象席数には、八雲中央図書館のインターネット閲覧 3 席とデータベース閲覧 1 席、大橋図書館のインターネット閲覧 1 席を含む。

## 4 団体貸出

地域の登録団体に対して読書活動の推進及び調べ学習の支援を目的として団体貸出を行っています。令和5年度は登録団体に対して合計で42,319点の貸出を行いました。

そのうち、学校及び児童館・学童保育クラブ等に対しては、定期貸出（1年間貸出）として22,280点、調べ学習向けのテーマ別貸出（1か月間貸出）として3,135点の貸出を行いました。

### 登録団体内訳

（令和6年3月31日現在）

区分	団体数	区分	団体数	区分	団体数	区分	団体数
地域文庫	5	公共施設	47	幼稚園・保育園	71	企業	2
福祉施設・団体	11	民間施設	12	学校(調べ学習)	208	学校(定期団体貸出)	356
その他	41	計	753				

### 団体貸出の推移

（令和6年3月31日現在）

年度	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
登録団体	494	1,021	917	1,045	1,045	962	931	762	775	753
貸出点数	35,568	36,239	42,116	38,615	44,506	43,716	43,006	37,103	42,409	42,319

※平成27年度から学校（定期団体貸出）の区分について1学級につき1団体として登録を計上

## 5 めぐる電子図書館

令和3年7月から非来館型サービスとして、「めぐる電子図書館」を開設し、電子書籍の貸出・閲覧サービスを開始しました。令和5年1月には、図書館情報システムとの連携を行いました。図書館に登録をしている目黒区在住の利用者の方は、ご自宅のパソコンや、スマートフォンなどからインターネット経由で電子書籍の貸出・閲覧ができます。文字の拡大や音声読み上げなど電子書籍の特徴を活かせる資料を計画的に購入し、電子図書館に特集リストを掲載することにより、利用の促進を図っています。

登録者数が3年度に比べ、10倍近く大幅に増加しているのは、図書館情報システムとの連携によるものです。

また、電子図書館資料の充実を図るとともに、資料の長期保存や資料相談等の充実を目的として、地域資料14点（内訳：地図8点、図書6点）のデジタル化を行い、電子図書館上で公開しました。

### 電子図書館利用の推移

（令和6年3月31日現在）

年度	登録者数	貸出数	予約数	コンテンツ数
3	6,249	11,193	5,867	9,775
4	64,826	10,133	3,142	11,728
5	63,772	10,647	2,981	11,964

## 6 図書館利用に障害のある方々へのサービス

障害者や高齢者、文章を読むことが困難など、通常の図書館利用が困難な方々を対象に、昭和57年より障害者サービスを実施しています。サービス内容は、障害の内容に応じた資料の提供（録音・点字図書、布の絵本、大活字図書など）や、対面朗読、配本・郵送サービスがあります。

録音・点字資料の作成・対面朗読は、障害者サービス協力員の協力をいただき行っています。

図書館には、録音資料を作成するための録音室や、点字プリンタ、対面朗読室などがあり、障害者サービスのためにご利用いただいております（令和2年度から対面朗読は八雲中央図書館・目黒本町図書館のみ実施）。

他の図書館との相互協力では、サピエ図書館及び国会図書館を通して目黒区で作成した視覚障害者等用資料を全国の図書館や視覚障害者等の方にご利用いただいております。

また、全国の図書館で作成された音訳・点訳資料を借用し利用者に提供しています。

## (1) 資料

## 所蔵状況

(令和6年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌				マルチメディア デージー図書		点字 ・絵本 ・図書 ・雑誌	さわる 絵本 布の 遊具
	テープ・CD		デージー		目黒区 作成	購入・ 寄贈		
	目黒区作成	購入・ 寄贈	目黒区 作成	購入・ 寄贈				
所蔵数	1,105タイトル	415タイトル	630タイトル	245タイトル	0タイトル	226タイトル	309タイトル	184点
(受入数)	(0)タイトル	(0)タイトル	(18)タイトル	(68)タイトル	(0)タイトル	(4)タイトル	(50)タイトル	(0)点
計	1,520タイトル		875タイトル		226タイトル		309タイトル	184点

※録音図書＝著作権法の規定により、一般の図書等の活字資料を読むことができない方に限定して利用する目的で作成された録音資料

## (2) 登録

## 登録者の状況

(令和6年3月31日現在)

区分	登録者数	障害別内訳		
		視覚障害	肢体不自由	その他
個人	144人	57人	54人	33人
団体	31団体	—	—	—

※視覚障害と肢体不自由など障害重複6人

## (3) 利用

## ア 資料貸出

(令和6年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌		マルチメディア デージー図書	点字(絵本 図書雑誌)	さわる絵本 布の遊具
	テープ・CD	デージー			
貸出点数	0タイトル	3,374タイトル	17タイトル	63タイトル	54点

## イ 区外図書館、機関との相互貸借

(令和6年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌		点字図書 点字雑誌
	テープ・CD	デージー	
貸出	11タイトル	293タイトル	10タイトル
ダウンロード*1	—	5,290回	—
借用*2	0タイトル	3,222タイトル	1タイトル

\*1 サピエ及び国立国会図書館でのダウンロードで目黒区立図書館作成デージーが区外図書館、機関に利用された回数

\*2 借用はサピエ及び国立国会図書館からのダウンロードを含む。

\*マルチメディアデージーの区外図書館、機関との相互貸借の実績なし。

## ウ 個別サービス

(令和6年3月31日現在)

区分	配本	郵送貸出	対面朗読	音訳	点訳	拡大写本
利用数	延382回 2,194タイトル	2,306タイトル	延111回 222時間	20分	0枚	0枚

## 7 行事・催物

### (1) 利用者懇談会の開催

区民・利用者の声を図書館の事業運営に反映するため、利用者懇談会を毎年度開催しています。

	日 時	テーマ	開催場所	参加者数
第一回	令和5年7月6日(木) 午後6時30分～8時30分	八雲中央図書館バックヤード ツアーと懇談	めぐろパーシモン ホール小ホール	28人
第二回	令和5年11月11日(土) 午後2時00分～4時00分	八雲中央図書館バックヤード ツアーと懇談	八雲中央図書館会 議室	30人
第三回	令和6年3月23日(土) 午後2時00分～3時30分	今年度の図書館事業について	緑が丘文化会館研 修室	9人

### (2) 図書館行事の開催

#### ア おはなし会

各館では児童・乳幼児に対する絵本の読み聞かせを中心におはなし会を実施しています。読書活動が子どもの健やかな成長に不可欠なものであることから、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月に公布・施行)に基づき策定した「目黒区子ども読書活動推進のための方針」(平成16年2月策定、平成21年3月に改定)により、全ての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、読書のための環境の整備を推進しています。令和5年度は、おはなし会を全館で開催し、計251回開催し、延べ2,151人の参加がありました。

なお、大橋図書館では、隣接する天空庭園を活用し、4月から5月と11月に延べ4回の青空おはなし会を行い、多くの方にご参加いただきました。

#### イ 学校訪問

各館で開催するおはなし会とは別に、児童サービス担当者が小学校などに出張して行う出張おはなし会やブックトーク、図書館に関する講習会等を行っています。令和5年度はブックトークを1回行いました。

#### ウ 図書館訪問

区内の小学校及び中学校等の児童や生徒がクラスごとや学年ごとに近くの図書館を訪問し、見学、調べ学習等を行っています。令和5年度は、一部の館で15回受け入れました。

#### エ 職場体験

区内中学校及び区内在住の中・高等学校の生徒が地域での仕事を体験する職場体験を受け入れています。令和5年度は合計で49人の生徒を受け入れました。

#### オ 乳幼児サービス

平成27年度から目黒区保健所・碑文谷保健センターの育児学級(10・11カ月児)の中で、親子で楽しむ絵本のリーフレット・アドバイス集・バッグのセットを配布するとともに、「はじめての本とのふれあいタイム」として絵本の読み聞かせについてのアドバイスや実技を保護者向けにしていますが、令和4年度以降新型コロナウイルス感染症拡大防止のため育児学級の開催が中止されました。

このため、育児学級に参加した親子に配布していたリーフレット等は、令和4年2月より各図書館のカウンター等で0歳から2歳までの乳児の保護者に配布しました。

#### カ 再利用選定会

資料の有効活用に関する取組の一環として、区立図書館で除籍した児童資料(図書・絵本・紙芝居等)を区内児童施設、地域文庫等へ提供しているものです。令和2年度から4年度はコロナ禍のため中止しました。代わりに事前に申し込みのあった団体(区立施設のみ)に対して図書館職員が見繕った資料を各施設へ配送しました。

令和5年度は、除籍した児童資料のうち団体に提供可能な程度の良いものが少なかったことから、

利用選定会は中止し、申し込みのあった団体に配送しました。

合計で 29 団体から申し込みがあり、約 1,650 点を提供し、児童資料の有効活用を図りました。

#### キ 読み聞かせボランティアの育成

読み聞かせボランティアの育成・支援を目的として、絵本等の読み聞かせに関する講座を例年開催しています。令和 5 年度は、ボランティア活動に興味のある方を対象とした「読み聞かせボランティア活動のための講座」を 3 回、同講座に参加された方々を対象とした「読み聞かせボランティア活動のためのフォローアップ研修」を 1 回の計 4 回開催しました。

#### ク 中高生向け PR

YA 広報誌「OMAKE no いっぽ」は中高生に向けた本の情報などの内容をボランティアで編集・発行しています。例年は毎月編集会議を開催し、年 3 回発行していましたが、令和 4 年度以降活動を休止し、他の PR 方法を検討しました。

#### ケ 夏季休暇期間の各小・中学校の調べ学習支援

令和 2 年度から児童・生徒の調べ学習用ワークシートを作成し、図書館ウェブサイト上でワークシートのファイル、調べ学習支援用おすすめリスト等を掲載しました。

#### コ こどもの読書週間・夏季休暇期間・読書週間イベント

こどもの読書週間(4月23日から5月12日まで)、夏季休暇期間(7月20日から8月31日まで)、読書週間(10月27日から11月9日まで)の期間中に、各図書館で様々なイベントや特別展示を開催しました。

こどもの読書週間では簡単な工作付きのスペシャルおはなし会や青空おはなし会、夏季休暇期間では図書館クイズラリーや図書館バックヤードツアー、読書週間では利用者の要望に沿ったブックリストの作成、大人向けのおはなし会、利用者おすすめの作家の作品展示、本の玉手箱(セット貸出)などを行いました。

## 8 その他の事業

### (1) 図書館ウェブサイト及び利用者用検索機(さんまくん)

図書館ウェブサイトでは、図書館からのお知らせや利用案内、目黒区立図書館基本方針や沿革を掲載し、情報提供を行っています。また、図書館資料の検索や貸出等利用状況の確認ができます。

また、区内全 8 館に利用者用検索機(さんまくん)を計 47 台設置し、利用者が図書館資料を検索する際の利便性の向上を図っています。

図書館資料は、著者名や書名だけでなく図書や雑誌の目次等からも検索可能で、様々な項目やキーワードから目的の資料を探すことができます。また、出版情報の提供により、目黒区立図書館に所蔵していない図書も検索することができます。

### (2) レファレンスサービス(参考調査・資料相談等)

レファレンスサービスは、利用者が資料や情報を求める際に、図書館職員が援助するサービスです。

内容は、読みたい資料を探す際の読書支援、資料や情報検索等の調査支援、利用案内や検索方法の案内等の図書館の利用支援があります。

区ではレファレンスサービスを、図書館業務の中で重要なサービスと位置付けていることから、全館に資料相談窓口、八雲中央図書館に資料相談専用電話を設け常時相談に応じています。

また、八雲中央図書館(設置台数 3 台)、大橋図書館(設置台数 1 台)及び中目黒駅前図書館(設置台数 2 台)には、インターネットに接続したパソコンを設置し、利用者自身でインターネット上の情報を調査できるサービスを実施しています。さらに、八雲中央図書館(設置台数 1 台)では新聞記事及び百科事典等のデータベース、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの閲覧・検索・複写ができます。令和 5 年度のデータベース閲覧利用は 225 件、データベース複写利用は 64 件でした。

### (3) 複写サービス

各館では複写機を設置し、所蔵資料の複写サービスを有料で行っています。

#### 複写サービスの実績

(単位：枚)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	合計	全館平均
年度計	57,088	14,263	13,633	6,024	10,985	11,392	8,227	22,130	143,742	17,968
月平均	4,757	1,189	1,136	502	915	949	686	1,844	11,979	1,497

### (4) テーマ展示

季節の行事や最近の話題など、テーマを決めて図書の展示を行うことで、読書の幅を広げるきっかけになることを目的としています。区内の医療機関との連携、区の他所管における自殺予防や人権週間、認知症予防などの啓発事業との連携による展示、友好都市に関連する展示を実施しました。

#### 開催テーマと開催状況

(令和6年3月31日現在)

図書館名	内容等	回数
八雲中央	受賞作品を読もう、皇室と世界の王室、君たちはどう生きるか、こころとからだのSOS、和食の魅力、再発見 など	40
大橋	ご当地小説、昔と今のくらしの進化、認知症、あなたの選ぶイチオシ作家、これって在来種？外来種？ など	34
中目黒駅前	『DX』+『X-Tech』、趣ある日本、ビジネス数字に強くなる、いざという時役立つ知識、「働く」を再考する、地政学的視点を養う など	19
目黒区民センター	植物学のすすめ、100歳たちの同窓会、10代で出会った文学作品、験担ぎ、はじめてみた。やってみた。 など	24
守屋	世界も知ろう・日本も知ろう、建築と建築家、暑さ対策、とっておきの場所、歴史を騒がせたものごと など	22
目黒本町	昭和レトロ、癒しの時間、夏の物語、短いお話、音楽が好き、芥川賞と直木賞、卒業 など	19
洗足	図書館を巡る物語、「青」の本棚、目とメガネの愛護月間、匂いを感じる 香りを楽しむ、お菓子を召し上がれ など	14
緑が丘	役立つアウトドア、SF・宇宙を読んでみよう、備える、エンジョイ！めぐろ、「頑張らない」のすすめ など	24
計		196

### (5) 医療機関との連携事業

東邦大学医学メディアセンター、国立病院機構東京医療センター、東京医療保健大学図書館と目黒区立八雲中央図書館の4者間では「めぐりぶ健康ネット」という組織をつくり、連携事業を進めています。令和6年1月には「図書館資料等を活用した健康医療情報・保健福祉情報サービスに関する合意書」を締結しました。

### (6) 無線LAN (Wi-Fi) サービス

令和6年1月（八雲中央図書館及び大橋図書館では2月）から、Wi-Fiを導入し、全館で無線LANサービスがご利用いただけるようになりました。

## IV めぐるシティカレッジ

### 1 新しい学習機会の創設

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐるシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐるシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための新しい学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするものではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、毎回熱気にあふれた講座が展開されています。  
(開設年度：平成7年度)

### 2 運営

現在は、任意団体「めぐるシティカレッジ振興会」が運営に当たり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

### 3 講座内容

#### 令和5年度実施

次のとおり、講座を企画し、開講しました。新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮し、令和3年度より開始した前期・後期の二期制を継続し、会場を目黒区中央町社会教育館にて実施しました。

(単位：人)

講座	主な内容等	定員	応募者数	受講者数
1 目黒学パート29 「祈りと願い」 その①	畏敬、恐れ等から発する人間の基本的な活動である祈りの姿を掘り下げて考察する。区内神社寺院の巡検も実施 令和5年4月～7月（全7回）	40	40	40
2 眼と心が紡ぐ風景の 世界 その①	視覚的風景だけでなく、人間の五感を通して観る心の風景も含めて、さまざまな角度から「風景」を読み解く。 令和5年4月～7月（全7回）	40	26	25
3 戦後日本を振り返る その①	政治、経済、災害、芸能、ジャーナリズム、教育、技術、交通といった分野から、戦後日本を振り返り、今を再認識する。 令和5年4月～7月（全7回）	40	33	32
4 見て回る 江戸・東京 その①	地理、神社仏閣、著名人、江戸時代、戦災などを通して見えてくる東京を、講義と現地巡検による組合せで理解する。 令和5年4月～7月（全7回）	40	65	59
前期合計		160	164	156

講 座		主 な 内 容 等	定 員	応募者数	受講者数
5	目黒学パート 29 「祈りと願い」 その②	畏敬、恐れ等から発する人間の基本的な活動である祈りの姿を掘り下げて考察する。区内神社寺院の巡検も実施 令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月（全 7 回）	40	35	32
6	眼と心が紡ぐ風景の世界 その②	視覚的風景だけでなく、人間の五感を通して観る心の風景も含めて、さまざまな角度から「風景」を読み解く。 令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月（全 7 回）	40	29	24
7	戦後日本を振り返る その②	政治、経済、災害、芸能、ジャーナリズム、教育、技術、交通といった分野から、戦後日本を振り返り、今を再認識する。 令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月（全 7 回）	40	29	28
8	見て回る 江戸・東京 その②	地理、神社仏閣、著名人、江戸時代、戦災などを通して見えてくる東京を、講義と現地巡検による組合せで理解する。 令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月（全 7 回）	40	65	54
後期合計			160	158	138
合 計			320	322	294

## I 文化財の保護・保存

文化財は、私たちの祖先が営々と築いてきた文化遺産であり、一旦破損等があれば再現困難なかけがえのないものです。区では、このような文化財の保護・保存を図るとともに、区民が興味や関心を持つことによって、共有の貴重な文化遺産が後の世代に受け継がれていくよう文化財保護意識の高揚を図るため、保護及び活用事業を実施しました。

### 1 文化財保護審議会

第23期目黒区文化財保護審議会委員の任期満了に伴い、第24期委員の委嘱を行いました。委員の任期は2年で、委員は下表のとおりです。

#### 第24期目黒区文化財保護審議会委員

(令和6年3月31日現在)

氏名	職業又は所属(専門)
折茂 克哉	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館助教(郷土史)
小林 謙一	中央大学文学部教授(考古学)
佐々木 昌孝	ものづくり大学技能工芸学部教授(建築史)
関口 博巨	神奈川大学国際日本学部准教授(日本近世史)
山本 勉	鎌倉国宝館長(日本彫刻史)
吉村 稔子	神田外語大学外国語学部教授(日本絵画史)

※任期は、令和5年6月1日から令和7年5月31日まで 計6人

### 2 文化財保護事業

目黒区内文化財めぐりを4回、文化財講座を1回実施しました。

#### 区内文化財めぐり

(単位：人)

実施日	コース	見学場所等	参加者
5月13日	中目黒周辺	めぐろ歴史資料館(富士塚に関する講義を含む。)	13
6月10日	駒場周辺	東京大学駒場キャンパス、旧前田家本邸	27
10月14日	八雲周辺	東光寺、氷川神社、九品仏川緑道ほか	20
11月11日	下目黒周辺	大圓寺、蟠龍寺、成就院、瀧泉寺ほか	23
計			83

#### 文化財講座「聞いて、見て、触る、目黒の歴史～近年の区内発掘調査から」

実施日	内容	参加者
12月16日	近年の区内発掘調査についての講座と縄文土器等出土遺物の紹介	11

### 3 区指定文化財

令和5年度に新たに区指定文化財として指定したものはありませんでした。

## 4 埋蔵文化財発掘調査

令和 5 年度は、区が実施した調査として立会調査 45 件、試掘調査 12 件、3次元（3D）測量調査 1 件、本格調査 2 件、及び整理調査 3 件を実施しました。

本格調査の実施地点は、新規に発見された下目黒東遺跡 1 件及び茶屋坂遺跡 1 件（B 地点）であり、下目黒東遺跡からは縄文時代中期の竪穴住居跡 3 軒と住居状遺構 1 軒が検出されました。茶屋坂遺跡（B 地点）からは近代に作られた方台形煉瓦遺構 1 基と隣接して溝状煉瓦遺構 2 基、さらに小規模な煉瓦遺構 1 基が検出されました。なお、茶屋坂遺跡（A 地点）からは近代のものと考えられる階段状煙突煉瓦遺構 1 基、トンネル状煉瓦遺構等が検出されたことから、3次元（3D）測量調査を実施しました。

## Ⅱ めぐる歴史資料館

目黒の歴史に関する理解を深め、区民の生涯学習の振興に寄与するとともに、広く教育、学術の向上と地域文化の発展に資するため、平成20年9月21日、第二中学校跡施設を改修した建物の1階に開館しました。

めぐる歴史資料館では、目黒区の歴史と文化に関する資料を収集、整理・保管・調査研究し、常設展示や企画展示で紹介するとともに、画像閲覧や学習相談、講演会・講座など、各種教育普及事業を行っています。企画展や各種事業の開催等については、めぐる区報やウェブサイト等でお知らせしています。

### 1 事業概要

#### (1) 年間来館者数

開館日数	個人			団体			合計		
	大人	子ども	計	大人	子ども	計	大人	子ども	計
308	3,658	871	4,529	531	1,305	1,836	4,189	2,176	6,365

#### (2) 展示事業

めぐる歴史資料館ではこれまでに収集した所蔵資料や調査結果を踏まえ、「人、もの（資料）、情報」が結び付いた出会いと発見の展示を目指しています。

常設展示「目黒の歴史」では原始・古代から近・現代までの目黒の歴史や人びとの暮らしを時代順に振り返ることができるほか、縄文時代のたて穴住居の模式復元や、平成3年の調査で発見された新富士遺跡の「胎内洞穴」が発掘当時のまま再生展示されるなど、体感型展示も多く取り入れ、資料の展示入れ換えも随時行っています。また、収蔵資料や調査研究の成果を紹介する企画展及び特別展を3回開催しました。

展示会名	会期	開催日数	来館者数(人)
企画展「めぐる歴史資料館開館15周年記念 新収蔵品展」	5月16日(火) ～ 7月17日(月)	54日間	804 (内子ども199)
特別展「目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎ー過去から現在へー」	9月16日(土) ～ 11月26日(日)	62日間	1,234 (内子ども270)
企画展「昔のくらしと道具展ー伝える・のこすー」	12月16日(土) ～ 3月10日(日)	69日間	2,301 (内子ども1,138)

※「子ども」は中学生以下を指します。

#### (3) 教育普及事業

##### ア 講演会・ワークショップ等

企画展及び特別展に合わせて、展示説明会7回、体験会3回を実施しました。その他にワークショップを10回実施し、体験や交流を通じた教育普及活動を展開しました。

名 称	内 容	開催日	参加者（人）
企画展「めぐろ歴史資料館開館15周年記念 新収蔵品展」展示説明会	企画展「めぐろ歴史資料館開館15周年記念 新収蔵品展」展示説明会（3回実施）	5月27日（土） 6月24日（土） 7月15日（土）	10
特別展「目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎ー過去から現在へー」展示説明会	特別展「目黒の教育150周年記念展 集いし学び舎ー過去から現在へー」展示説明会（4回実施）	10月1日（日） 10月21日（土） 11月5日（日） 11月25日（土）	26
企画展「昔のくらしと道具展ーひやす・あたためるー」体験会	蓄音機を実際に操作して聞く体験会（3回実施）	12月24日（日） 1月21日（日） 2月18日（日）	33
夏休みワークショップ	はにわづくり（対象：小学生 10回実施）	7月22日（土） ～ 8月6日（日）	250

## イ 学校等の授業利用

社会科見学（小学校第3学年）で昔の暮らしの体験や道具調べに、めぐろ歴史資料館が活用されています。令和5年度は13校が見学に訪れました。

## (4) 資料の収集・保管

### 令和5年度受入資料

<寄贈> 10件 146点                      <寄託> 1件 8点

## 2 古民家

歴史資料館の分館として、すすめのお宿緑地公園内（碑文谷三丁目）に江戸時代中頃の「年寄」の家（区指定文化財「旧栗山家主屋」）を復元公開し、節句飾り等の年中行事の再現や体験学習等の事業を行っています。

### (1) 年間来館者数

開館日数	個人	団体	合計
253	10,269	779	11,048

## (2) 年中行事等

行事名	日 程
五月人形・鯉幟飾り	4月15日(土)～5月7日(日)
七夕飾り	7月1日(土)～7月9日(日)
お月見	9月30日(土)
すす払い	12月27日(水)
正月飾り	12月27日(水)～6年1月8日(月)
雛人形飾り	6年2月2日(金)～3月3日(日)

## (3) 体験学習等

名 称	開催日	講 師 等	参加者(人)
七夕飾り製作指導	7月1日(土)	めぐろ歴史資料館職員	19
七夕のお話会・民話	7月1日(土)	八雲本読みグループ・ すばなしの会	11
お月見のお話会・民話	9月30日(土)	八雲本読みグループ・ すばなしの会	77
	9月16日(土)～ 9月30日(土)	動画配信により実施	16 (アクセス数)

※「七夕」及び「お月見」のお話会は、令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で対面での実施を中止していましたが、令和5年度は再開しました。

## (4) 『東京9区 文化財古民家めぐり』(東京文化財ウィーク2023参加事業)

例年、東京文化財ウィーク期間中、都内で文化財古民家を管理する9区(足立・板橋・江戸川・北・江東・杉並・世田谷・練馬・目黒)合同で現地案内等を実施していますが、令和5年度はインターネット上で見どころ等を紹介したパンフレットを公開しました。

## 1 区立学校一覧

(令和6年5月1日現在)

略称説明			
教…教員(校長含む。)	児…児童指導	[ ]日本語国際学級(内数)	
事…学校事務	用…用務	{ }再任用(内数)	
栄…学校栄養士(栄養教諭含む。)		( )特別支援学級(内数)	

※特別支援学級には、東根小(難聴、言語障害)の通級学級を含む。

※児童・生徒数は、特別支援学級(固定学級在籍者)を含む。

## (1) 小学校

学校名	所在地	電話番号	学級数	児童数	教職員数					
					教	事	栄	児	用	計
八雲	八雲2-5-1	3718-6306	18(4)	433	25	1	1		1	28
菅刈	青葉台3-3-26	3461-2569	16(4)	351	23	1	1		1	26
下目黒	目黒2-7-9	3491-0332	17	495	24	1	1		1	27
碑	碑文谷1-18-2	3714-1594	23(4)	627	31	1	1		1	34
中目黒	中目黒3-13-32	3711-7628	18	509	32	1	1		1	35
油面	中町1-5-4	3719-1694	18(1)	499	26	1	1	1	1	30
大岡山	平町2-3-1	3718-5306	24	722	32	1	1		1	35
烏森	上目黒3-37-27	3719-1794	13	369	19 {1}	1	1		1	22
向原	目黒本町6-7-15	3714-1795	12	282	18 {1}	1	1		1	21
五本木	五本木2-24-3	3711-8494	14(2)	365	26 {1}	1	2		1	30
鷹番	中央町1-20-26	3714-2594	17(3)	418	24	1	1		1	27
田道	目黒1-15-28	3711-8594	14	401	21	1			1	24
月光原	目黒本町4-15-3	3714-2694	12	362	18 {1}	1	1		1	21
駒場	駒場3-11-13	3467-4461	13	350	19 {1}	1	1			21
緑ヶ丘	緑が丘2-13-1	3718-5406	8	210	14 {1}	1	1		1	17
原町	原町2-18-12	3714-2794	12	327	23 {1}	1	1			25
不動	下目黒6-11-35	3714-3594	22	711	35	1	1		1	38
上目黒	五本木1-12-13	3719-2594	12	296	18	1	1		1	21
東根	東が丘1-20-1	3424-4511	27(3) {2}	696	37	1	1		1	40
中根	緑が丘1-1-1	3718-4506	12	362	22	1	1		1	25
宮前	八雲3-13-21	3718-5506	12	321	21 {2}	1	1			23
東山	東山2-24-25	3719-2694	33	1,046	52 {1}	1	1		1	55
合計			367 (21){2}	10,152	560 {10}	22	22	1	19 {5}	625

## (2) 中学校

学校名	所在地	電話番号	学級数	生徒数	教職員数					
					教	事	栄	児	用	計
第一	大橋2-11-1	3466-6158	6	189	15 {2}	1	1			17
第七	碑文谷1-1-33	3714-3794	7	233	26 {1}	1	1		1 {1}	29
第八	碑文谷4-19-25	3714-4594	10 (3)	217	21 {3}	1	1			23
第九	洗足1-29-26	3714-4694	6	159	15 {4}	1	1		1 {1}	18
第十	八雲5-2-1	3718-6406	12	419	24	1	1		1 {1}	27
第十一	緑が丘1-8-1	3718-6506	5	145	16 {2}	1	1			18
東山	東山1-24-31	3711-8794	11	364	23 {1}	1	1			25
目黒中央	中町2-37-38	3711-8394	20 (3)	591	35 {1}	1	1		1 {1}	38
大鳥	下目黒3-23-18	3714-3694	19 (4)	540	33	1	1		1	36
合 計			96 (10)	2,857	208 {14}	9	9		5 {4}	231

## (3) 幼稚園

園名	所在地	電話番号	学級数	園児数	教職員数					
					教	事	栄	児	用	計
ひがしやま	東山3-24-2	3791-4615	2	33	3					3
合 計			2	33	3					3

## (4) こども園

園名	所在地	電話番号	区分	3歳	4歳	5歳	計	教職員数			
								教	栄	用	計
げっこうはら	目黒本町4-15-3	3716-3024	短時間	15	13	14	42	7			7
			中時間	1	3	2	6				
			長時間	3	4	5	12				
小 計				19	20	21	60	7			7
みどりがおか	緑が丘2-7-20	3718-6622	短時間	15	15	17	47	7			7
			中時間	2	3	5	10				
			長時間	3	5	5	13				
小 計				20	23	27	70	7			7
合 計				39	43	48	130	14			14

※ 各園の学級数は、3歳、4歳、5歳 各1学級で合計3学級

## 2 教育関係施設

施設名	所在地	電話番号
めぐろ学校サポートセンター	中目黒 3-6-10	3715-1531
東山社会教育館	東山 3-24-2	3791-4611
目黒区民センター社会教育館	目黒 2-4-36 (目黒区民センター内)	3711-1137
中央町社会教育館	中央町 2-4-18 (中央町さくらプラザ内)	3713-4127
目黒本町社会教育館	目黒本町 2-1-20	3792-6321
緑が丘文化会館	緑が丘 2-14-23 (緑が丘コミュニティセンター内)	3723-8741
青少年プラザ	中目黒 2-10-13 (中目黒スクエア内)	5721-8575
八雲中央図書館	八雲 1-1-1 (めぐろ区民キャンパス内)	5701-2795
大橋図書館	大橋 1-5-1 (クロスエアタワー内)	3770-3101
中目黒駅前図書館	上目黒 2-1-3 (中目黒GTプラザ内)	3710-7253
目黒区民センター図書館	目黒 2-4-36	3711-1138
守屋図書館	五本木 2-20-15	3711-7465
目黒本町図書館	目黒本町 2-1-20	3792-6325
洗足図書館	洗足 2-8-26	3719-7651
緑が丘図書館	緑が丘 2-14-23 (緑が丘コミュニティセンター内)	3723-0661
めぐろ歴史資料館	中目黒 3-6-10	3715-3571
古民家	碑文谷 3-11-22 (すずめのお宿緑地公園内)	3714-8882
八ヶ岳林間学園	山梨県北杜市高根町清里 3545	0551-48-2031
興津自然学園	千葉県勝浦市興津 143	0470-76-3111

目黒区の教育 ー令和5年度事業報告書ー

令和6年8月発行

編集・発行 目黒区教育委員会（教育政策課）

所在地 目黒区上目黒二丁目19番15号

電話 03-5722-9300

F A X 03-5722-9332

印刷 株式会社アートイディア

